

令和7年度
第4回葛飾区区民モニターアンケート
調査報告書

- －「里親制度について」－
- －「スポーツについて」－
- －「区民モニター調査について」－

令和8年3月



目 次

序章 調査概要	1
1 調査目的	1
2 調査方法等	1
3 調査テーマ	1
4 報告書の見方	1
5 回答者の属性	2
第1章 調査結果（里親制度について）	6
(1) 子どもたちの生活の場として知っているもの	8
(2) 里親制度の認知度	11
(3) 里親制度の認知経路	13
(4) 里親制度の種類	16
(5) 里親になれることを知っていた世帯	19
(6) 知っている里親に対する支援制度の内容	21
(7) 里親になってみたいか	24
(8) 里親になってみたい理由	26
(9) どのようなサポートが必要か	28
(10) 里親になりたいと思わない理由	31
(11) 里親制度が普及していない理由	34
(12) 里親制度の理解を深めるために効果的な広報	37
(13) 見たこと、聞いたことがある区の里親制度の広報活動	40
(14) 必要な情報の収集媒体	44
(15) 里親制度についての自由意見	47
第2章 調査結果（スポーツについて）	48
(16) ユニバーサルスポーツの認知度	49
(17) ユニバーサルスポーツの認知経路	51
(18) ユニバーサルスポーツの認知のために必要なこと	54
(19) 体験したことがあるユニバーサルスポーツ	56
(20) 教室やイベントへの参加の有無	59
(21) 教室やイベントの認知経路	61
(22) 参加しやすい教室やイベント	63
(23) 参加したいと思わない理由	65
(24) 障害者スポーツの関心度	68
(25) 障害者スポーツの振興を図るために必要なこと	70
(26) スポーツを通じて交流するために必要なこと	73

第3章 調査結果（区民モニター調査について）	74
(27) 内容や設問のわかりやすさ	75
(28) 区民モニター参加のきっかけ	77
(29) 回答に使用している機器	80
(30) メールアドレス登録の有無	82
(31) メールでの調査案内は便利だったか	84
(32) 各回の調査報告書を読んだか	87
(33) 調査回数は適切だったか	89
(34) 設問数は適切だったか	91
(35) 区民モニターとして活動した感想	93
(36) 区民モニター調査を通じて区政への関心度が高まったか	96
(37) またモニターとして活動したいか	98
(38) 回答フォームの改善点や要望	101
(39) 取り上げてほしいテーマ、全体を通しての感想	102

序章 調査概要

1 調査目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、公募により決定した「区民モニター」から、意見を収集することにより、区政への活用を図ることを目的とする。

2 調査方法等

(1) 調査対象	無作為で選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定した区民モニター500人
(2) 調査方法	インターネットでの回答
(3) 調査期間	令和8年1月9日(金)～2月6日(金)
(4) 有効回収数	407名

3 調査テーマ

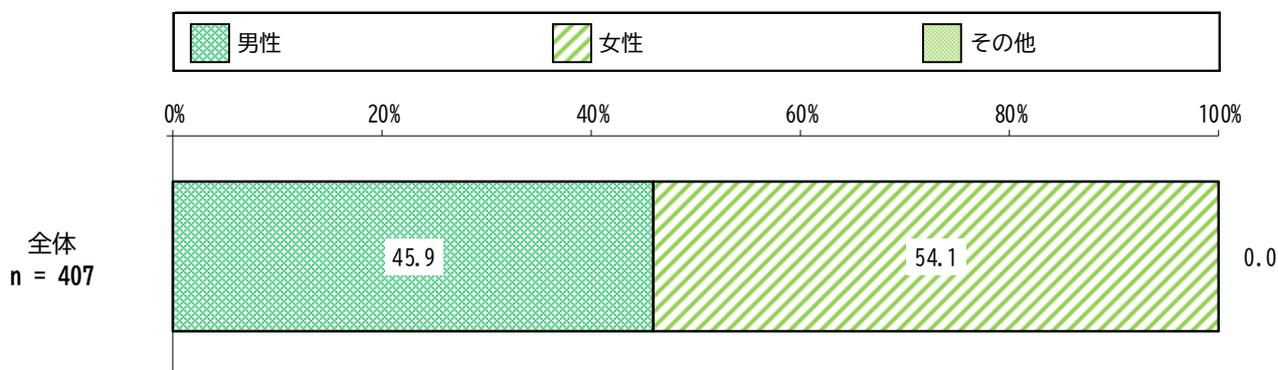
- テーマ1 里親制度について
- テーマ2 スポーツについて
- テーマ3 区民モニター調査について

4 報告書の見方

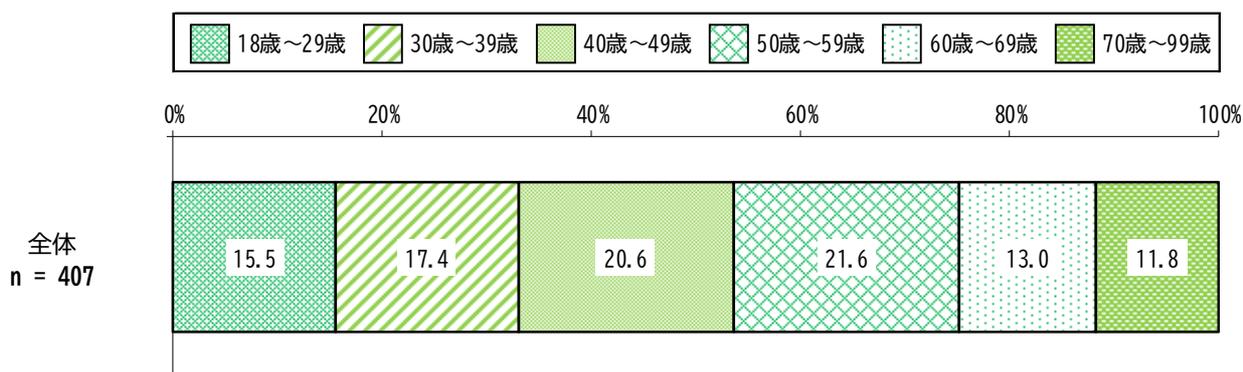
- (1) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。したがって、合計が100%にならない場合がある。
- (2) 複数回答形式の場合、回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 図表中の「n」とは、その設問への回答者数を表す。
- (4) 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いている。
- (5) クロス集計において、回答が0件(0.0%)の場合、グラフ中で省略している場合がある。
- (6) クロス分析において、回答者数の少ない(n=30未満)属性についてのコメントは控えている。

5 回答者の属性

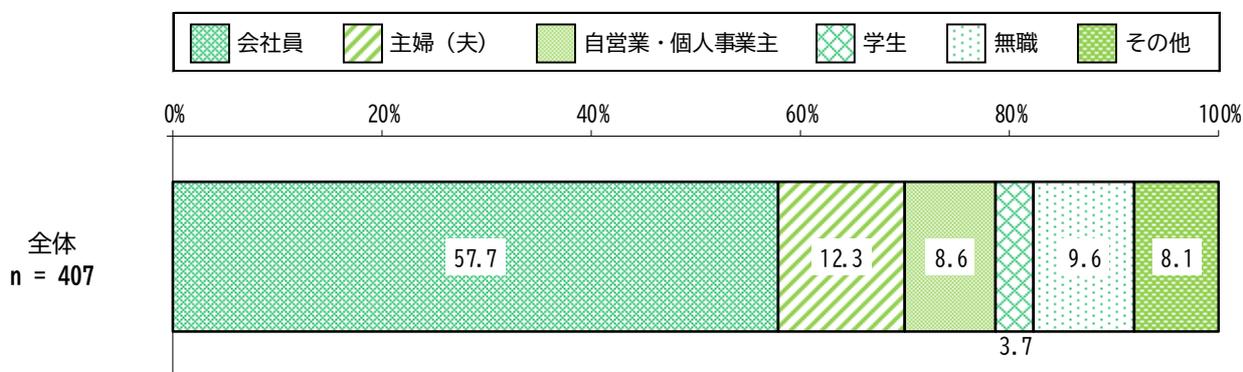
(1) 性別



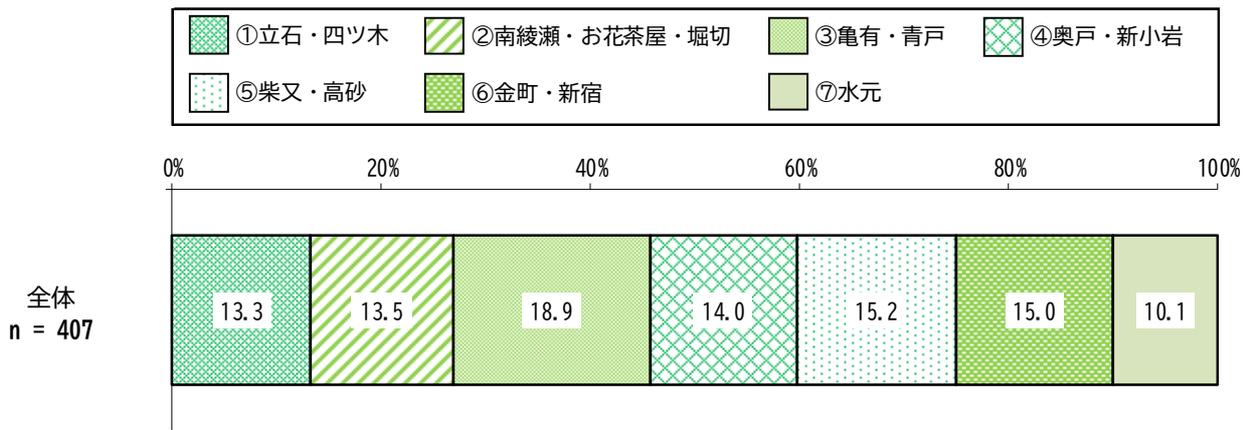
(2) 年齢層 (6区分)



(3) 職業



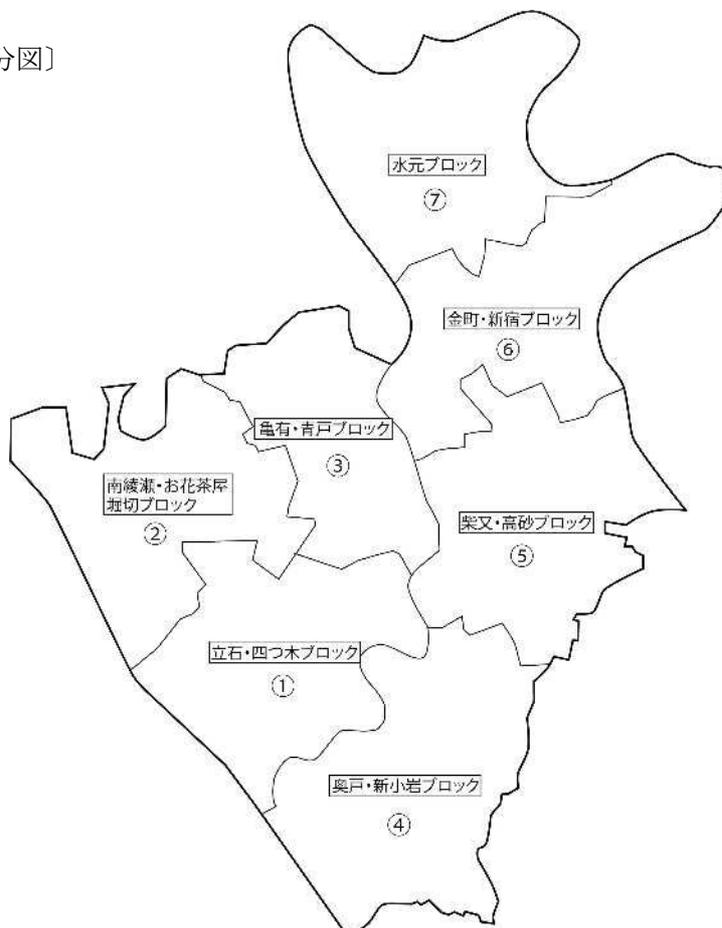
(3) 居住地域（7区分）



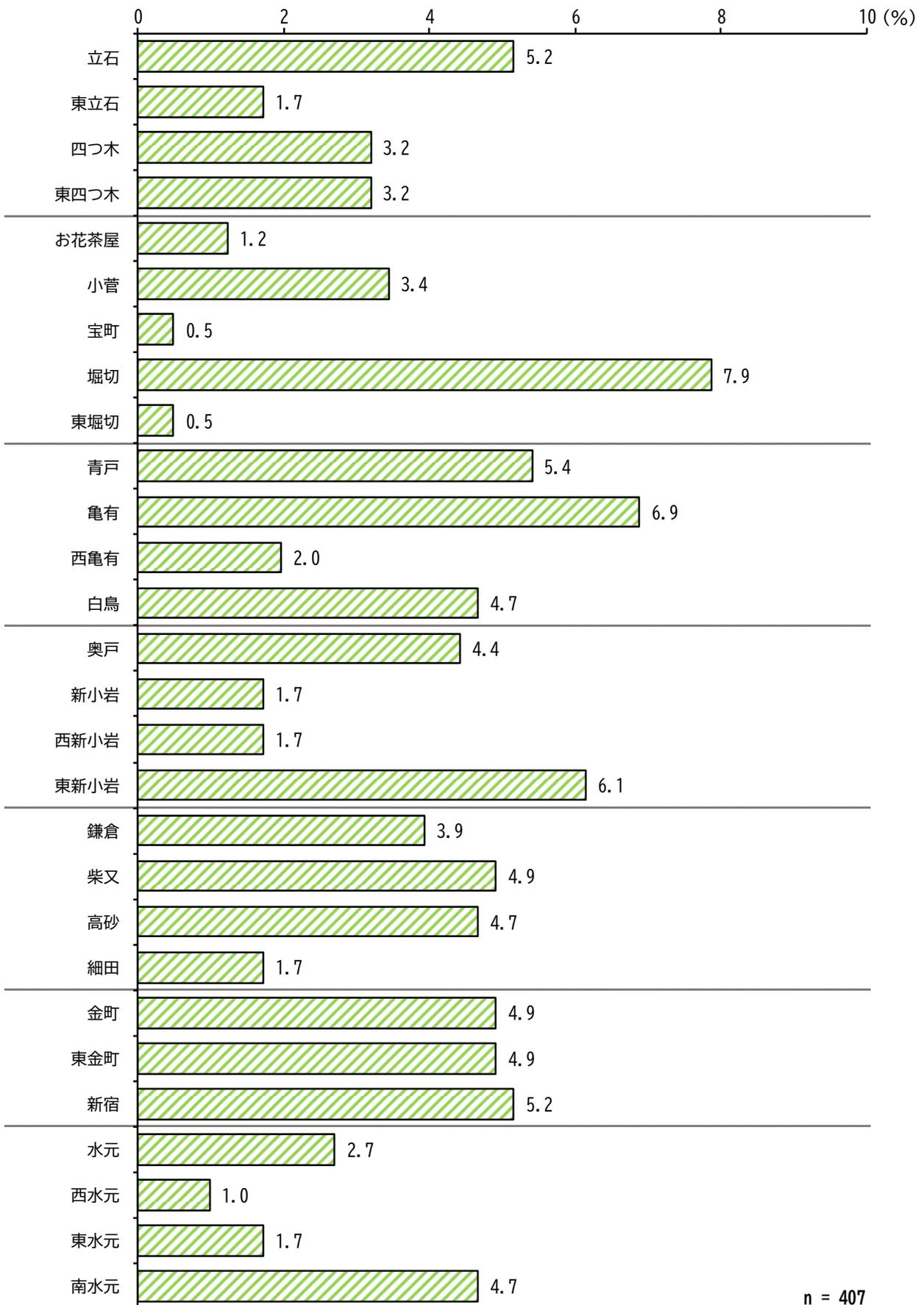
〔居住地域区分表〕

区分	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

〔居住地域区分図〕

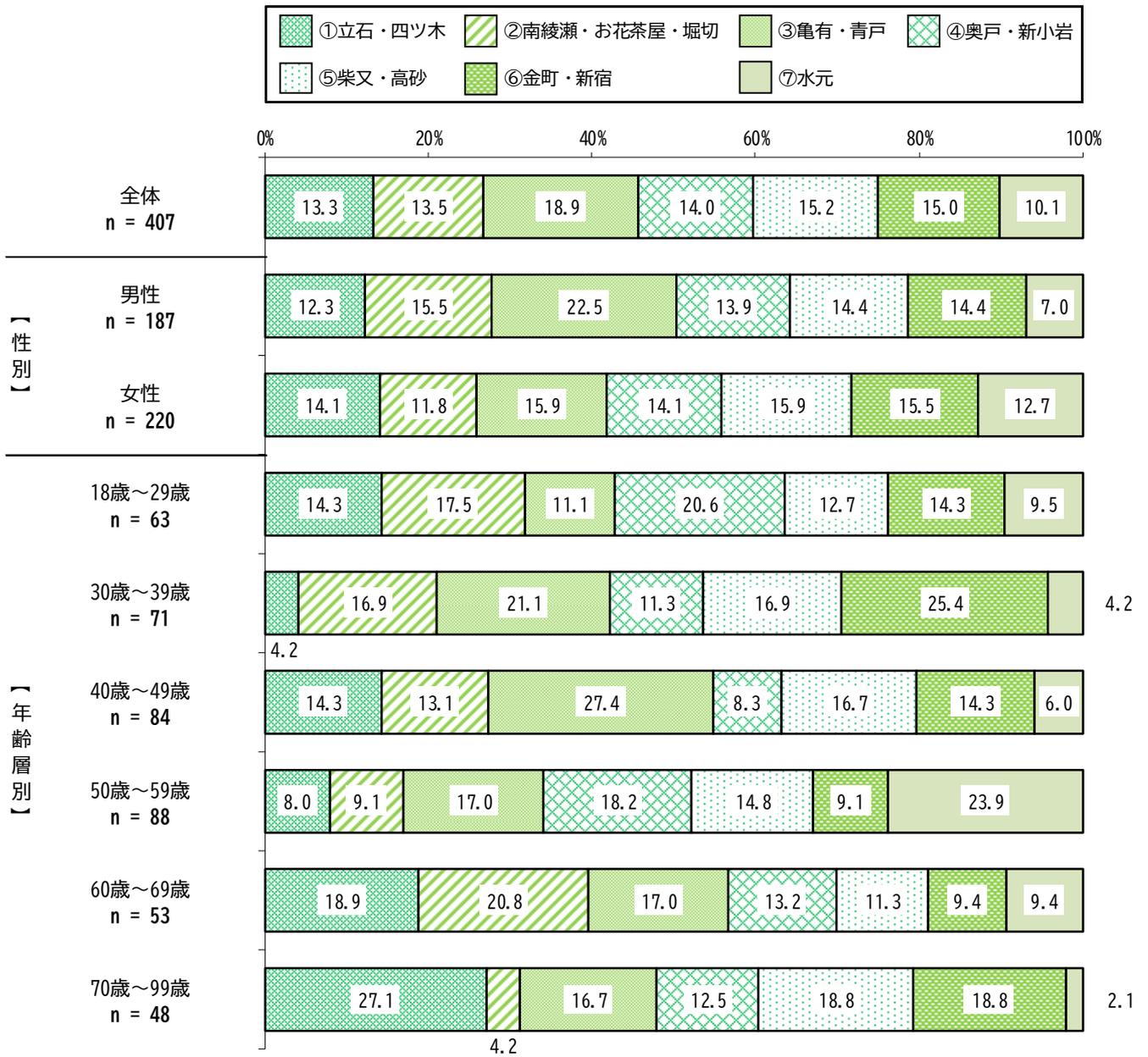


(4) 居住地域 (28 区分)



n = 407

(5) 居住地域 (7区分) 【性別・年齢層別】



第1章 調査結果（里親制度について）

テーマ1 里親制度について

親の離婚、疾病、虐待など様々な事情により自分の家庭を離れて暮らす子どもたちを公的に養育する仕組みが社会的養護であり、そのうちのひとつが里親制度です。

「里親」は、子どもを自らの家庭に迎え入れて、共に生活し、養育する方のことです。里親制度は必ずしも養子縁組を前提としたものだけではありません。

平成28年の児童福祉法改正により、社会的養護においては、家庭養育（里親制度）優先の原則が明記されました。

本区での児童相談所開設以降、里親制度がどの程度認知されているのか確認し、里親制度を更に推進していくために区民モニターの皆様のご意見を伺います。

里親制度に関するよくある質問

質問

里親になるには、資格や子育ての経験が必要ですか。

回答

必要な条件を満たしていれば、特別な資格は必要ありません。里親として子どもを迎え入れるために必要な知識や技術は、登録前の研修などで身に付けることができます。

質問

共働きでも、里親になることはできますか。

回答

子どもの養育に支障のない範囲であれば、共働きでも問題ありません。必要に応じて、保育所や学童保育クラブを利用することができます。

質問

子どもに掛かる費用の負担は、どうなりますか

回答

里親には、支弁基準に基づき、迎え入れた子どもの養育に必要な費用が支払われます。

葛飾区の 里親制度 について

東京都には、様々な事情で家族と離れて暮らす子どもが約4,000人います。子どもの育ちには、地域や社会に見守られながら、安心して暮らせる家庭環境が必要です。「里親」とは、このような背景のある子どもを一定期間家庭に迎え入れ、健やかな育ちを支える、子どものための仕組みです。葛飾区では、子どもが家庭と同様の環境で育つことができるように、里親を募集しています。

共働きの方や子育て経験がない方も里親になることができます

お子さんを預かる期間は短期から長期まで様々です

里親として子どもを預かっている間様々なサポートを受けることができます

研修や実習を通して里親として必要な知識などを学ぶことができます

里親の仲間同士のつながりや交流の機会があります

里親の種類

その他にも、「親族里親」「専門養育家庭」といった制度もあります。

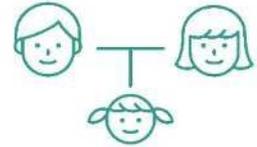
養育家庭(里親)

養子縁組を目的とせず、一定期間、子どもを家庭で養育する里親



養子縁組里親

養子縁組を目的として、子どもを家庭で養育する里親

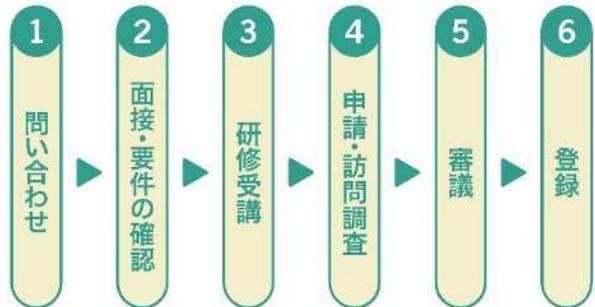


里親になる要件

※他にも要件があります。詳細についてはお問い合わせください。

- ✓ 葛飾区在住であること。
- ✓ 心身ともに健全であること。
- ✓ 経済的に困窮していないこと。
- ✓ 養育家庭(里親)の場合は、ご夫婦又は20歳以上の同居する親族等がいること。
- ✓ 養子縁組里親の場合は、原則として25歳以上であり婚姻していること。
- ✓ 家族構成に応じた適切な環境と間取りがあること。など

里親登録までのステップ



里親制度に関するお問い合わせ

里親制度について、より詳しく知りたい方に向けて、定期的に里親制度説明会を開催しています。ホームページには、イベント情報や制度の詳細なども掲載しています。ぜひご覧ください。

ホームページはこちら!

葛飾区児童相談所

住所 〒124-0012 葛飾区立石2-30-1

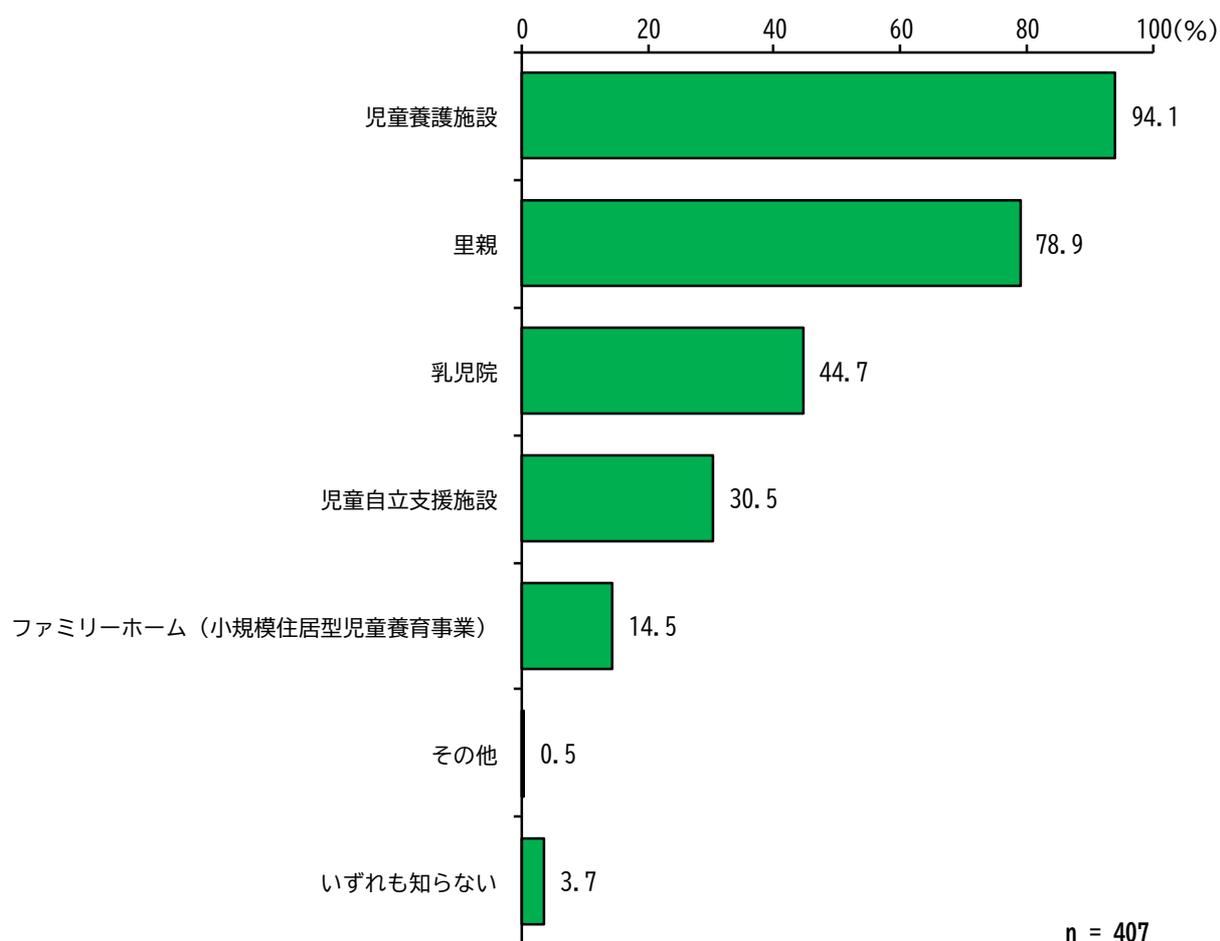
電話 **03-5698-0303** 受付時間 8:30~17:00 (土日祝日・年末年始を除く。)



(1) 子どもたちの生活の場として知っているもの

問1. 様々な理由から自分の家庭を離れて暮らす子どもたちの生活の場として、知っているものを教えてください。(あてはまるものを全て選択)

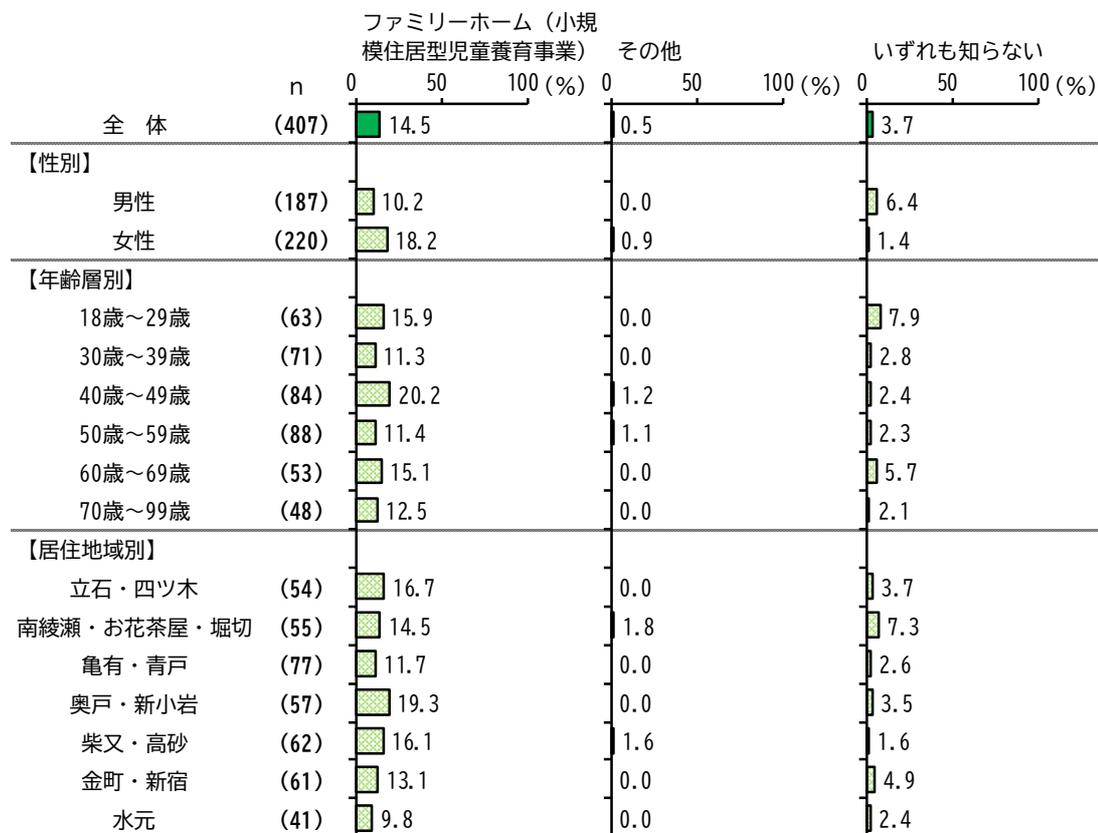
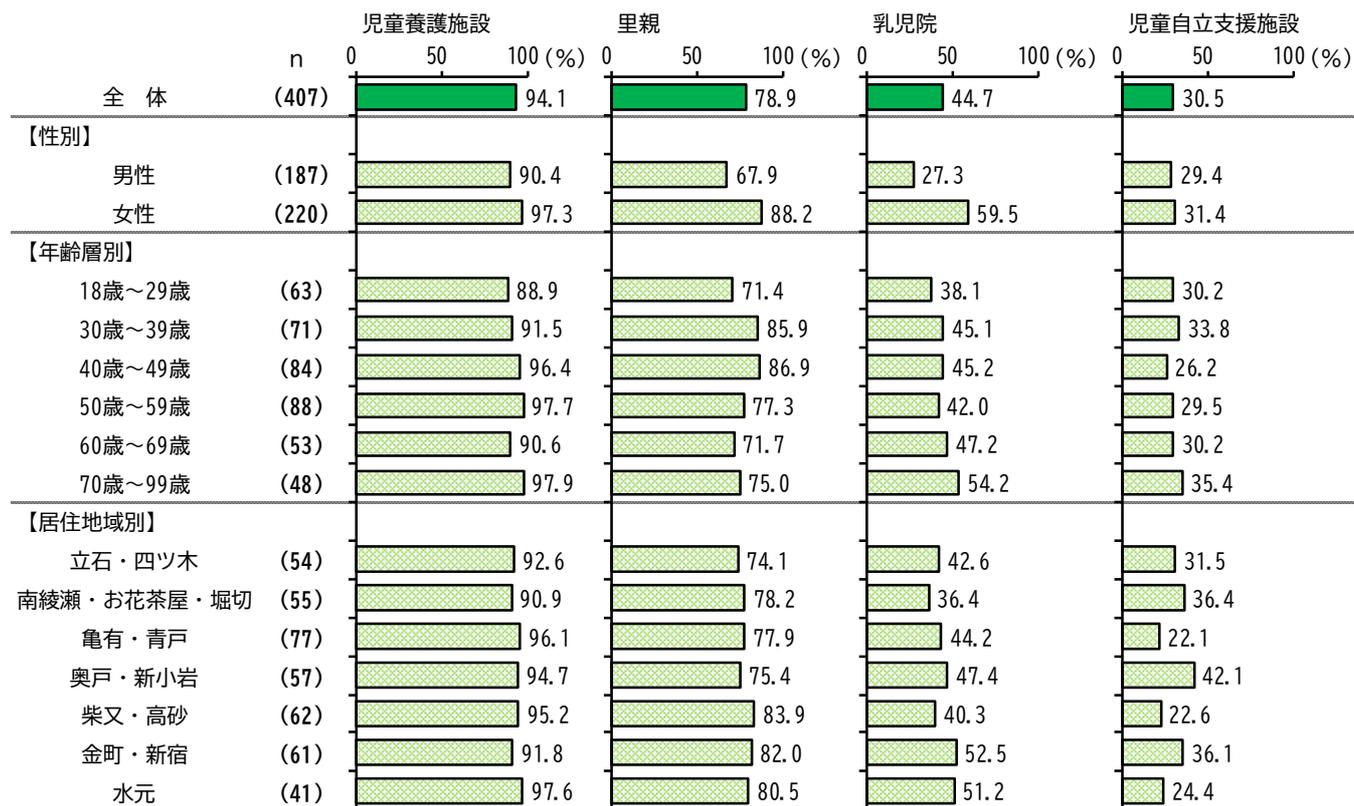
子どもたちの生活の場として知っているもの【全体】



子どもたちの生活の場として知っているものは、「児童養護施設」が94.1%で最も高く、次いで「里親」が78.9%となっている。以下「乳児院」が44.7%、「児童自立支援施設」が30.5%となっている。

「その他」の内容としては、「祖父母、親戚」「自立援助ホーム」があった。

子どもたちの生活の場として知っているもの【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「乳児院」は【女性】が 59.5%と、【男性】(27.3%) よりも 32.2 ポイント、「里親」は【女性】が 88.2%と、【男性】(67.9%) よりも 20.3 ポイント高くなっている。

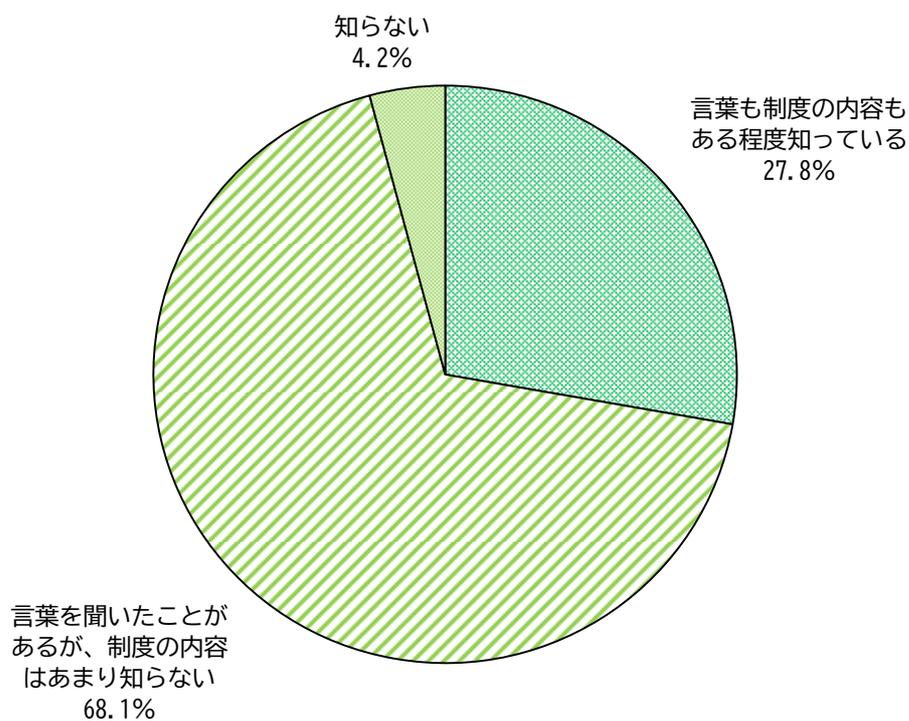
年齢層別で見ると、「乳児院」は【70 歳～99 歳】が 54.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「児童自立支援施設」は【奥戸・新小岩】が 42.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(2) 里親制度の認知度

問2. 里親制度を知っていますか。(1つ選択)

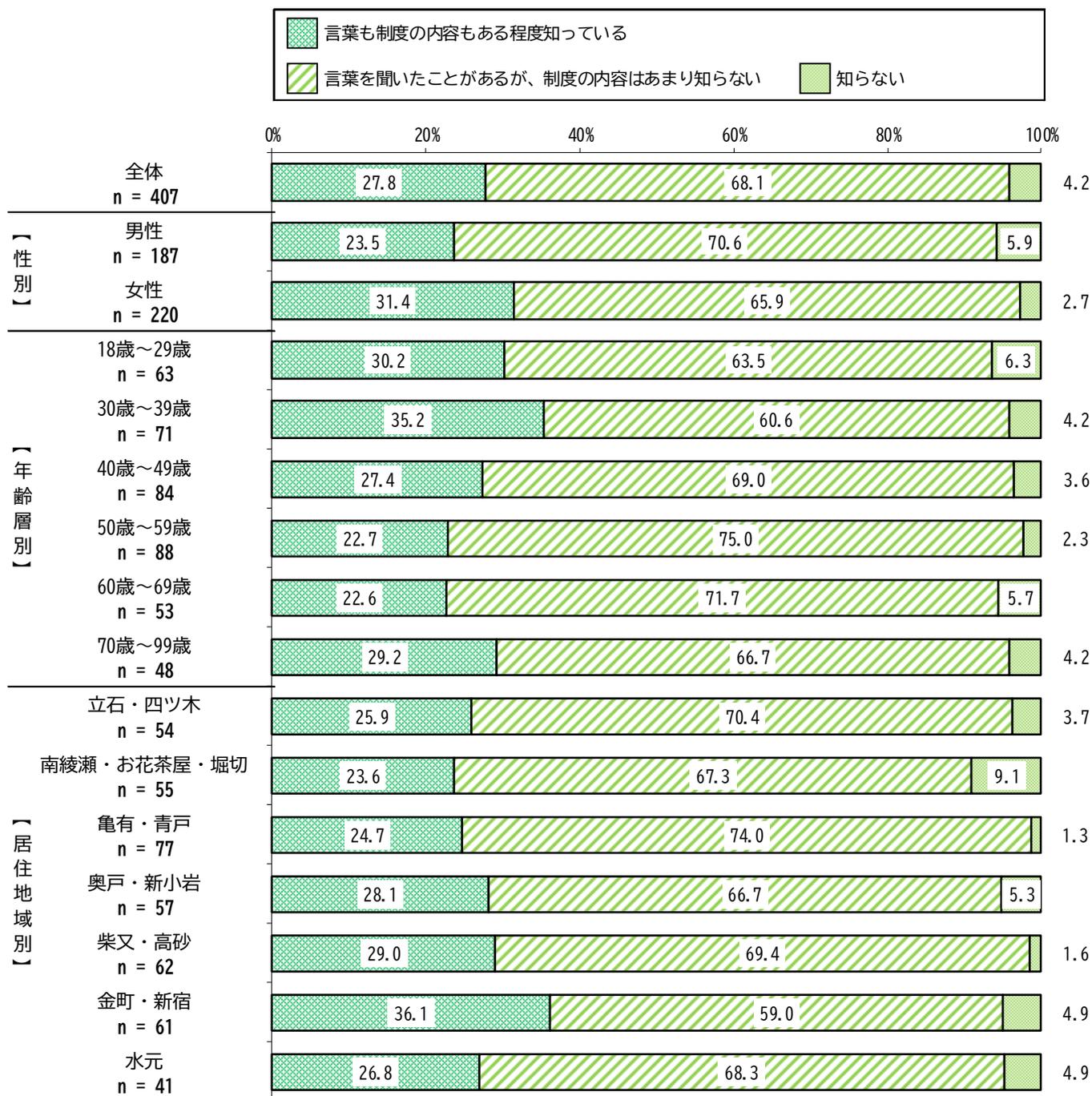
里親制度の認知度【全体】



n = 407

里親制度の認知度は、「言葉も制度の内容もある程度知っている」が 27.8%、「言葉を聞いたことがあるが、制度の内容はあまり知らない」が 68.1%、「知らない」が 4.2%となっている。

里親制度の認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「言葉も制度の内容もある程度知っている」は【女性】が 31.4%と、【男性】(23.5%) よりも 7.9 ポイント高くなっている。

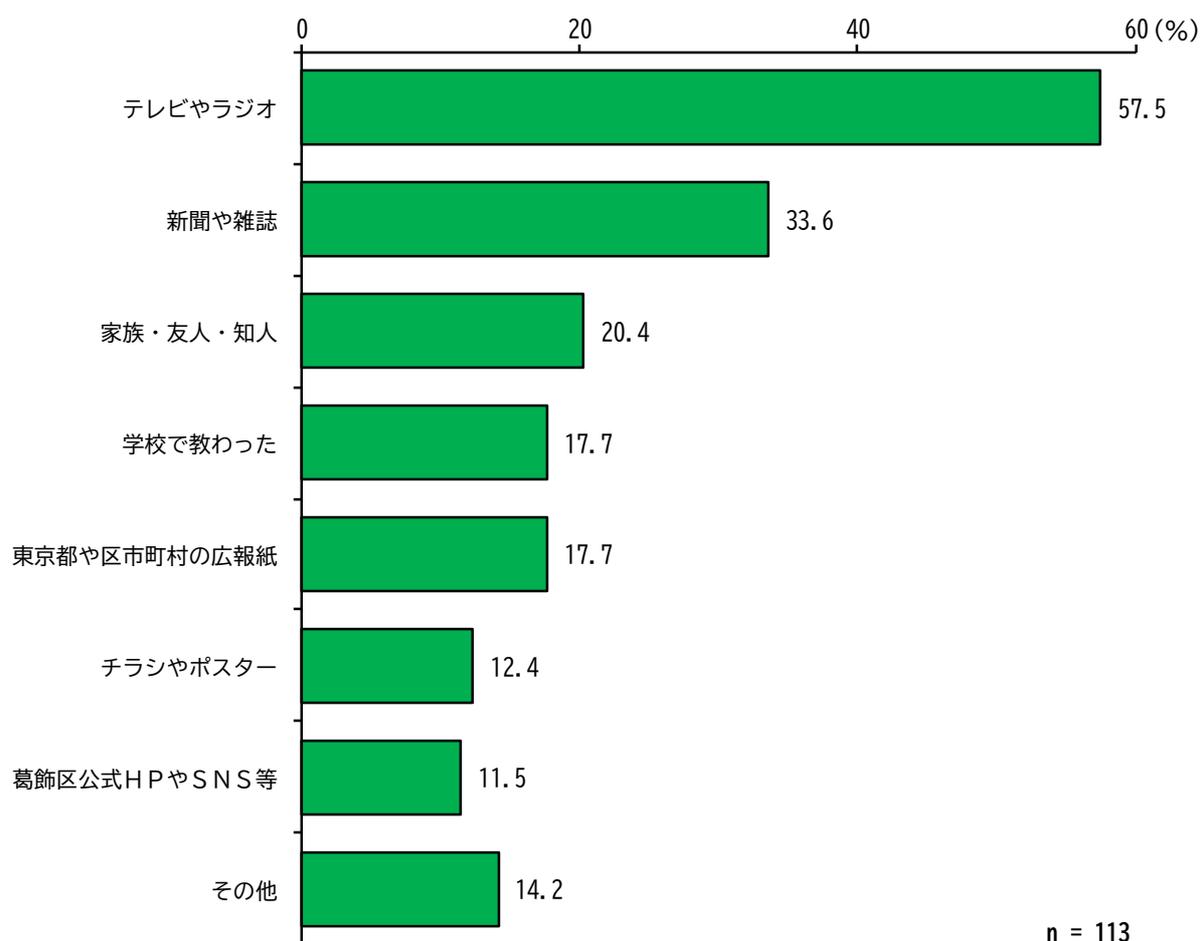
年齢層別で見ると、「言葉も制度の内容もある程度知っている」は【30歳～39歳】が 35.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「言葉も制度の内容もある程度知っている」は【金町・新宿】が 36.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(3) 里親制度の認知経路

問3. 問2で「言葉も制度の内容もある程度知っている」と答えた方に伺います。
里親制度をどのように知りましたか。(あてはまるものを全て選択)

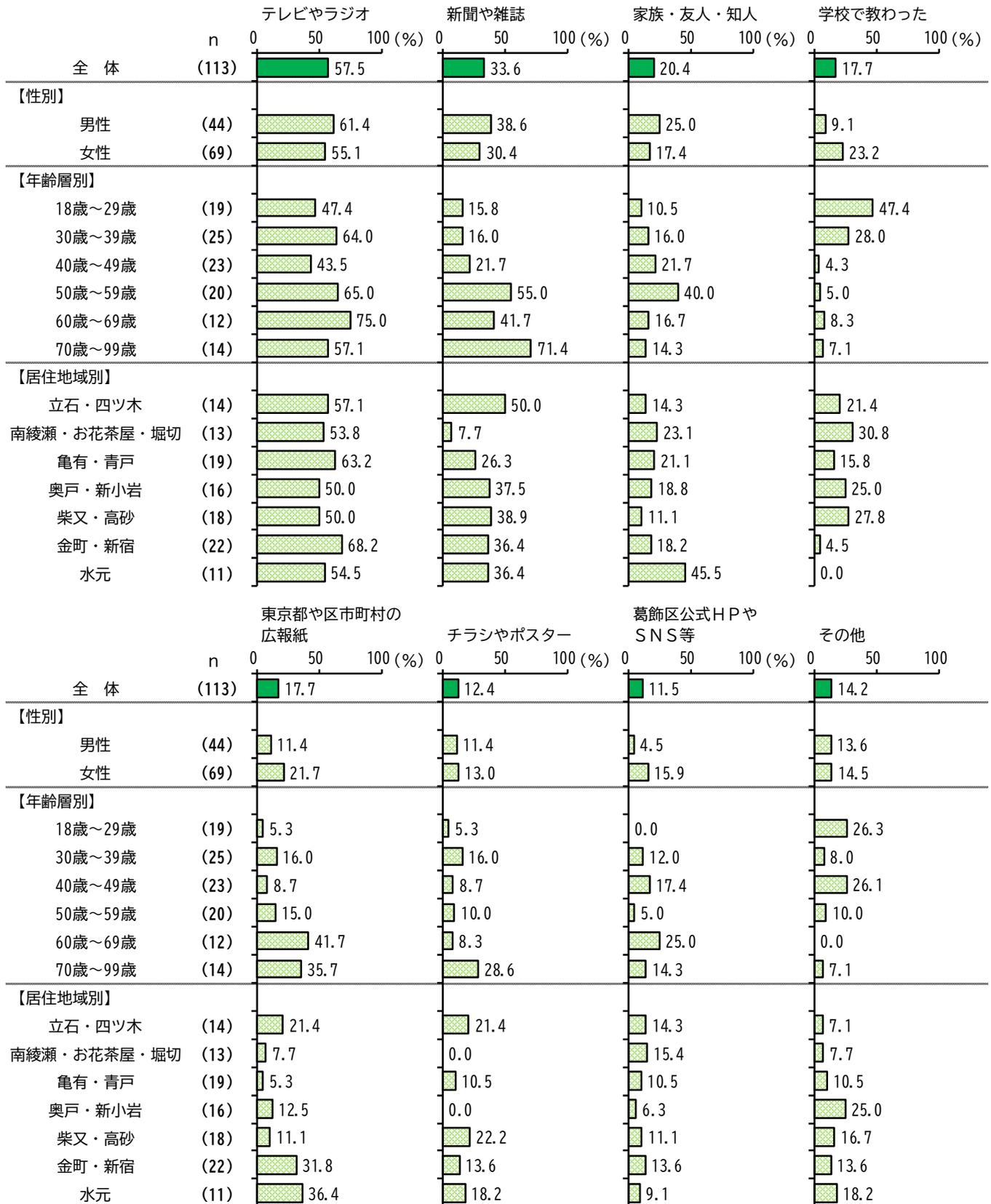
里親制度の認知経路【全体】



里親制度の認知経路は、「テレビやラジオ」が57.5%で最も高く、次いで「新聞や雑誌」が33.6%、「家族・友人・知人」が20.4%、「学校で教わった」及び「東京都や区市町村の広報紙」がともに17.7%となっている。

「その他」の内容としては、「漫画・小説」「里親制度を利用したことがある」「保育士の資格を取るため」「インターネット(自治体以外)」「養護教諭のため、仕事上児童相談所と関わるが多いため」などがあつた。

里親制度の認知経路【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「学校で教わった」は【女性】が 23.2%と、【男性】(9.1%) よりも 14.1 ポイント、「葛飾区公式HPやSNS等」は【女性】が 15.9%と、【男性】(4.5%) よりも 11.4 ポイント、「東京都や区市町村の広報紙」は【女性】が 21.7%と、【男性】(11.4%) よりも 10.3 ポイント高くなっている。

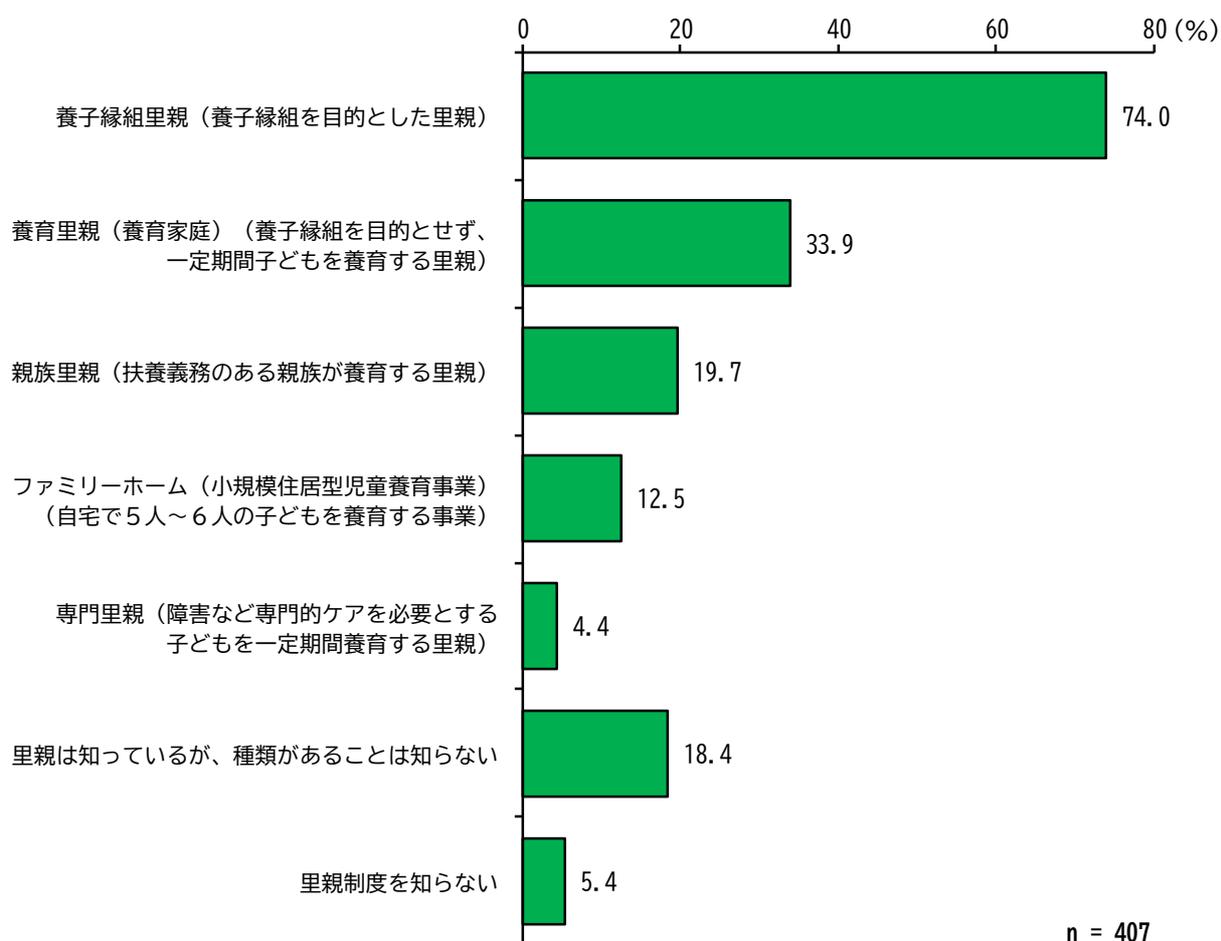
年齢層別で見ると、「新聞や雑誌」は【70 歳～99 歳】が 71.4%、「学校で教わった」は【18 歳～29 歳】が 47.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「家族・友人・知人」は【水元】が 45.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(4) 里親制度の種類

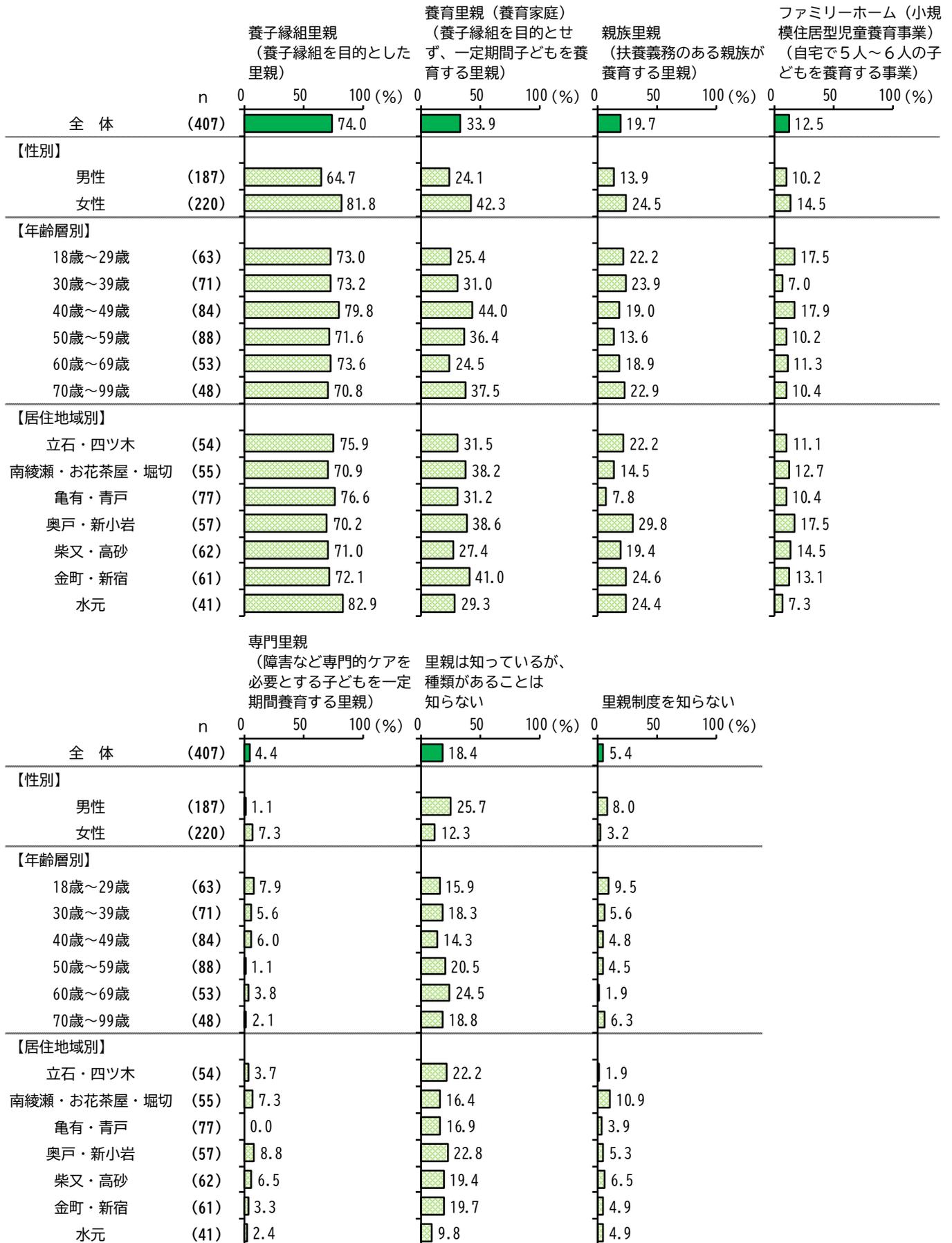
問4. 里親にはいろいろな種類があります。知っている種類はありますか。
(あてはまるものを全て選択)

里親制度の種類【全体】



里親制度の種類は、「養子縁組里親 (養子縁組を目的とした里親)」が 74.0%で最も高くなっている。以下「養育里親 (養育家庭) (養子縁組を目的とせず、一定期間子どもを養育する里親)」が 33.9%、「親族里親 (扶養義務のある親族が養育する里親)」が 19.7%となっている。一方、「里親は知っているが、種類があることは知らない」が 18.4%、「里親制度を知らない」が 5.4%となっている。

里親制度の種類【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「養育里親（養育家庭）（養子縁組を目的とせず、一定期間子どもを養育する里親）」は【女性】が42.3%と、【男性】（24.1%）よりも18.2ポイント、「養子縁組里親（養子縁組を目的とした里親）」は【女性】が81.8%と、【男性】（64.7%）よりも17.1ポイント高くなっている。一方、「里親は知っているが、種類があることは知らない」は【男性】が25.7%と、【女性】（12.3%）よりも13.4ポイント高くなっている。

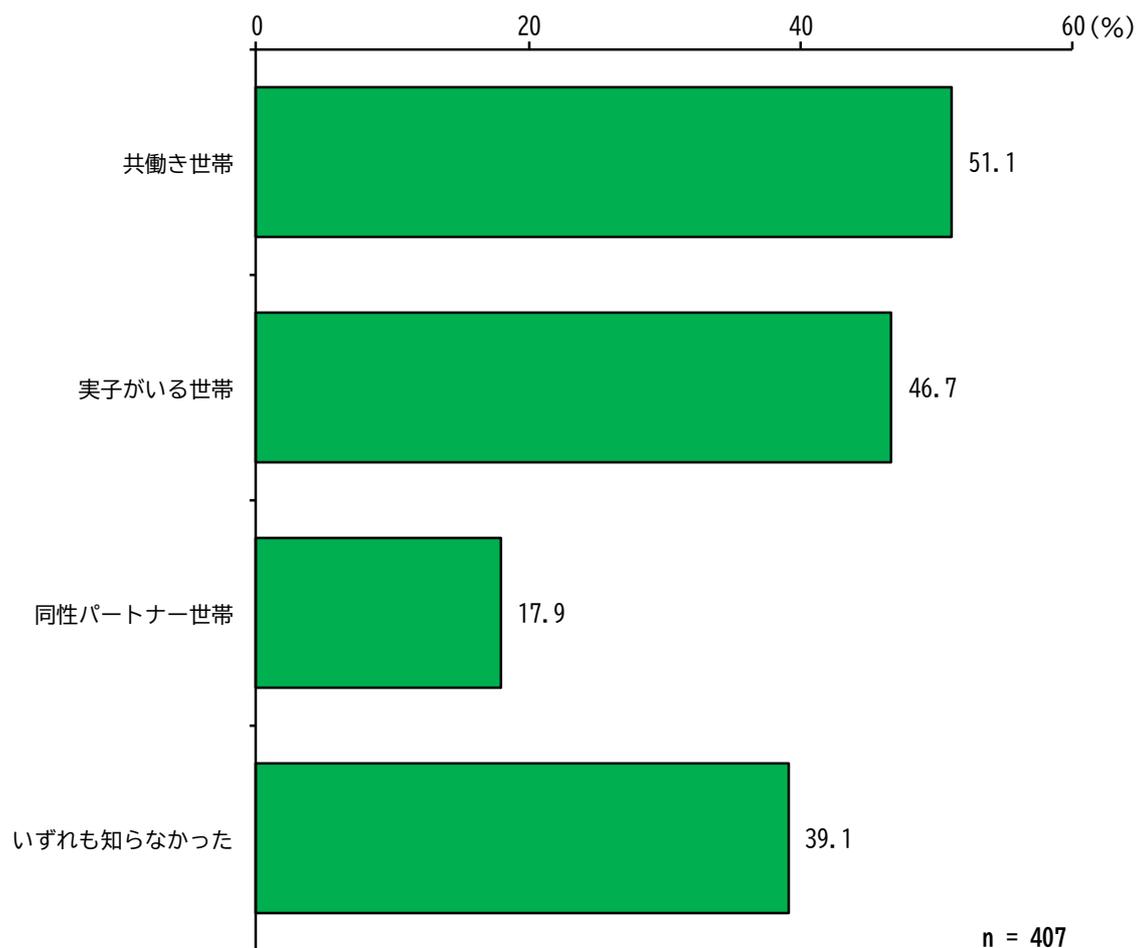
年齢層別で見ると、「養育里親（養育家庭）（養子縁組を目的とせず、一定期間子どもを養育する里親）」は【40歳～49歳】が44.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「親族里親（扶養義務のある親族が養育する里親）」は【奥戸・新小岩】が29.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

(5) 里親になれることを知っていた世帯

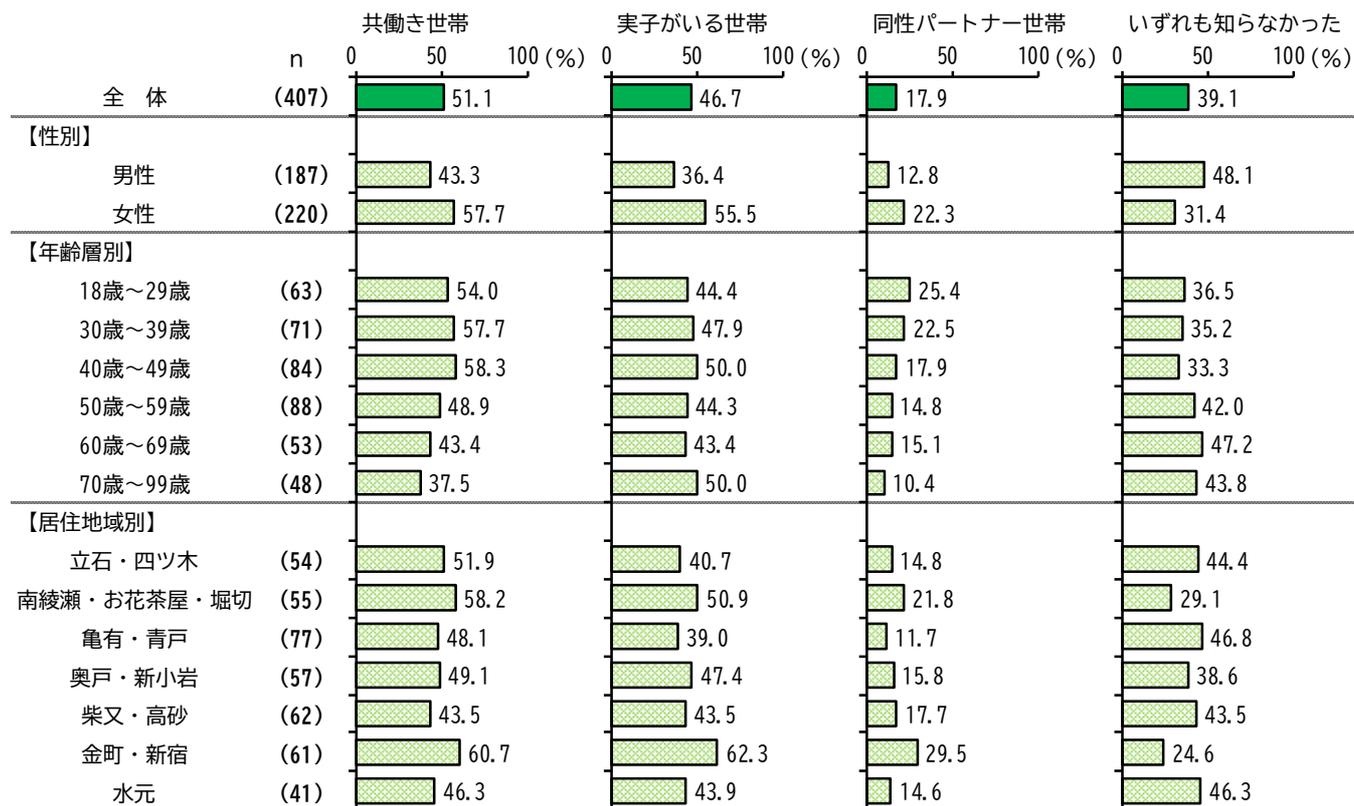
問5. 様々な世帯の方が里親として活躍しています。次の世帯はいずれも里親になることができますが、里親になれることを知っていた世帯を回答してください。
(あてはまるものを全て選択)

里親になれることを知っていた世帯【全体】



里親になれることを知っていた世帯は、「共働き世帯」が 51.1% で最も高く、次いで「実子がいる世帯」が 46.7%、「同性パートナー世帯」が 17.9% となっている。一方、「いずれも知らなかった」が 39.1% となっている。

里親になれることを知っていた世帯【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「実子がいる世帯」は【女性】が55.5%と、【男性】(36.4%)よりも19.1ポイント高くなっている。一方、「いずれも知らなかった」は【男性】が48.1%と、【女性】(31.4%)よりも16.7ポイント高くなっている。

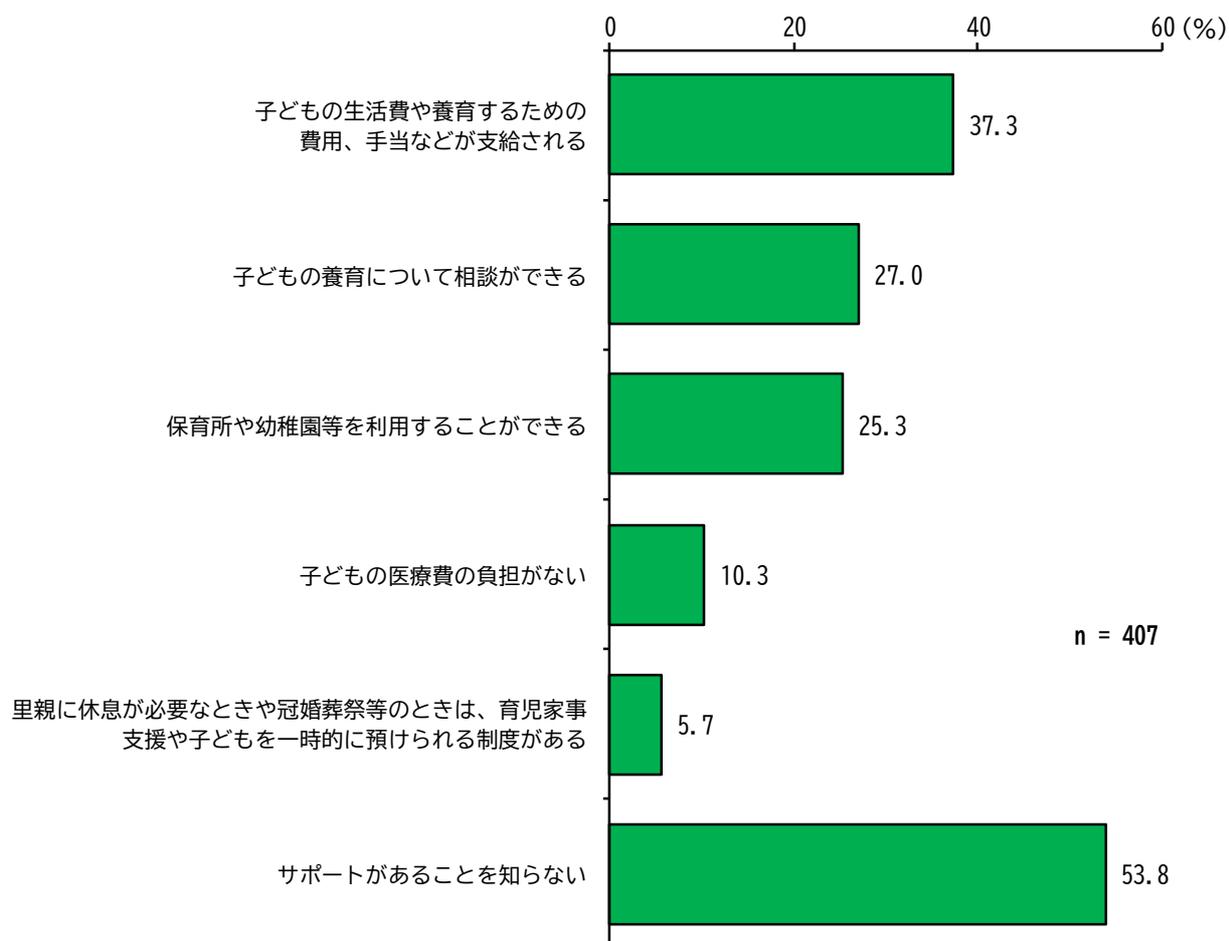
年齢層別で見ると、「共働き世帯」は【70歳～99歳】が37.5%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別で見ると、【金町・新宿】は「実子がいる世帯」が62.3%、「同性パートナー世帯」が29.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(6) 知っている里親に対する支援制度の内容

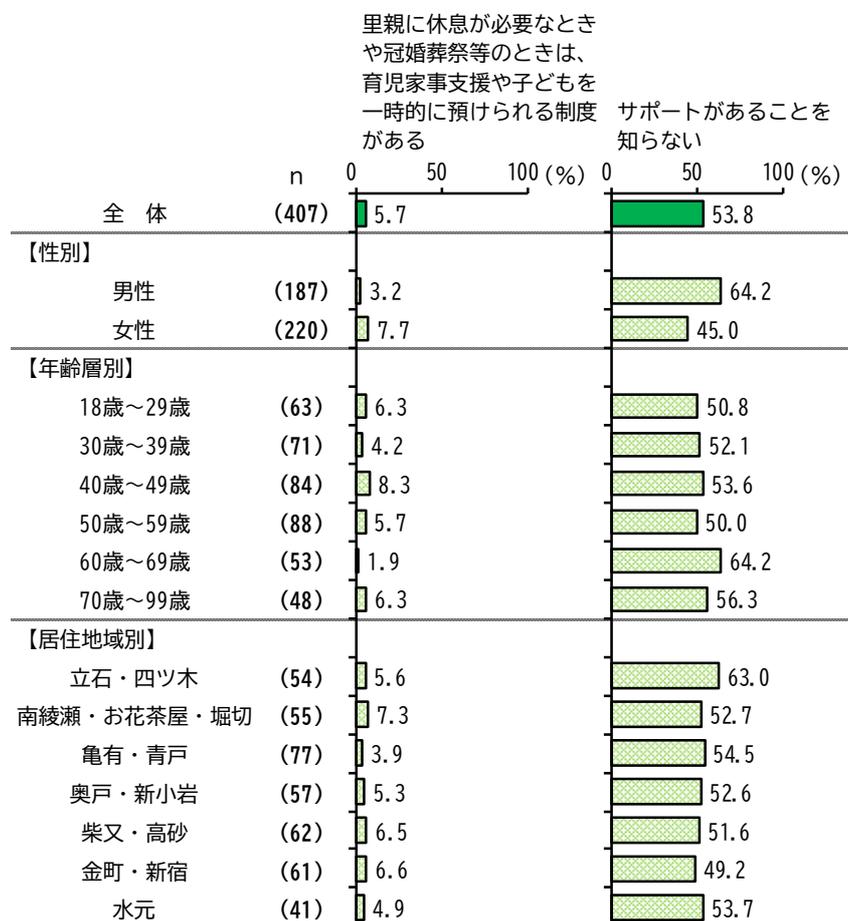
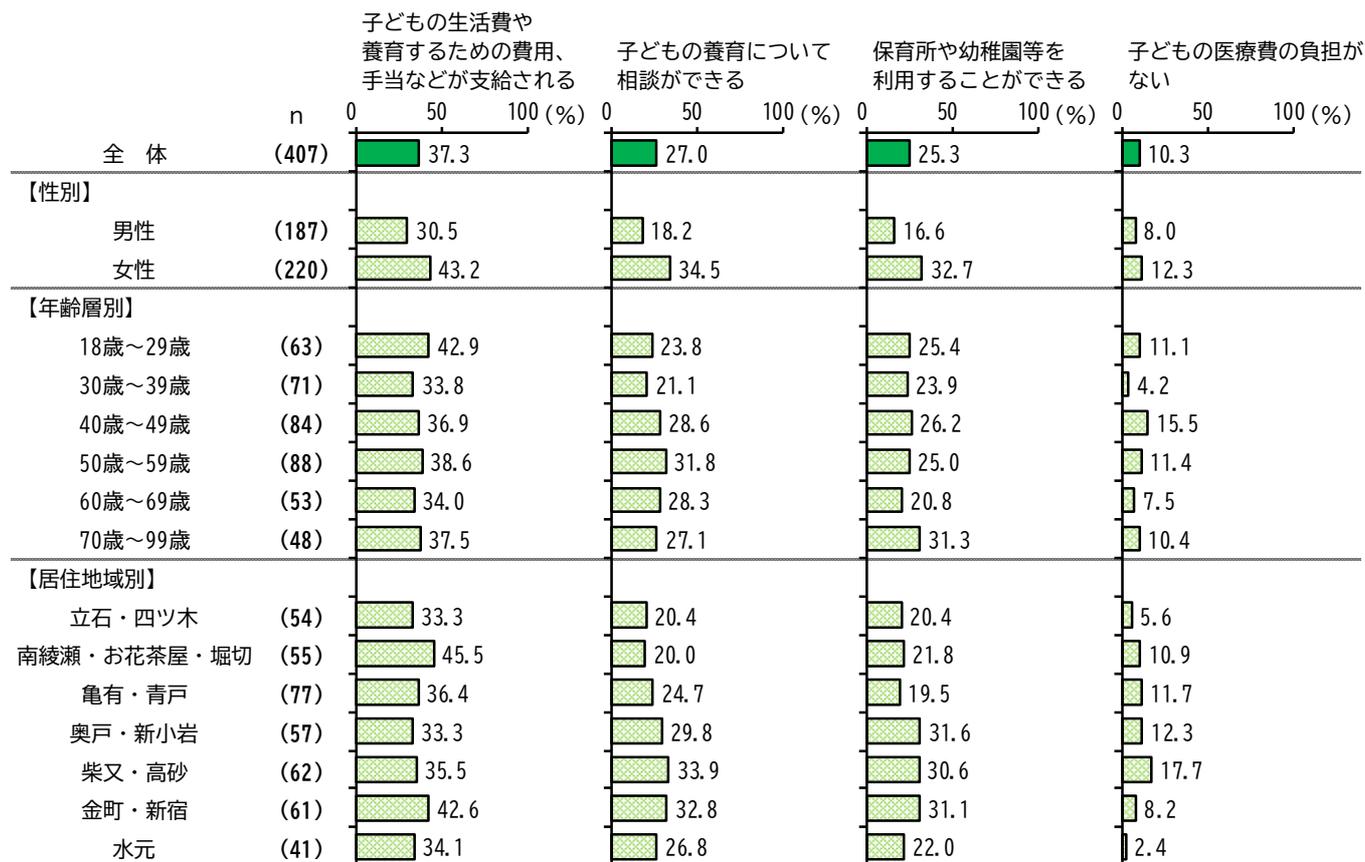
問6. 里親に対しては養育する上で様々な支援制度（サポート）があります。
どのような内容を知っていますか。（あてはまるものを全て選択）

知っている里親に対する支援制度の内容【全体】



知っている里親に対する支援制度の内容は、「サポートがあることを知らない」が53.8%となっている。一方、「子どもの生活費や養育するための費用、手当などが支給される」が37.3%、「子どもの養育について相談ができる」が27.0%、「保育所や幼稚園等を利用することができる」が25.3%となっている。

知っている里親に対する支援制度の内容【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「サポートがあることを知らない」は【男性】が 64.2%と、【女性】(45.0%) よりも 19.2 ポイント高くなっている。一方、「子どもの養育について相談ができる」は【女性】が 34.5%と、【男性】(18.2%) よりも 16.3 ポイント、「保育所や幼稚園等を利用することができる」は【女性】が 32.7%と、【男性】(16.6%) よりも 16.1 ポイント高くなっている。

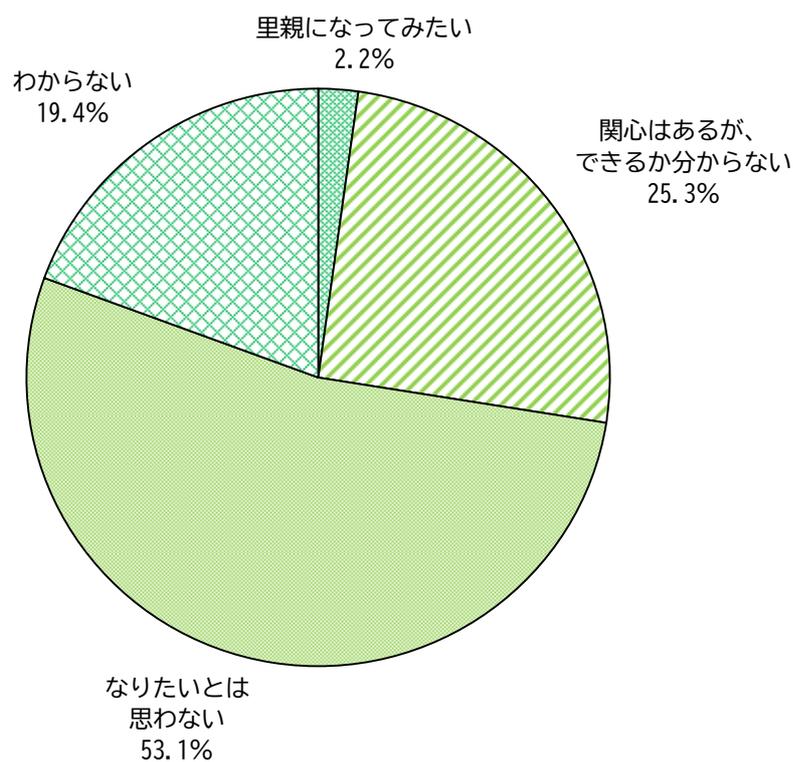
年齢層別で見ると、「サポートがあることを知らない」は【60 歳～69 歳】が 64.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「サポートがあることを知らない」は【立石・四ツ木】が 63.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(7) 里親になってみたいか

問7. あなたは里親になってみたい気持ちがありますか。(1つ選択)

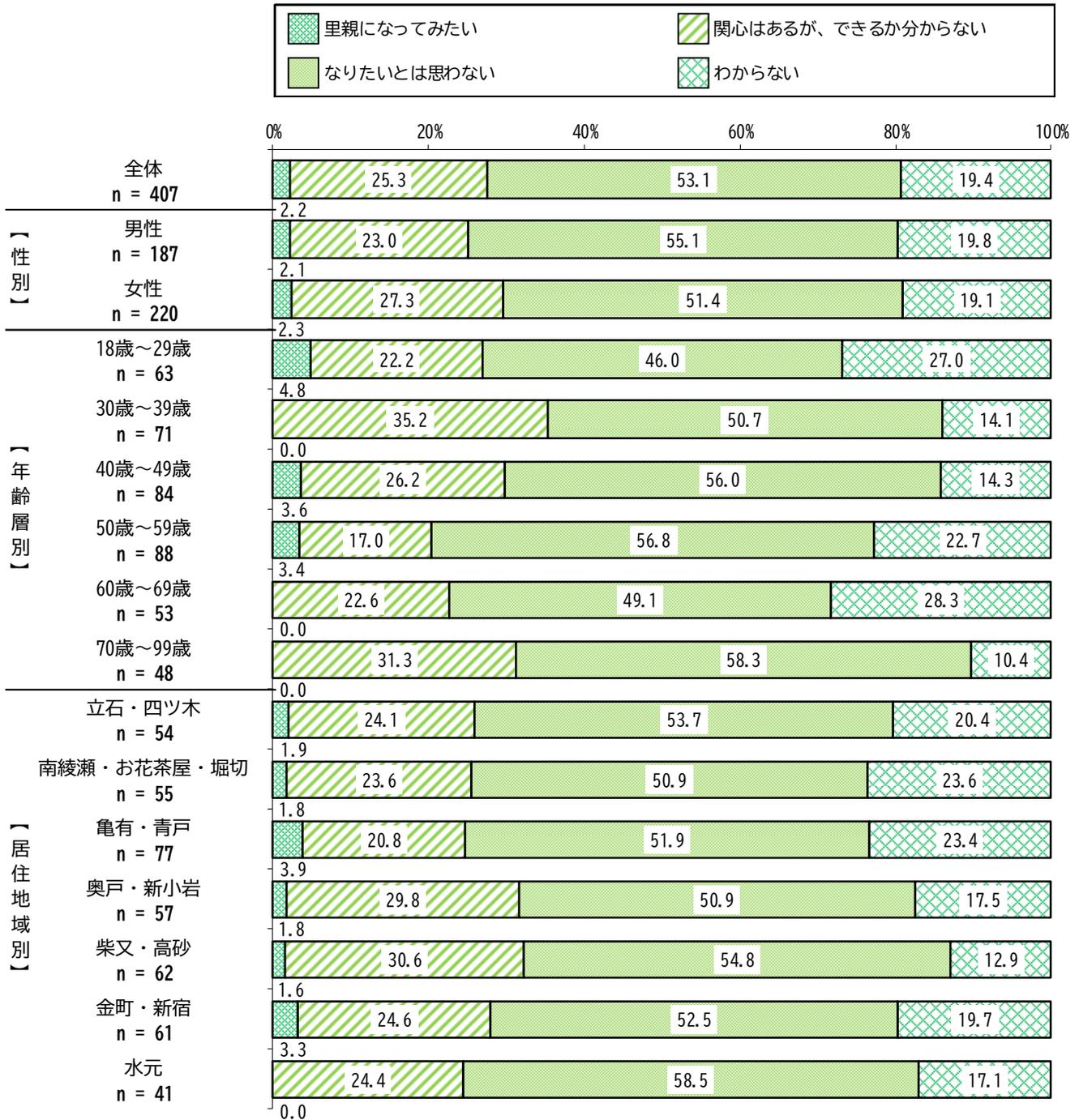
里親になってみたいか【全体】



n = 407

里親になってみたいか、「里親になってみたい」が2.2%、「関心はあるが、できるか分からない」が25.3%となっている。一方、「なりたいとは思わない」が53.1%となっている。

里親になってみたいか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

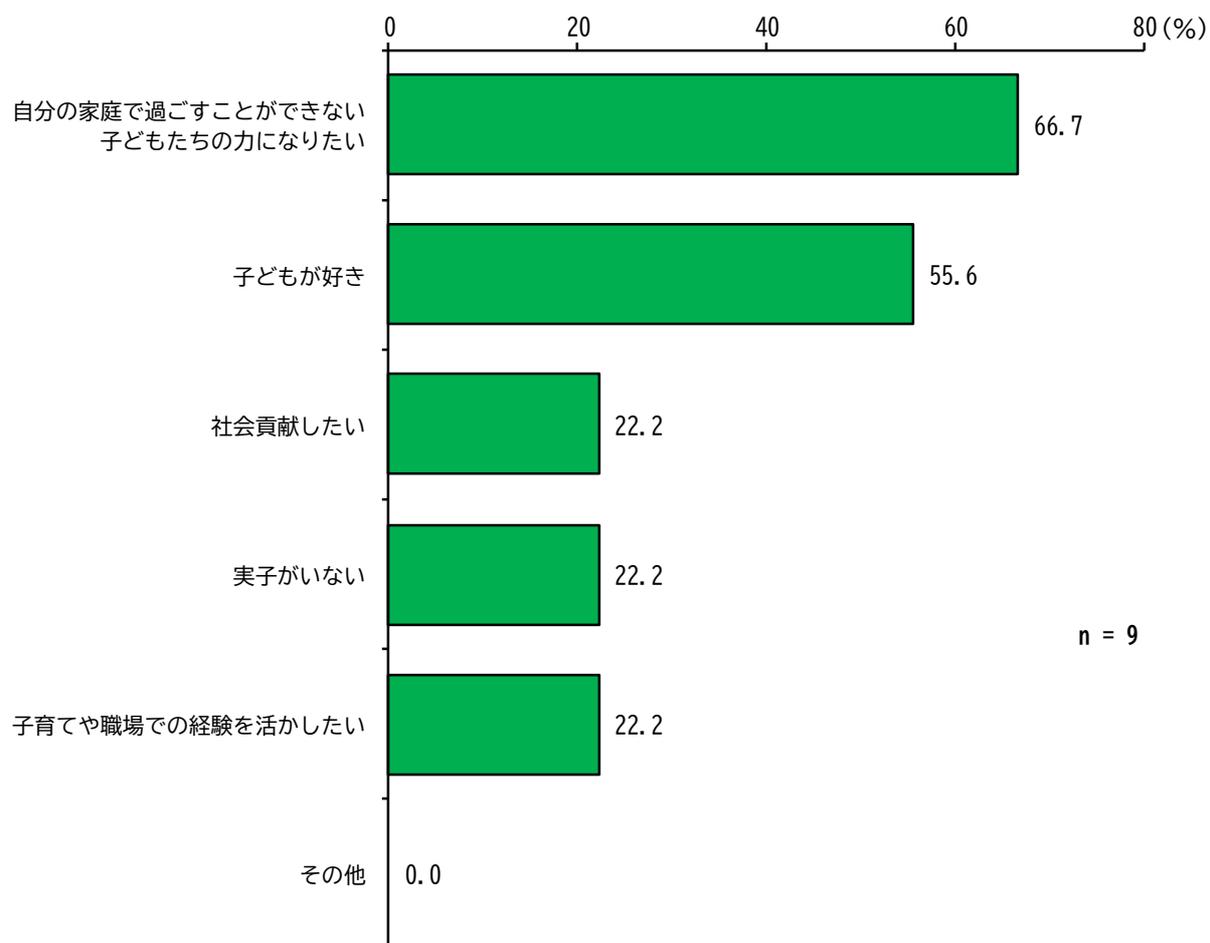
年齢層別で見ると、「関心はあるが、できるか分からない」は【30歳～39歳】が35.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別による大きな差はみられない。

(8) 里親になってみたい理由

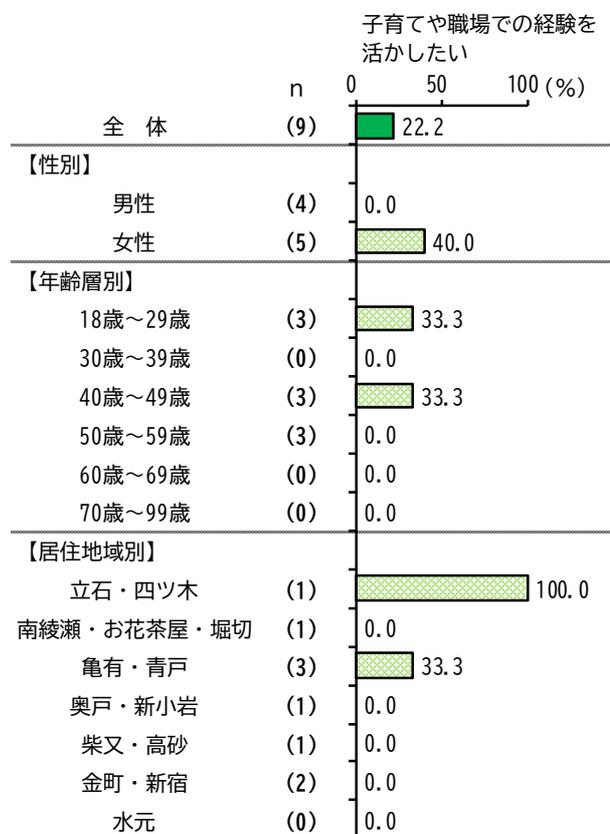
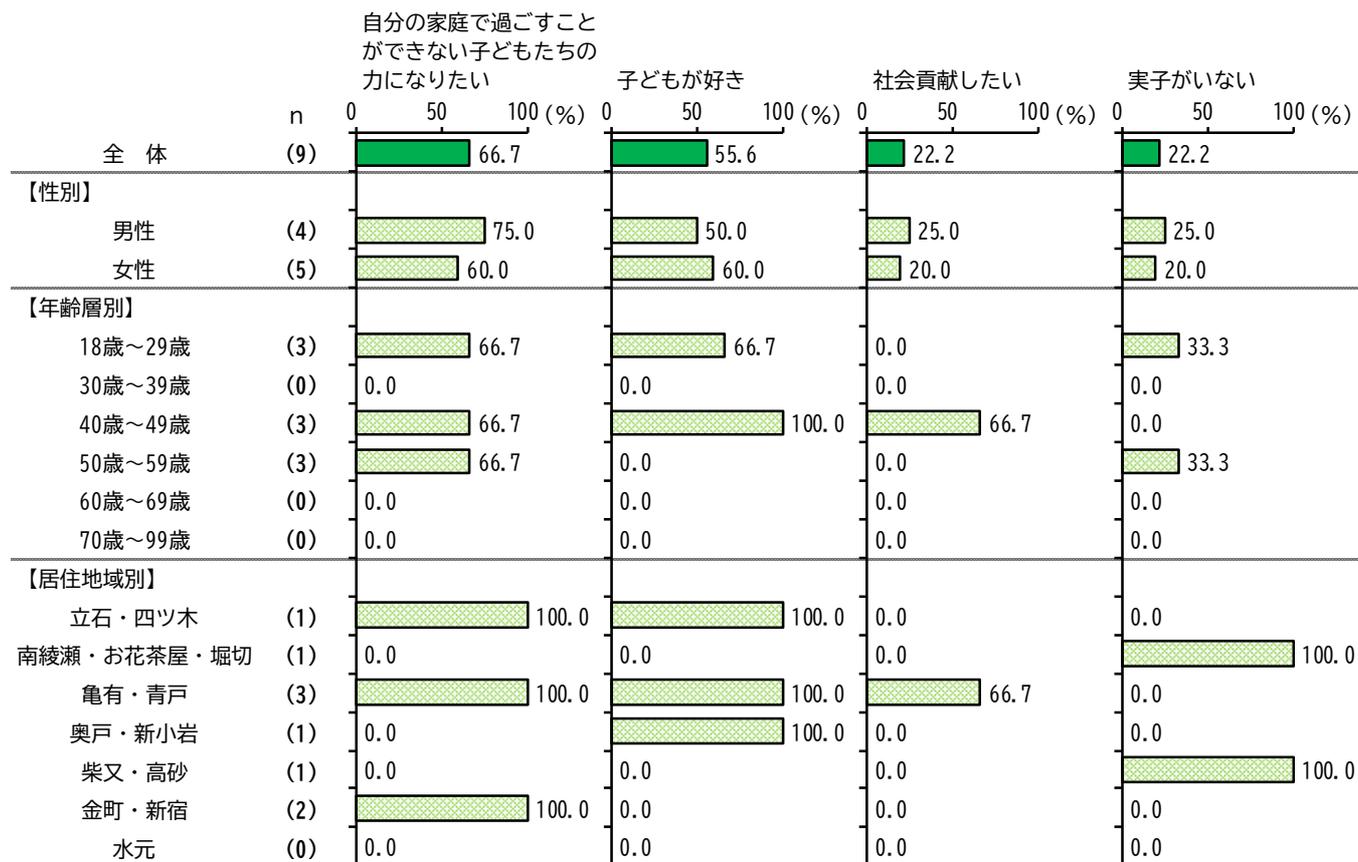
問8. 問7で「里親になってみたい」と答えた方に伺います。
あなたが里親になってみたい理由は何ですか。(あてはまるものを全て選択)

里親になってみたい理由【全体】



里親になってみたい理由は、「自分の家庭で過ごすことができない子どもたちの力になりたい」が66.7%、「子どもが好き」が55.6%となっている。

里親になってみたい理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

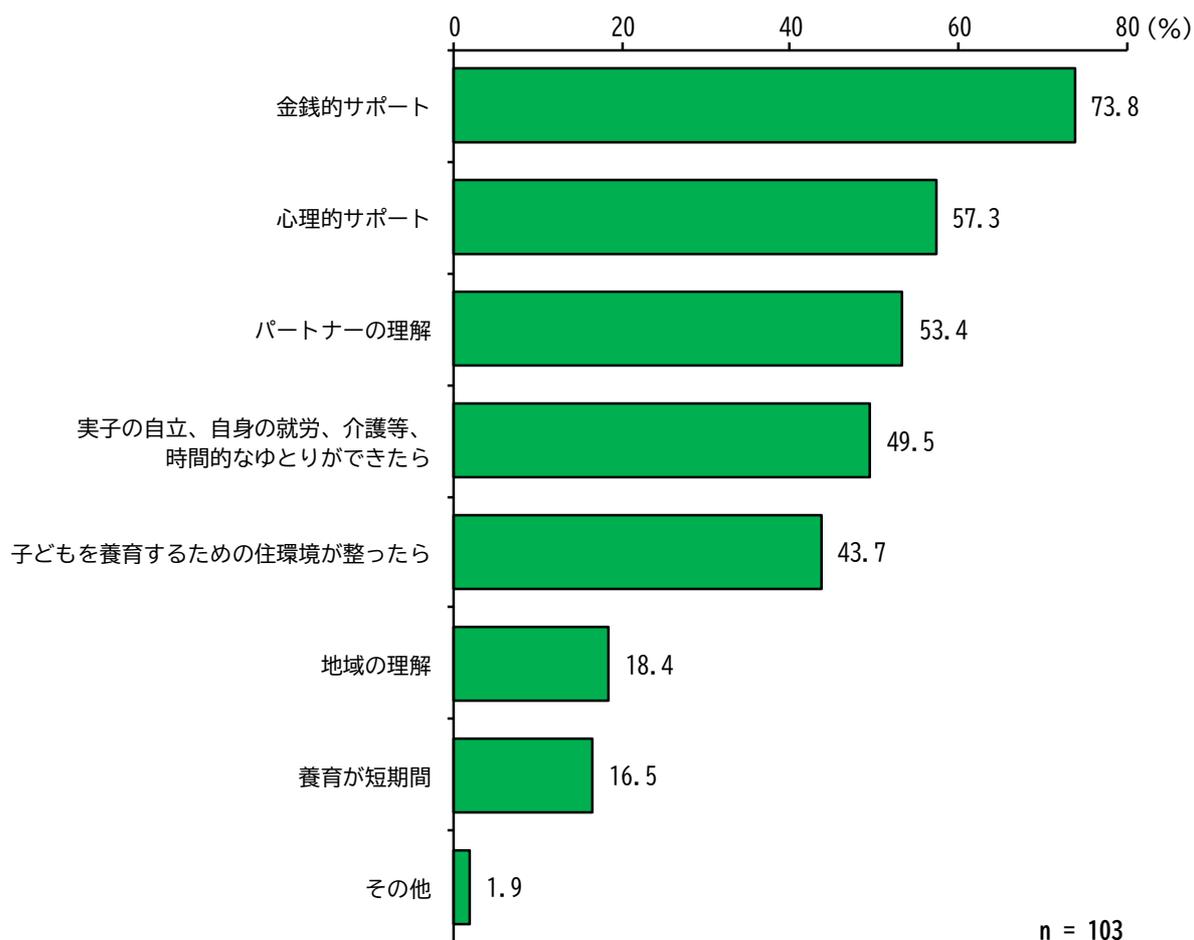


※「その他」は回答者がいないため、割愛している

(9) どのようなサポートが必要か

問9. 問7で「関心はあるが、できるか分からない」と答えた方に伺います。
どのようなサポート等があれば安心してできると思いますか。
(あてはまるものを全て選択)

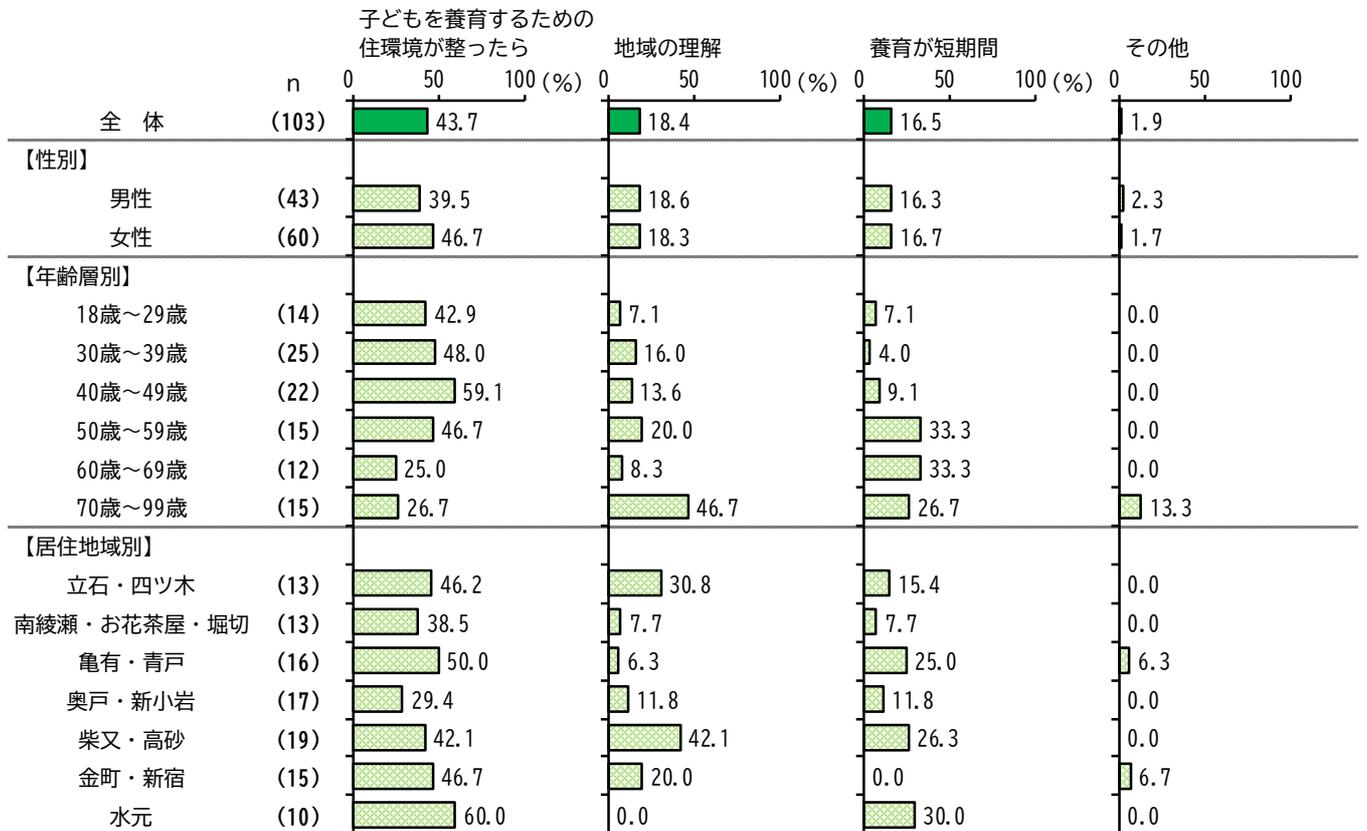
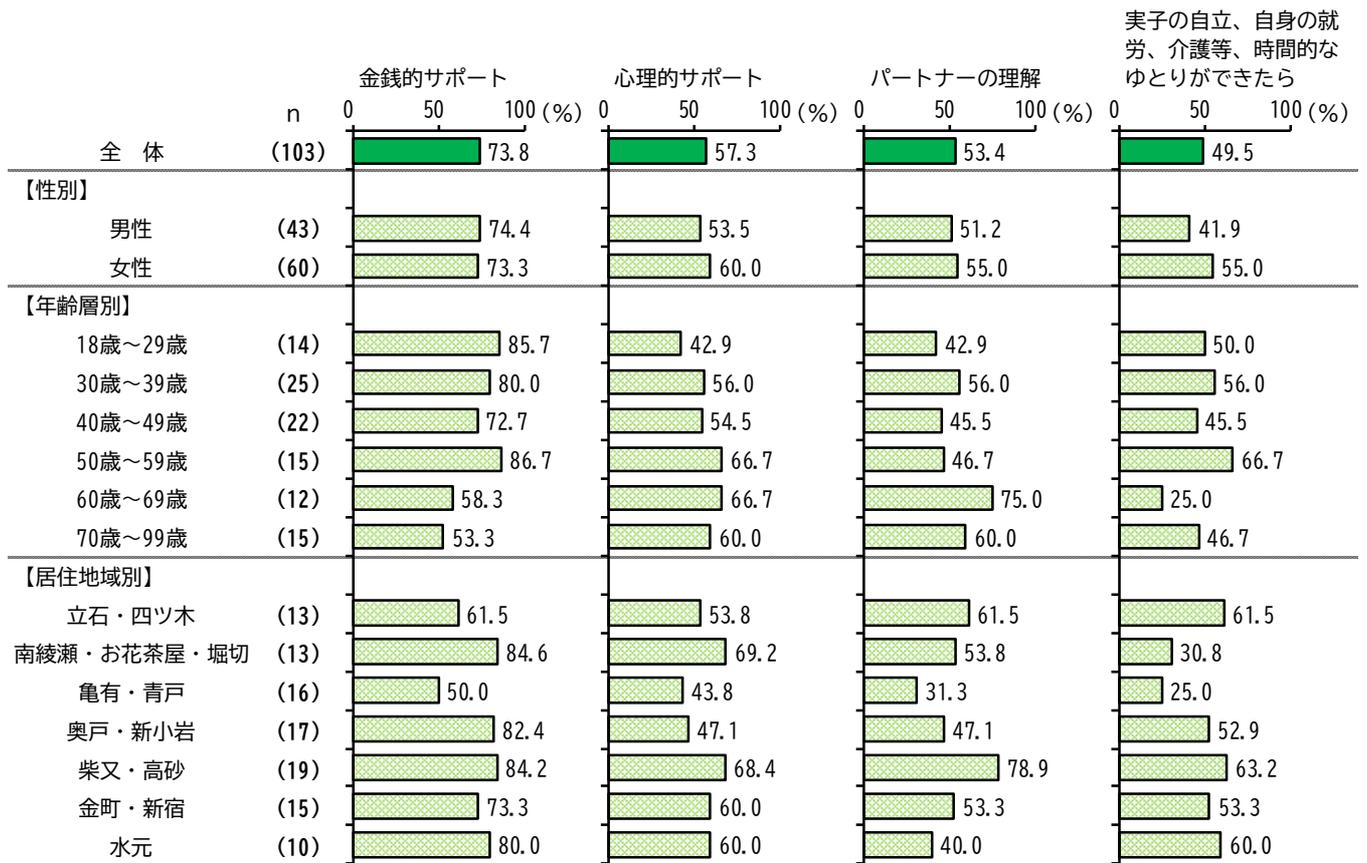
どのようなサポートが必要か【全体】



どのようなサポートが必要か、「金銭的サポート」が73.8%で最も高く、次いで「心理的サポート」が57.3%、「パートナーの理解」が53.4%、「実子の自立、自身の就労、介護等、時間的なゆとりができたなら」が49.5%、「子どもを養育するための住環境が整ったら」が43.7%となっている。

「その他」の内容としては、「高年齢だから」「自分の年齢を考えると難しい」があった。

どのようなサポートが必要か【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「実子の自立、自身の就労、介護等、時間的なゆとりができたら」は【女性】が55.0%と、【男性】(41.9%)よりも13.1ポイント高くなっている。

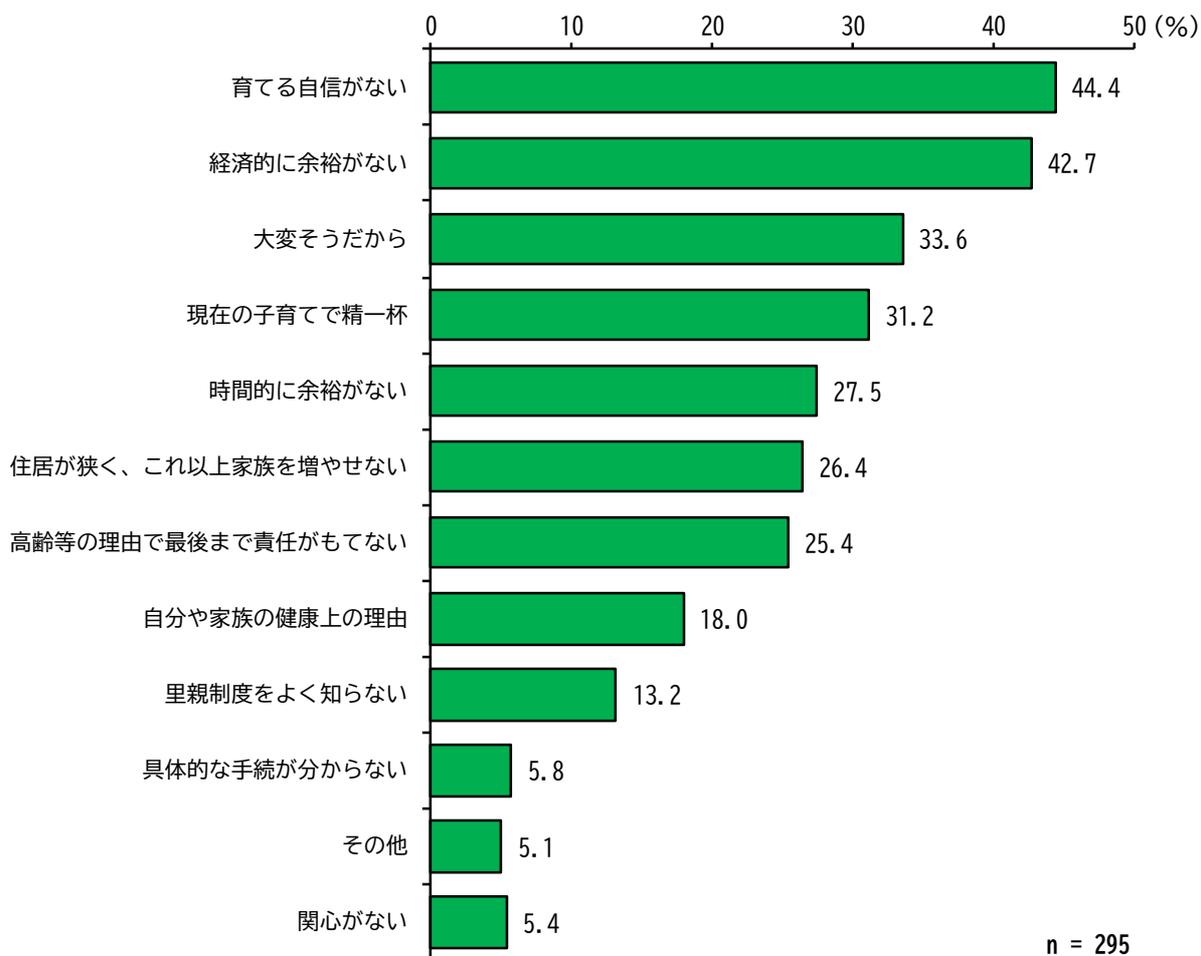
年齢層別で見ると、「地域の理解」は【70歳～99歳】が46.7%、「パートナーの理解」は【60歳～69歳】が75.0%、「実子の自立、自身の就労、介護等、時間的なゆとりができたら」は【50歳～59歳】が66.7%、「子どもを養育するための住環境が整ったら」は【40歳～49歳】が59.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、【柴又・高砂】は「パートナーの理解」が78.9%、「地域の理解」が42.1%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、【亀有・青戸】は「実子の自立、自身の就労、介護等、時間的なゆとりができたら」が25.0%、「金銭的支持」が50.0%、「パートナーの理解」が31.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

(10) 里親になりたいと思わない理由

問 10. 問 7 で「なりたいたと思わない」「わからない」と答えた方に伺います。
なぜそう思われましたか。(あてはまるものを全て選択)

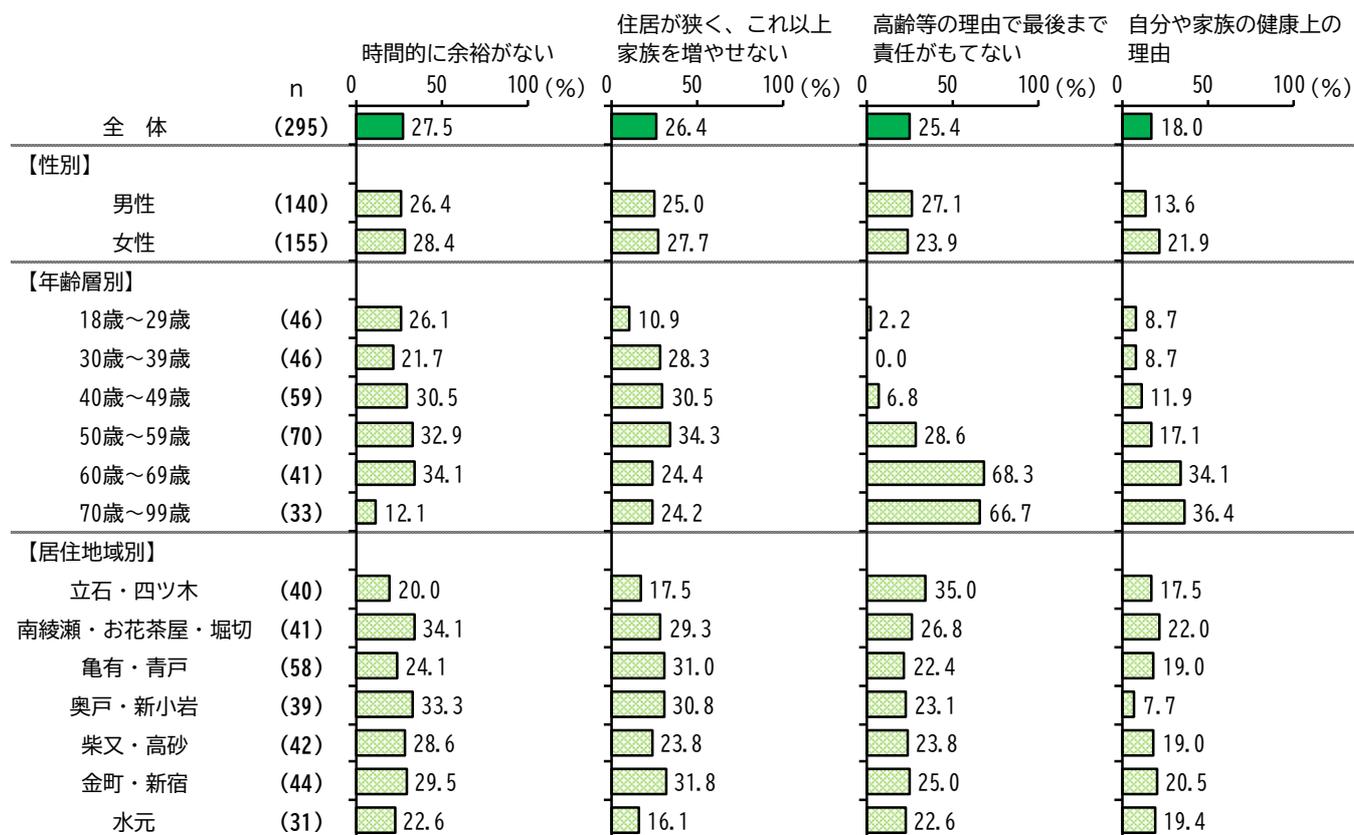
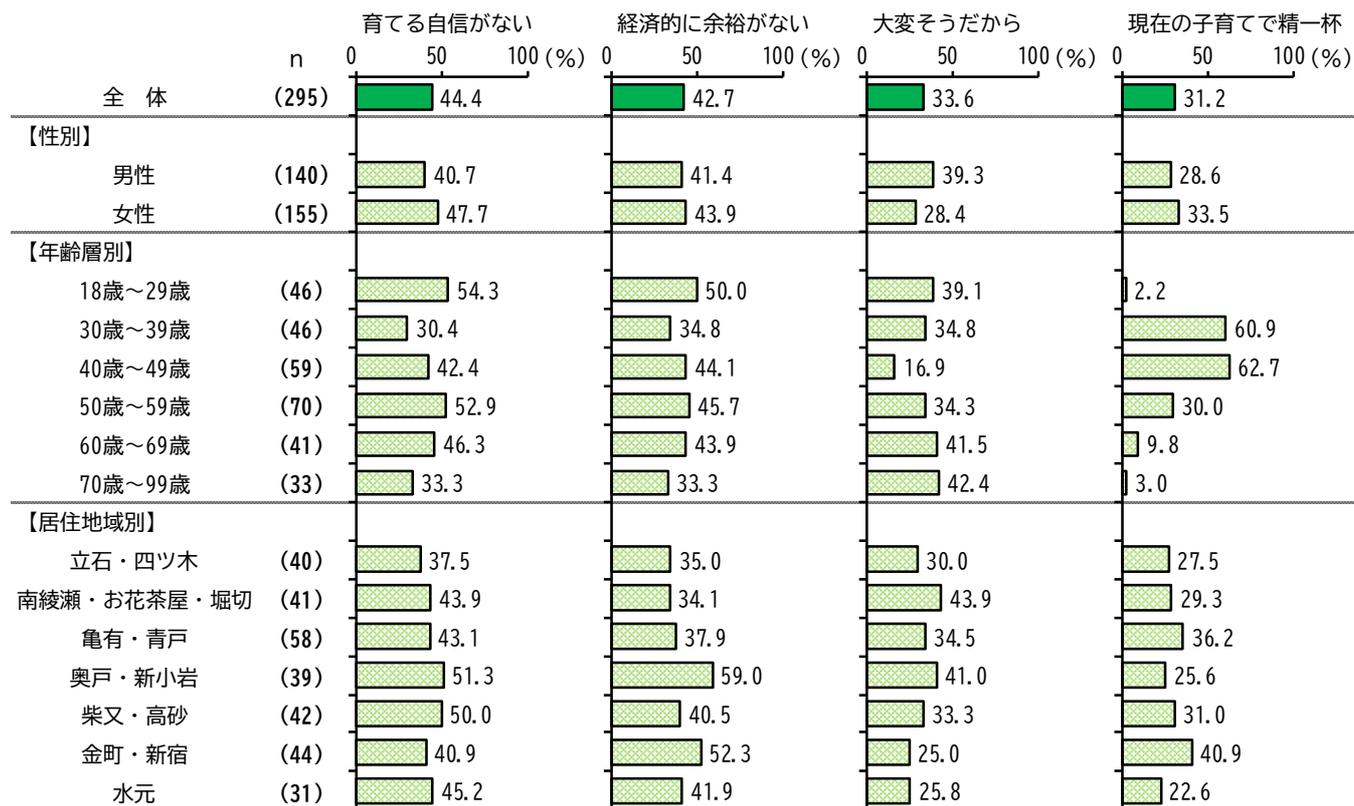
里親になりたいと思わない理由【全体】

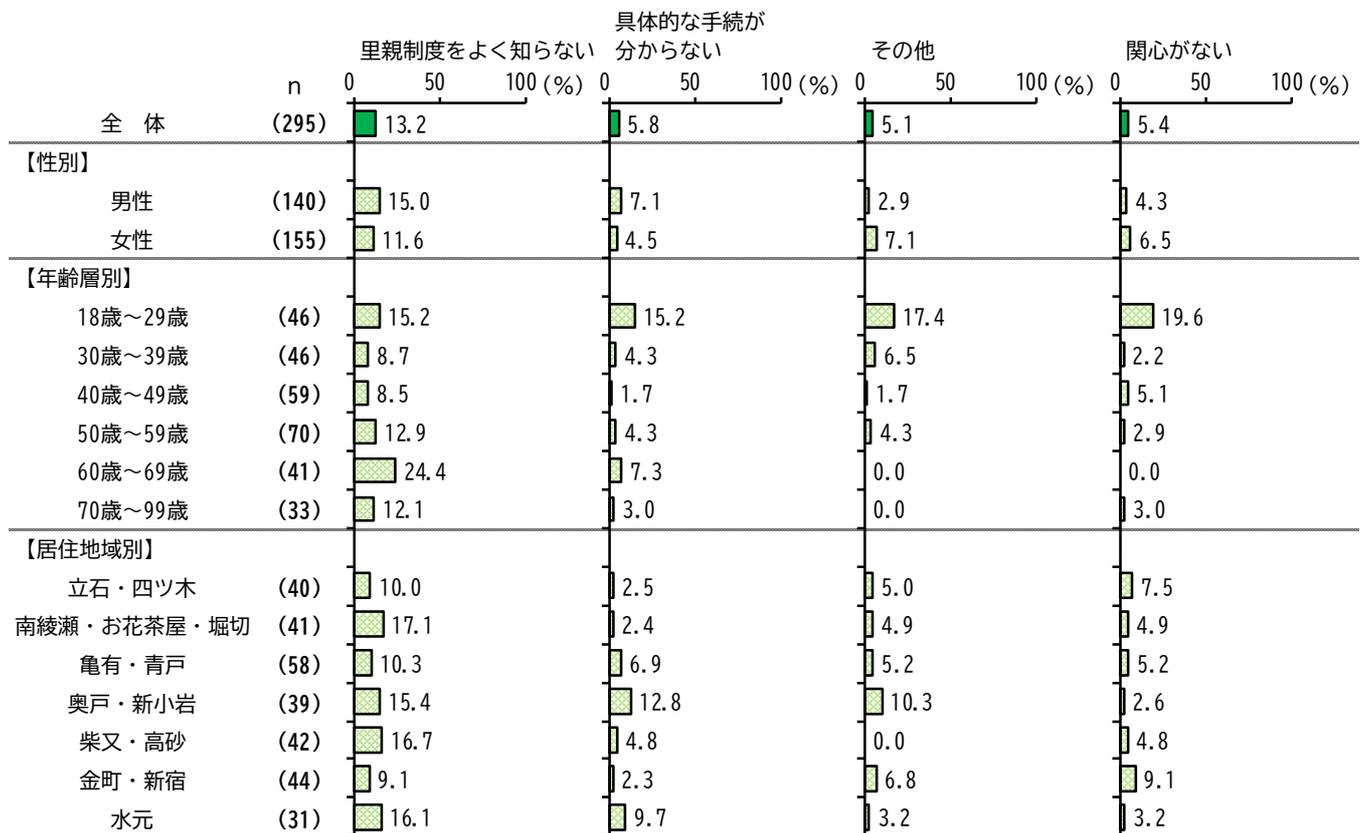


里親になりたいと思わない理由は、「育てる自信がない」が 44.4%で最も高く、次いで「経済的に余裕がない」が 42.7%、「大変そうだから」が 33.6%、「現在の子育てで精一杯」が 31.2%、「時間的に余裕がない」が 27.5%、「住居が狭く、これ以上家族を増やせない」が 26.4%、「高齢等の理由で最後まで責任がもてない」が 25.4%と続いている。

「その他」の内容としては、「まだ学生だから私には無理だと思う」「独身だから」「子供が苦手を感じる」「自身の子供をもうける予定のため」「血が繋がっていないので気持ちが」などがあつた。

里親になりたいと思わない理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別で見ると、「大変そうだから」は【男性】が39.3%と、【女性】(28.4%)よりも10.9ポイント高くなっている。一方、「自分や家族の健康上の理由」は【女性】が21.9%と、【男性】(13.6%)よりも8.3ポイント、「育てる自信がない」は【女性】が47.7%と、【男性】(40.7%)よりも7.0ポイント高くなっている。

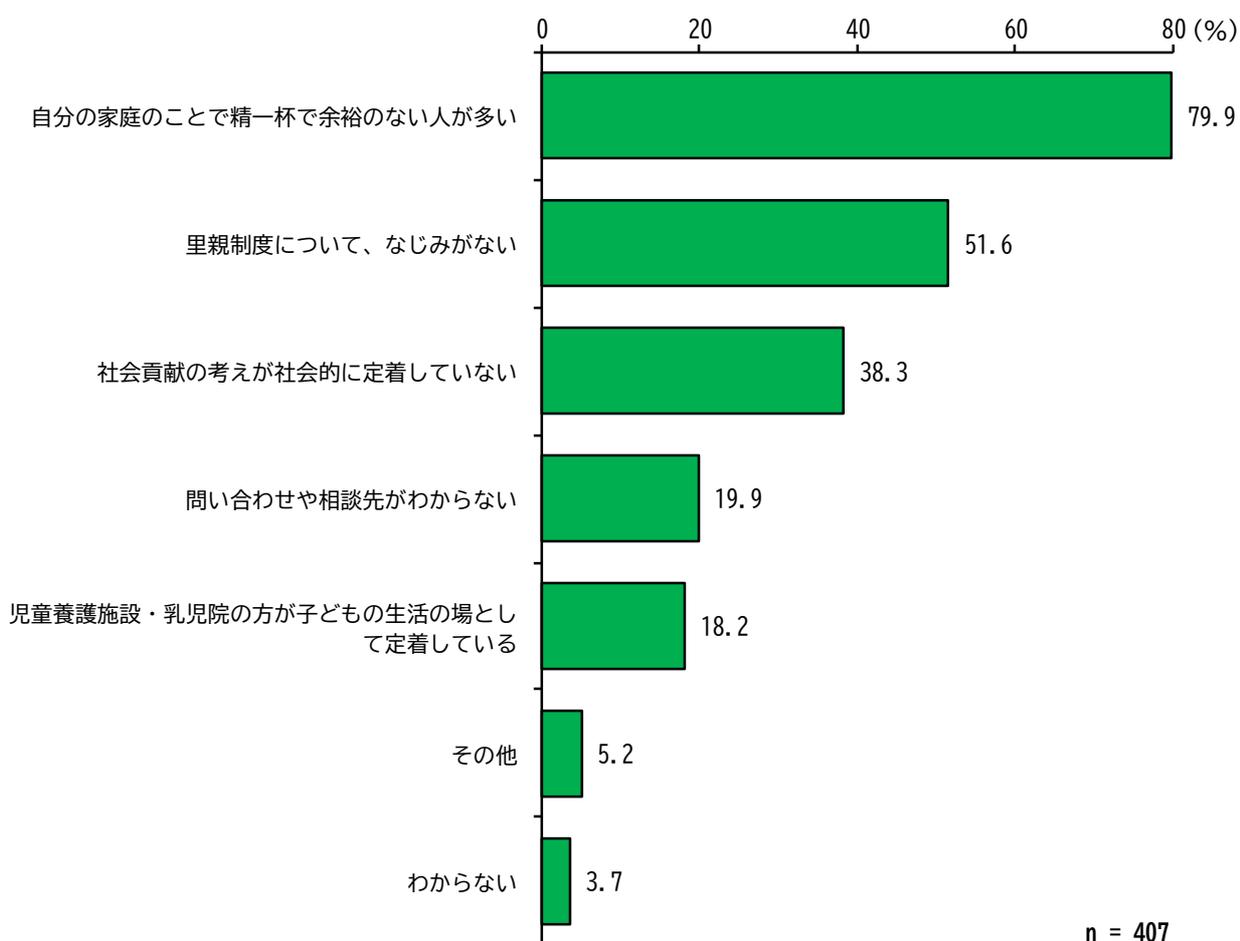
年齢層別で見ると、「高齢等の理由で最後まで責任がもてない」は【60歳～69歳】が68.3%、【70歳～99歳】が66.7%と、他の区分に比べ高くなっている。「現在の子育てで精一杯」は【40歳～49歳】が62.7%、【30歳～39歳】が60.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「経済的に余裕がない」は【奥戸・新小岩】が59.0%、「大変そうだから」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が43.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

(11) 里親制度が普及していない理由

問 11. 里親制度が広く普及していない理由はなぜだと思いますか。
(あてはまるものを全て選択)

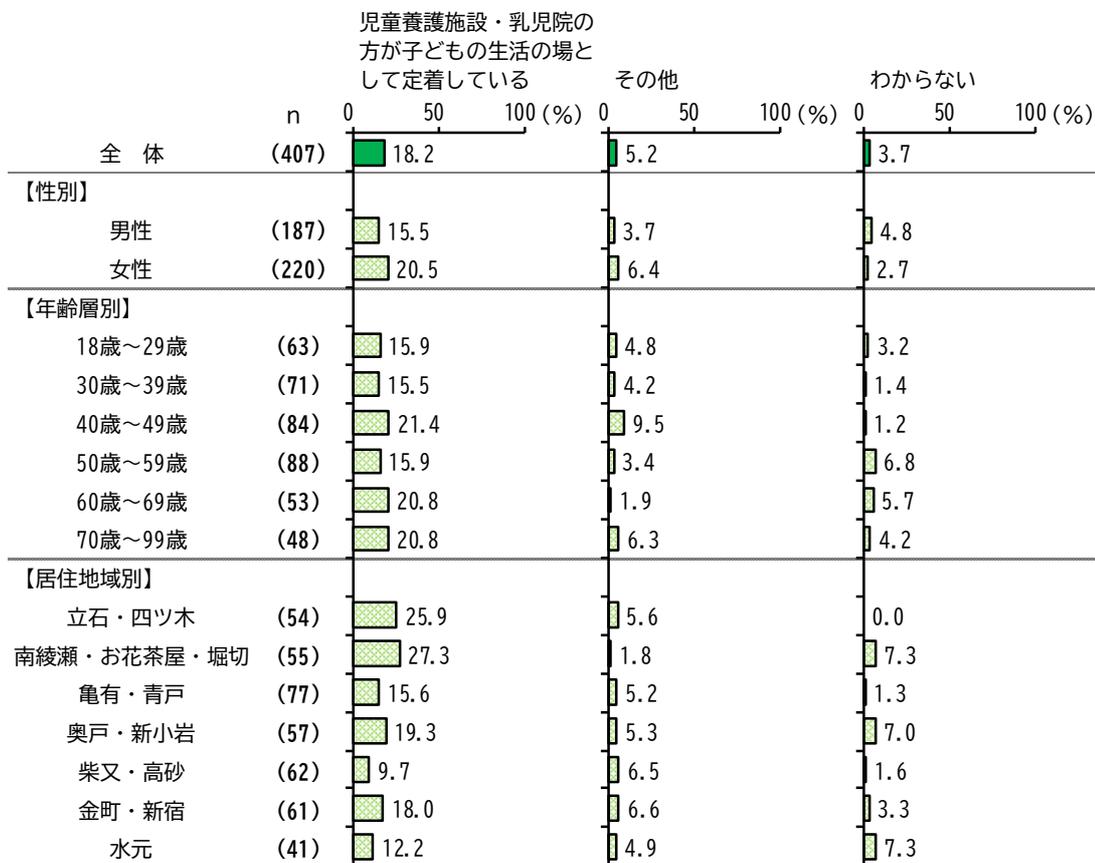
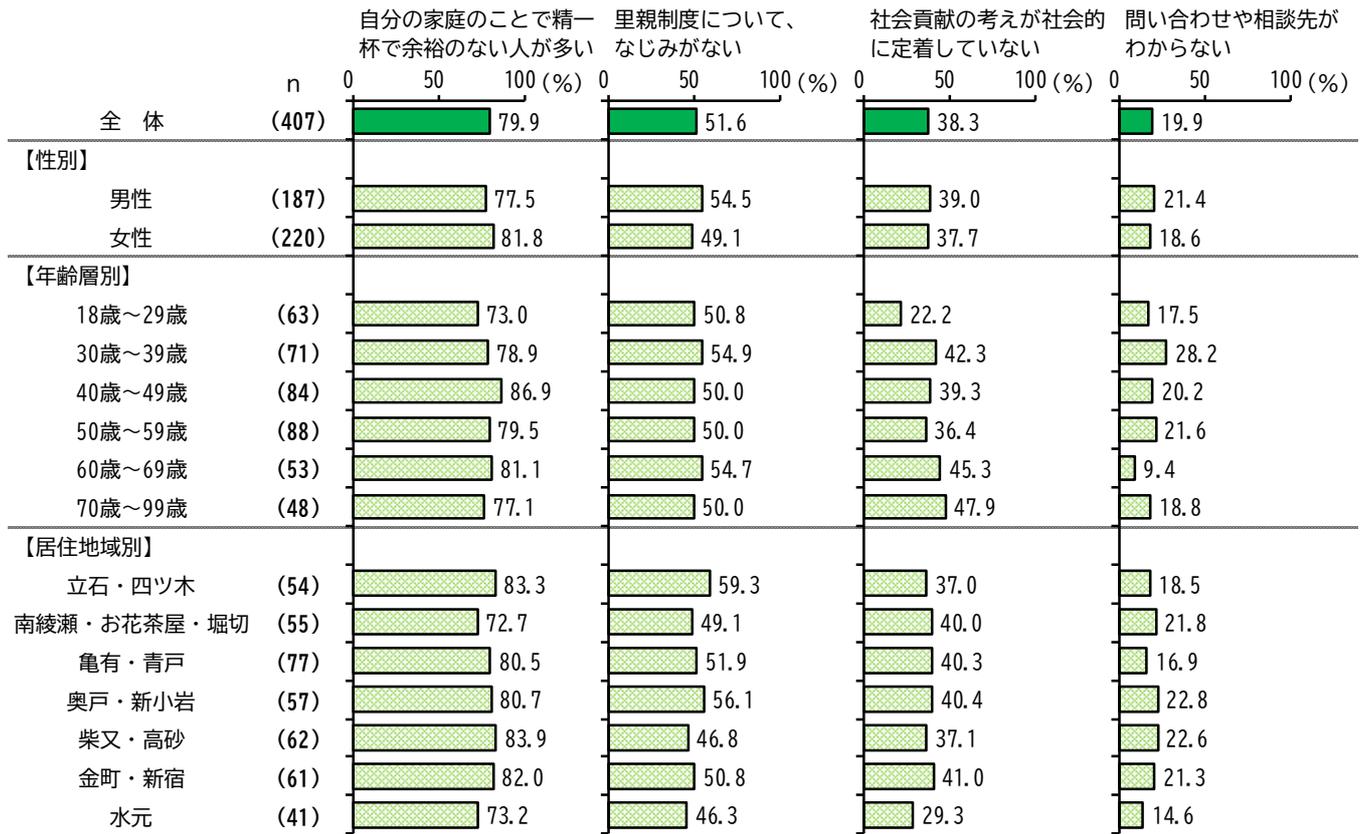
里親制度が普及していない理由【全体】



里親制度が普及していない理由は、「自分の家庭のことで精一杯で余裕のない人が多い」が 79.9%で最も高く、次いで「里親制度について、なじみがない」が 51.6%、「社会貢献の考えが社会的に定着していない」が 38.3%となっている。

「その他」の内容としては、「子供を育てるということに対する責任が重いと思っている」「里親になる条件が厳しそう」「金銭的な面」「そもそも本当の親の問題として認識している」「我が子を育てる以上に、里子を育てることは難しいと考える人が多い」などがあつた。

里親制度が普及していない理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「里親制度について、なじみがない」は【男性】が 54.5%と、【女性】(49.1%) よりも 5.4 ポイント高くなっている。一方、「児童養護施設・乳児院の方が子どもの生活の場として定着している」は【女性】が 20.5%と、【男性】(15.5%) よりも 5.0 ポイント高くなっている。

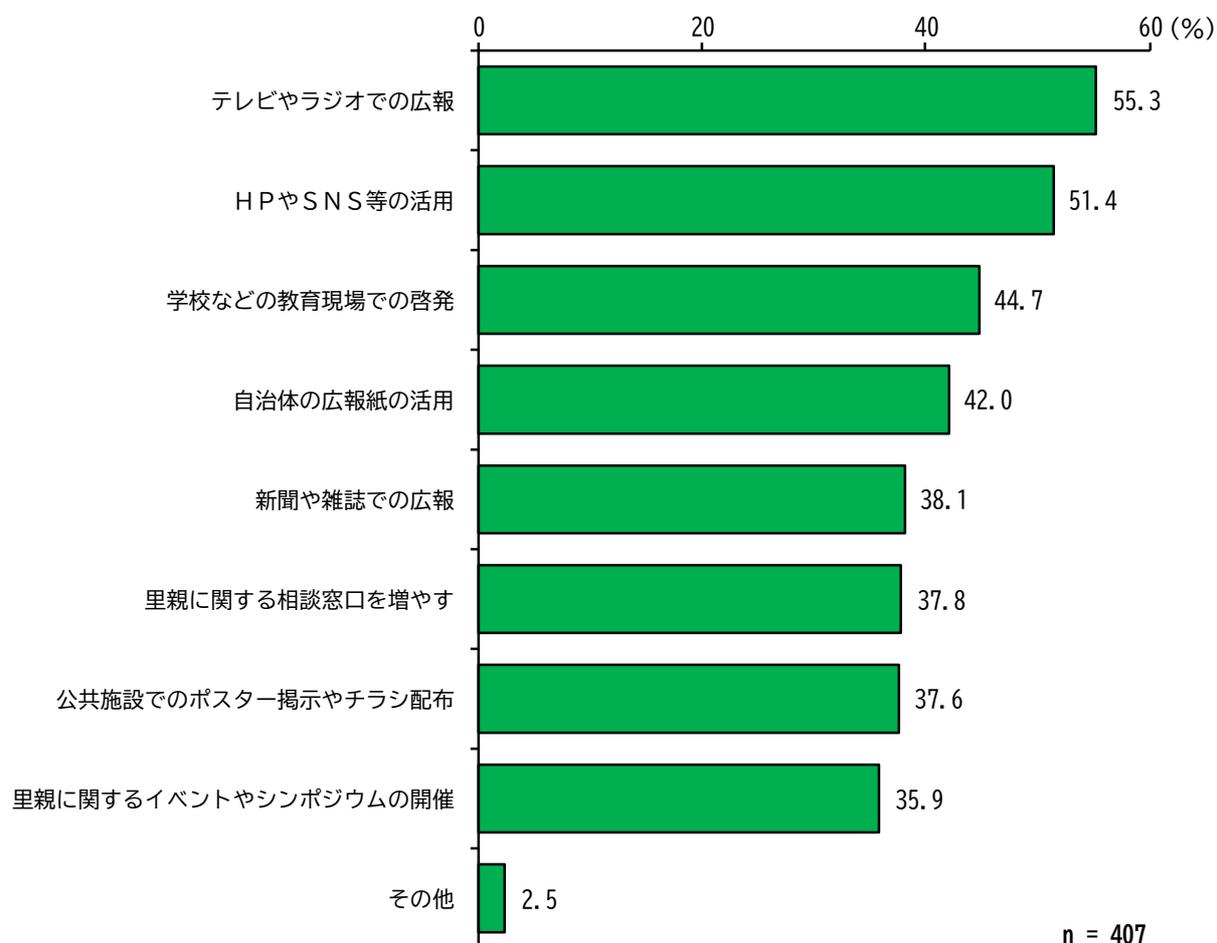
年齢層別で見ると、「社会貢献の考えが社会的に定着していない」は【18 歳～29 歳】が 22.2%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別で見ると、「児童養護施設・乳児院の方が子どもの生活の場として定着している」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 27.3%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「社会貢献の考えが社会的に定着していない」は【水元】が 29.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

(12) 里親制度の理解を深めるために効果的な広報

問 12. 今後、里親制度についての理解を深めていくために、どのような広報が効果的だと思いますか。(あてはまるものを全て選択)

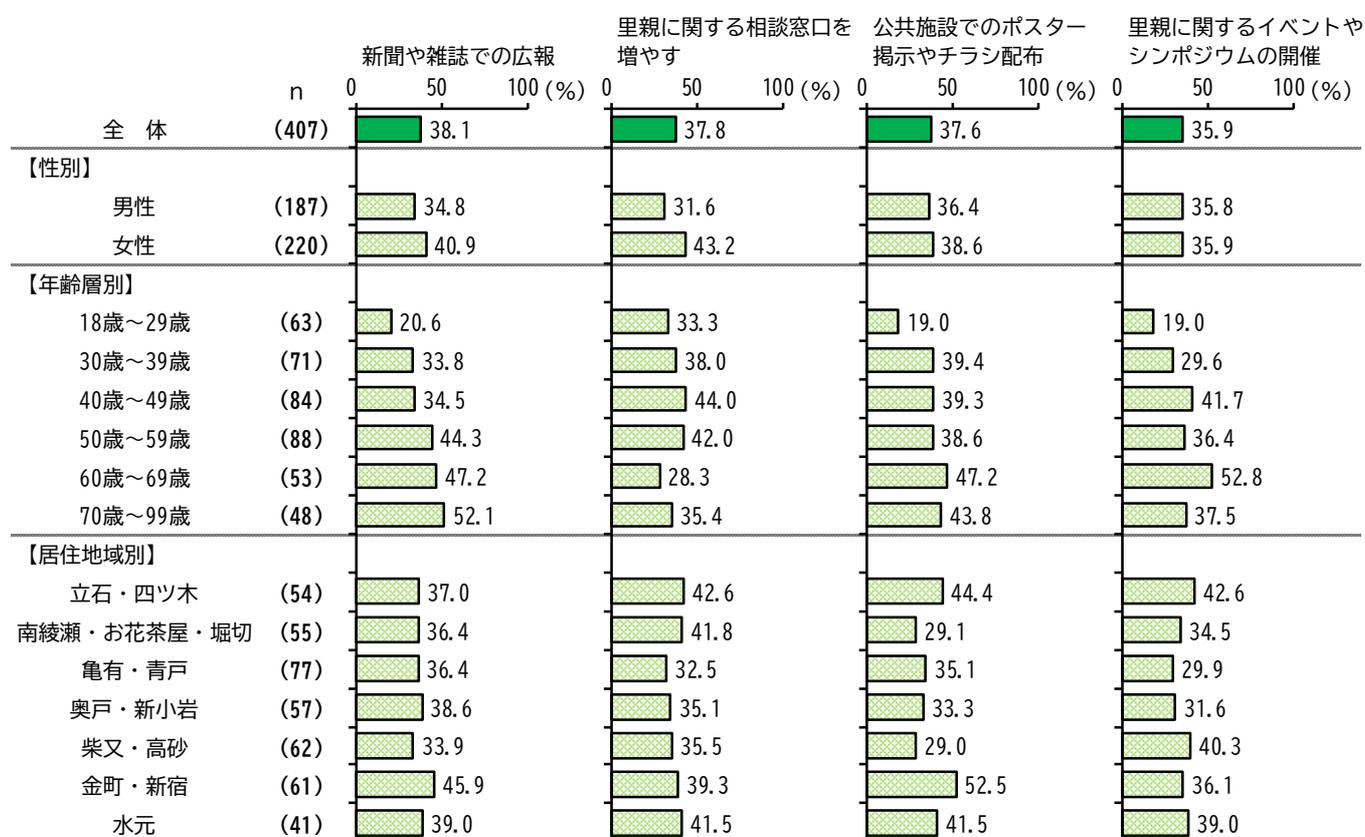
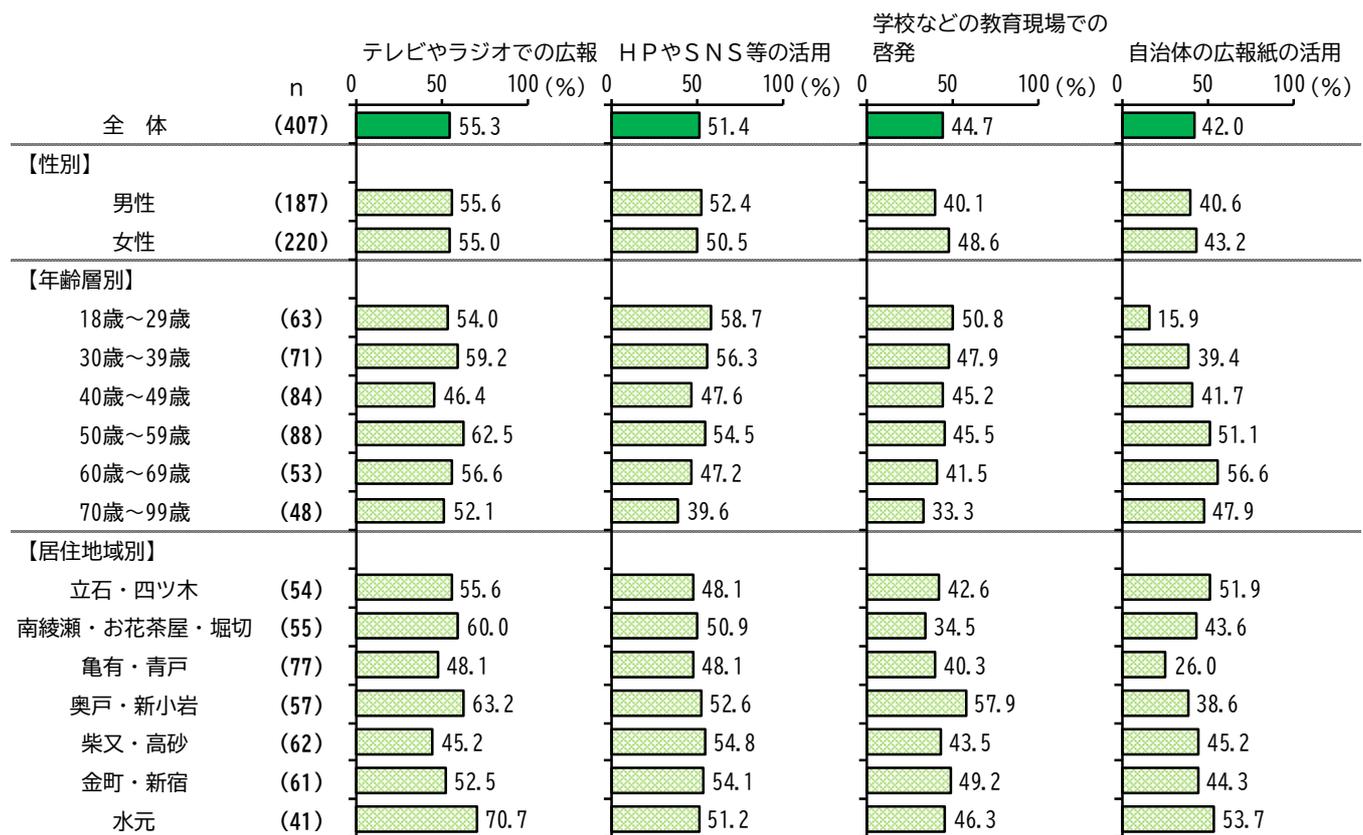
里親制度の理解を深めるために効果的な広報【全体】



里親制度の理解を深めるために効果的な広報は、「テレビやラジオでの広報」が55.3%で最も高く、次いで「HPやSNS等の活用」が51.4%、「学校などの教育現場での啓発」が44.7%、「自治体の広報紙の活用」が42.0%、「新聞や雑誌での広報」が38.1%、「里親に関する相談窓口を増やす」が37.8%、「公共施設でのポスター掲示やチラシ配布」が37.6%、「里親に関するイベントやシンポジウムの開催」が35.9%となっている。

「その他」の内容としては、「里親になってくれそうな人の傾向を分析し、直接アプローチする」「その子供に対して、教育・養育費用の完全無償化」「不妊治療とかやっている施設での発信」「制度を取り上げた映画やドラマを流行らせる」「里親となった人が得をするような仕組みづくり」「里親の元で育った方たちが、発信する。そのような子たちも、同じ人なのだと知ってもらおう」などがあつた。

里親制度の理解を深めるために効果的な広報【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「里親に関する相談窓口を増やす」は【女性】が 43.2%と、【男性】(31.6%) よりも 11.6 ポイント、「学校などの教育現場での啓発」は【女性】が 48.6%と、【男性】(40.1%) よりも 8.5 ポイント、「新聞や雑誌での広報」は【女性】が 40.9%と、【男性】(34.8%) よりも 6.1 ポイント高くなっている。

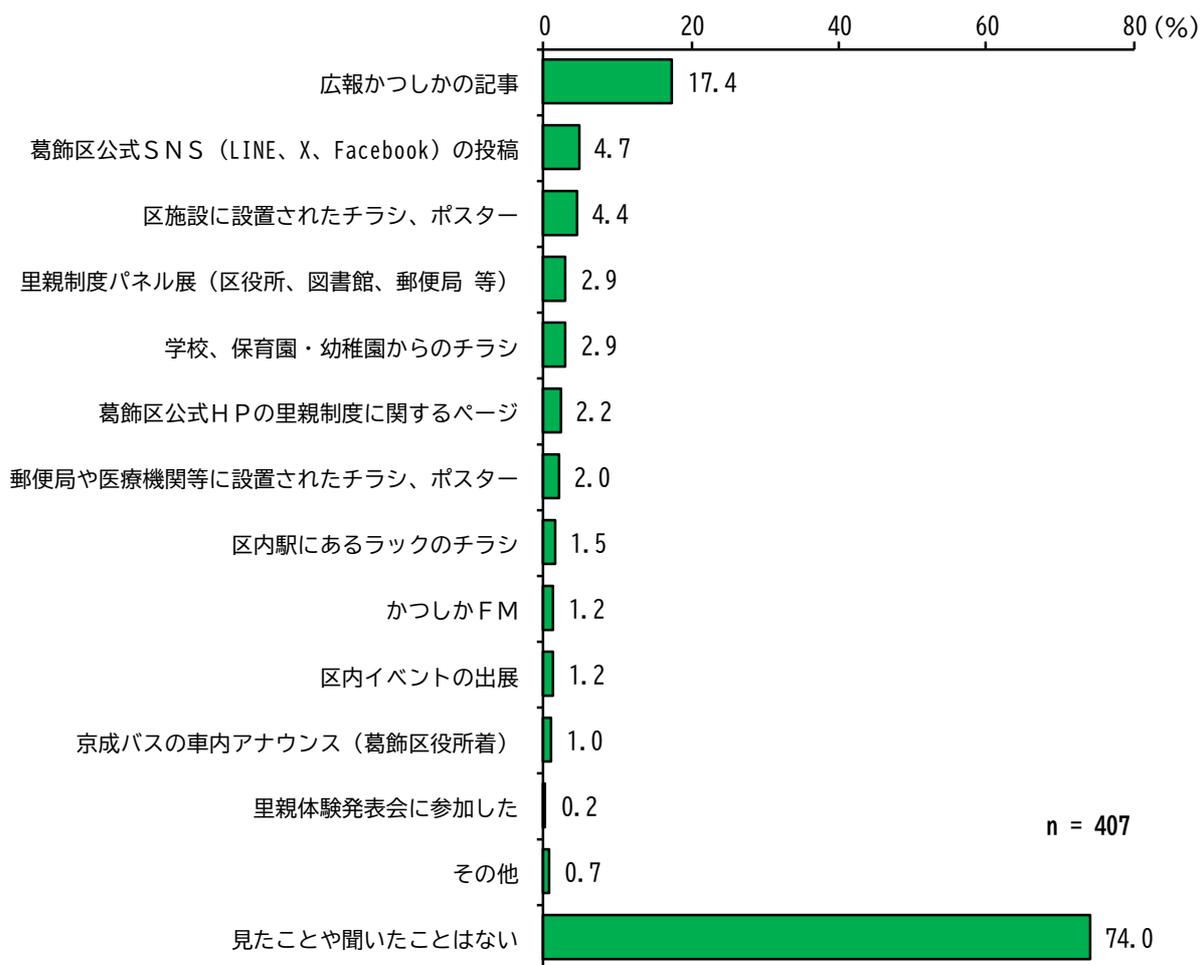
年齢層別でみると、【18歳～29歳】は「自治体の広報紙の活用」が 15.9%、「公共施設でのポスター掲示やチラシ配布」が 19.0%、「新聞や雑誌での広報」が 20.6%と、他の区分に比べ低くなっている。「里親に関するイベントやシンポジウムの開催」は【60歳～69歳】が 52.8%と、他の区分に比べ高く、【18歳～29歳】が 19.0%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「自治体の広報紙の活用」は【亀有・青戸】が 26.0%と、他の区分に比べ低くなっている。一方、「テレビやラジオでの広報」は【水元】が 70.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(13) 見たこと、聞いたことがある区の里親制度の広報活動

問 13. 令和5年10月に葛飾区児童相談所を開設し、里親制度の広報活動を行ってきましたが、実際にこれまでに見たこと、聞いたことがあるものはありますか。
(あてはまるものを全て選択)

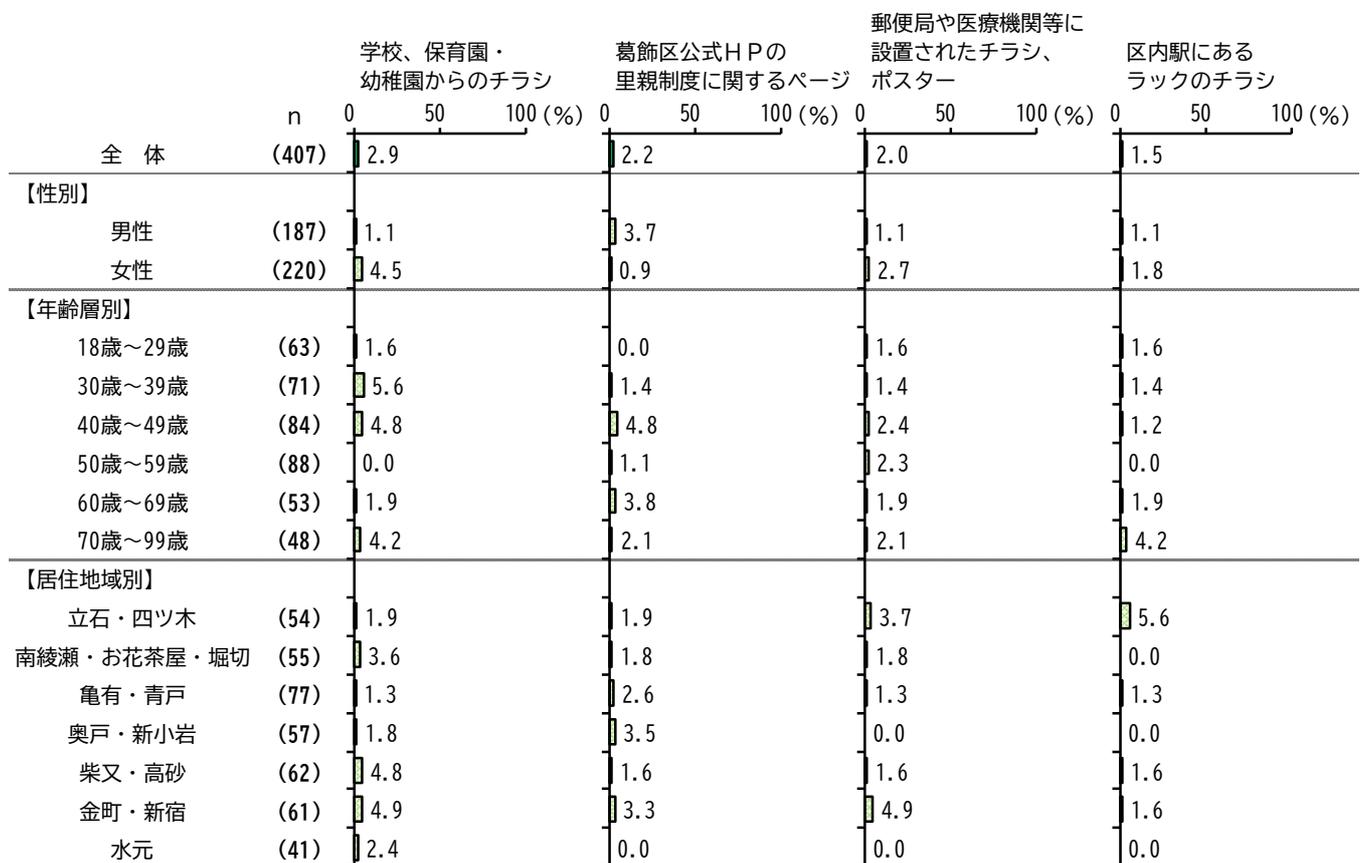
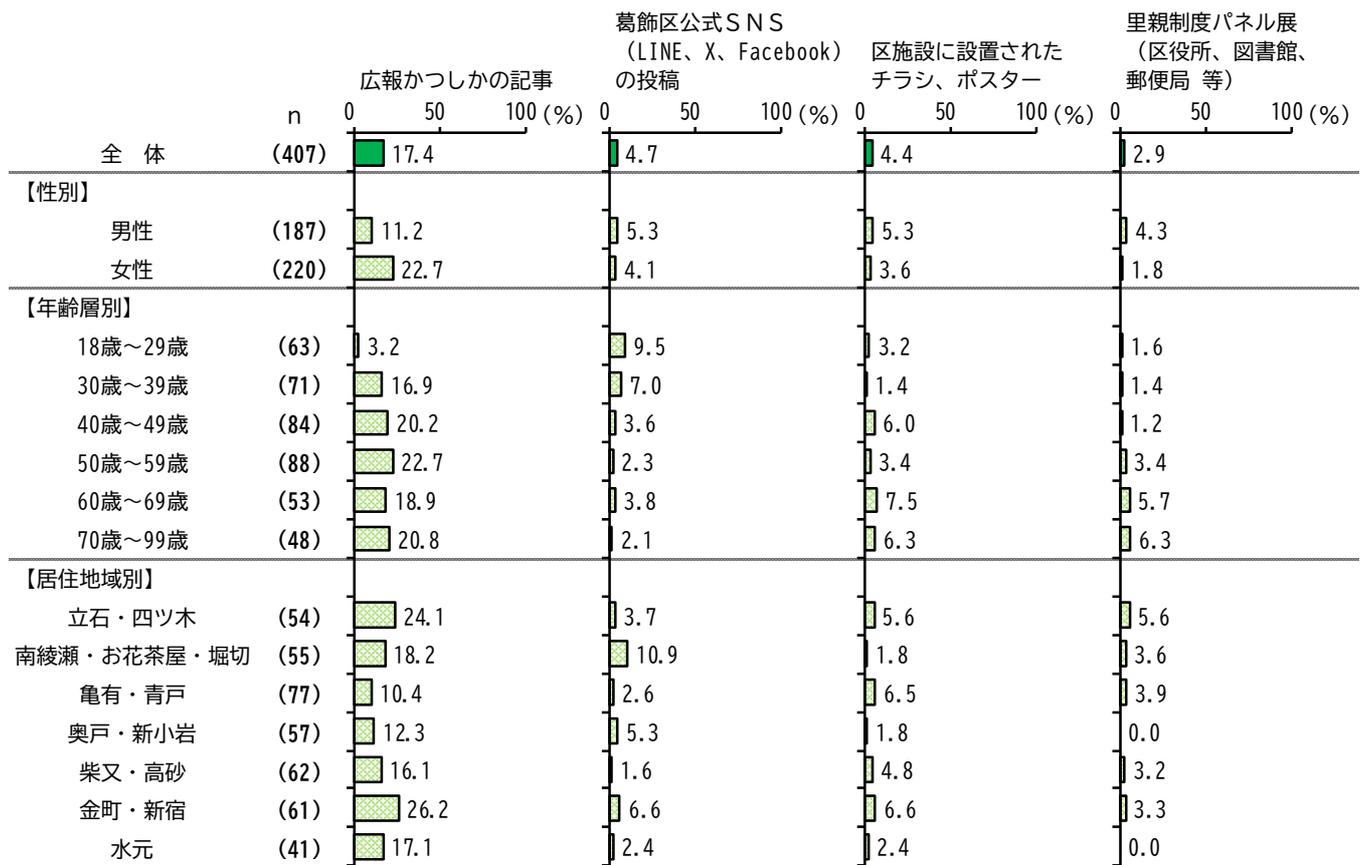
見たこと、聞いたことがある区の里親制度の広報活動【全体】

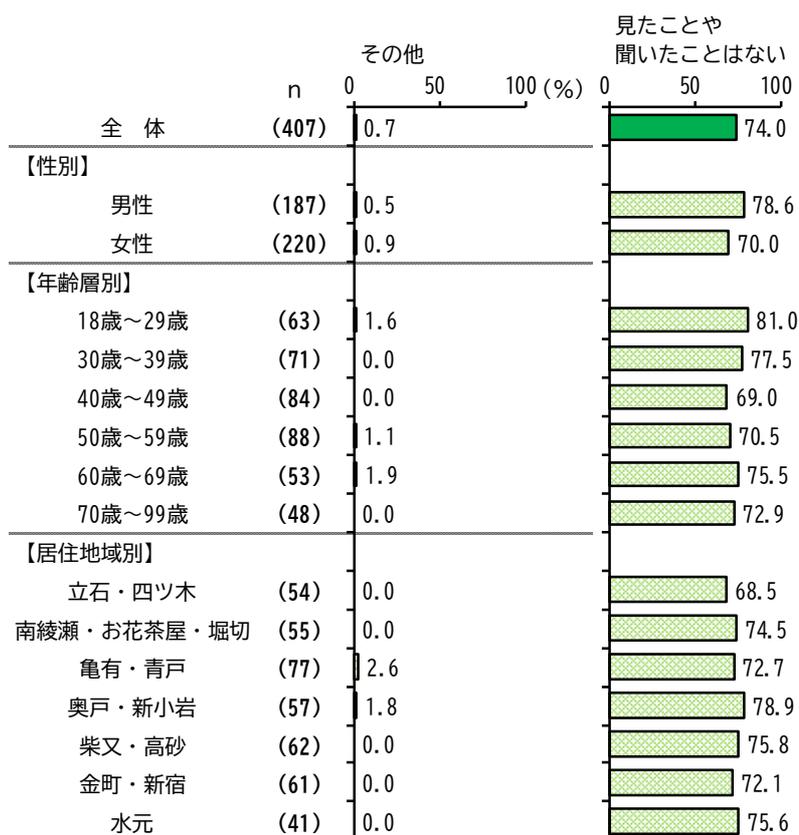
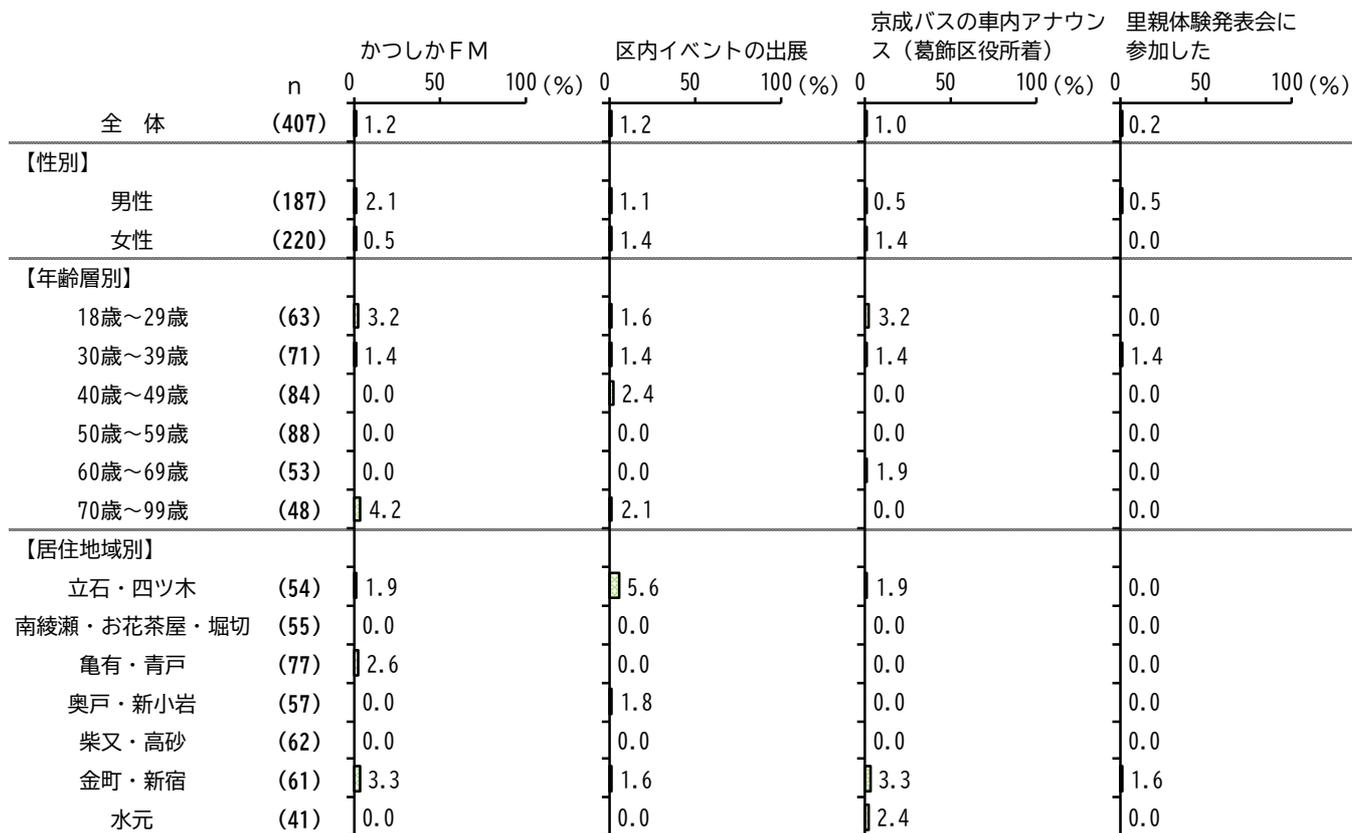


見たこと、聞いたことがある区の里親制度の広報活動は、「見たことや聞いたことはない」が74.0%となっている。一方、「広報かつしかの記事」が17.4%、「葛飾区公式SNS (LINE、X、Facebook) の投稿」が4.7%、「区施設に設置されたチラシ、ポスター」が4.4%となっている。

「その他」の内容としては、「広報はそれなりに見ていたがもし掲載されていたら目にとまっていなかった」「見たことがあるのかもしれないが、印象に残っていない」「テレビの特集があった」。

見たこと、聞いたことがある区の里親制度の広報活動【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別で見ると、「広報かつしかの記事」は【女性】が22.7%と、【男性】(11.2%)よりも11.5ポイント高くなっている。一方、「見たことや聞いたことはない」は【男性】が78.6%と、【女性】(70.0%)よりも8.6ポイント高くなっている。

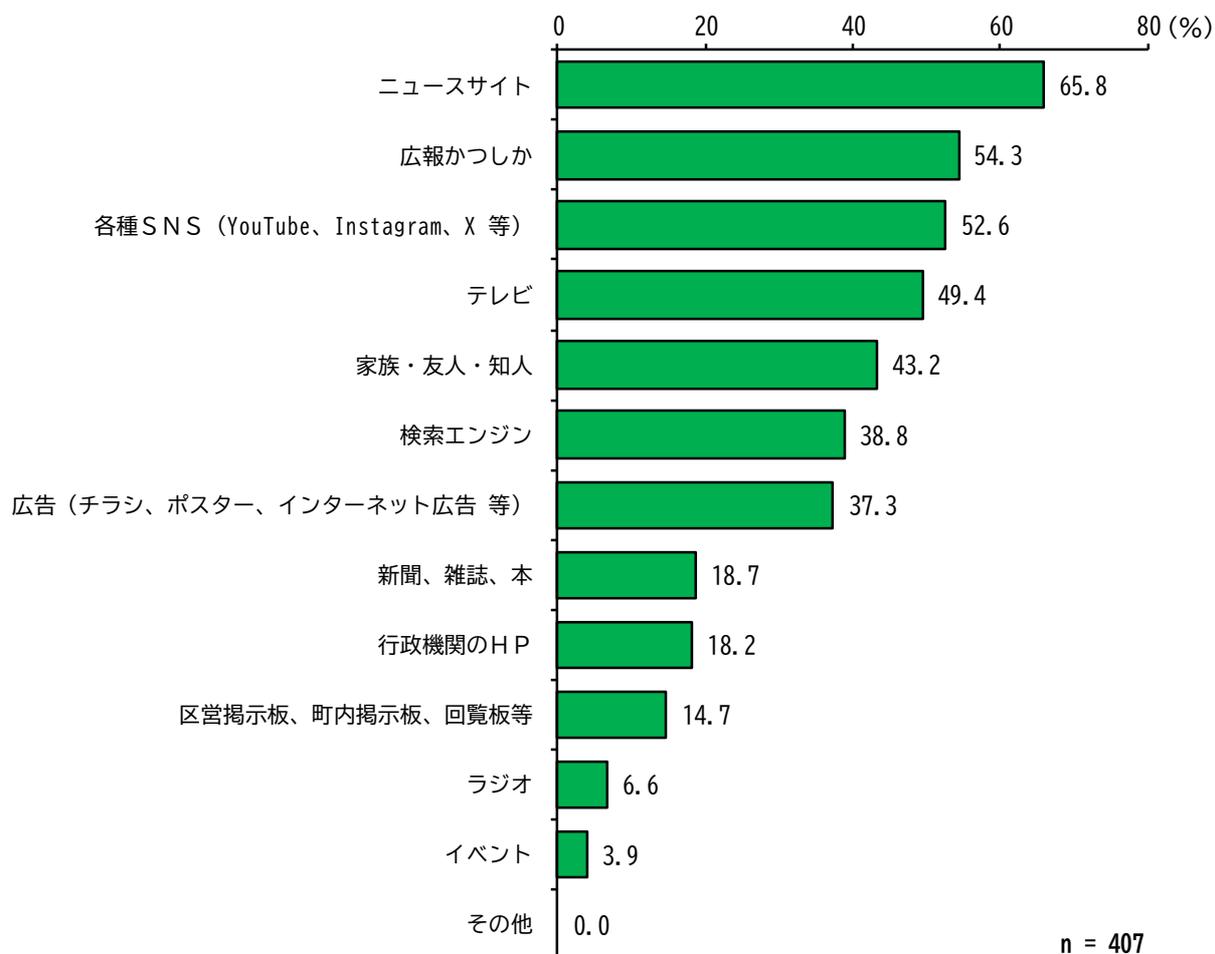
年齢層別で見ると、【18歳～29歳】は「広報かつしかの記事」が3.2%と、他の区分に比べ低く、「見たことや聞いたことはない」が81.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「広報かつしかの記事」は【金町・新宿】が26.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

(14) 必要な情報の収集媒体

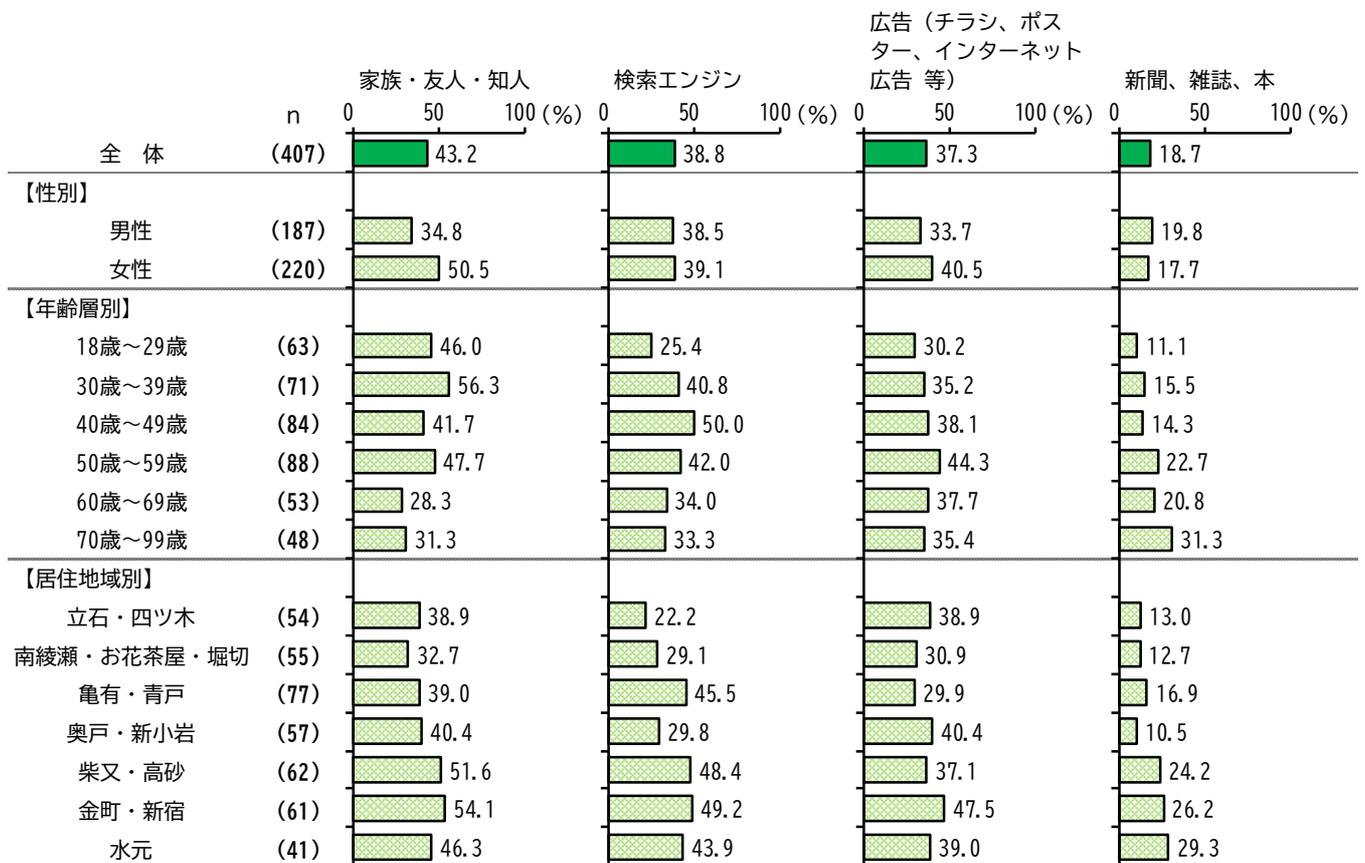
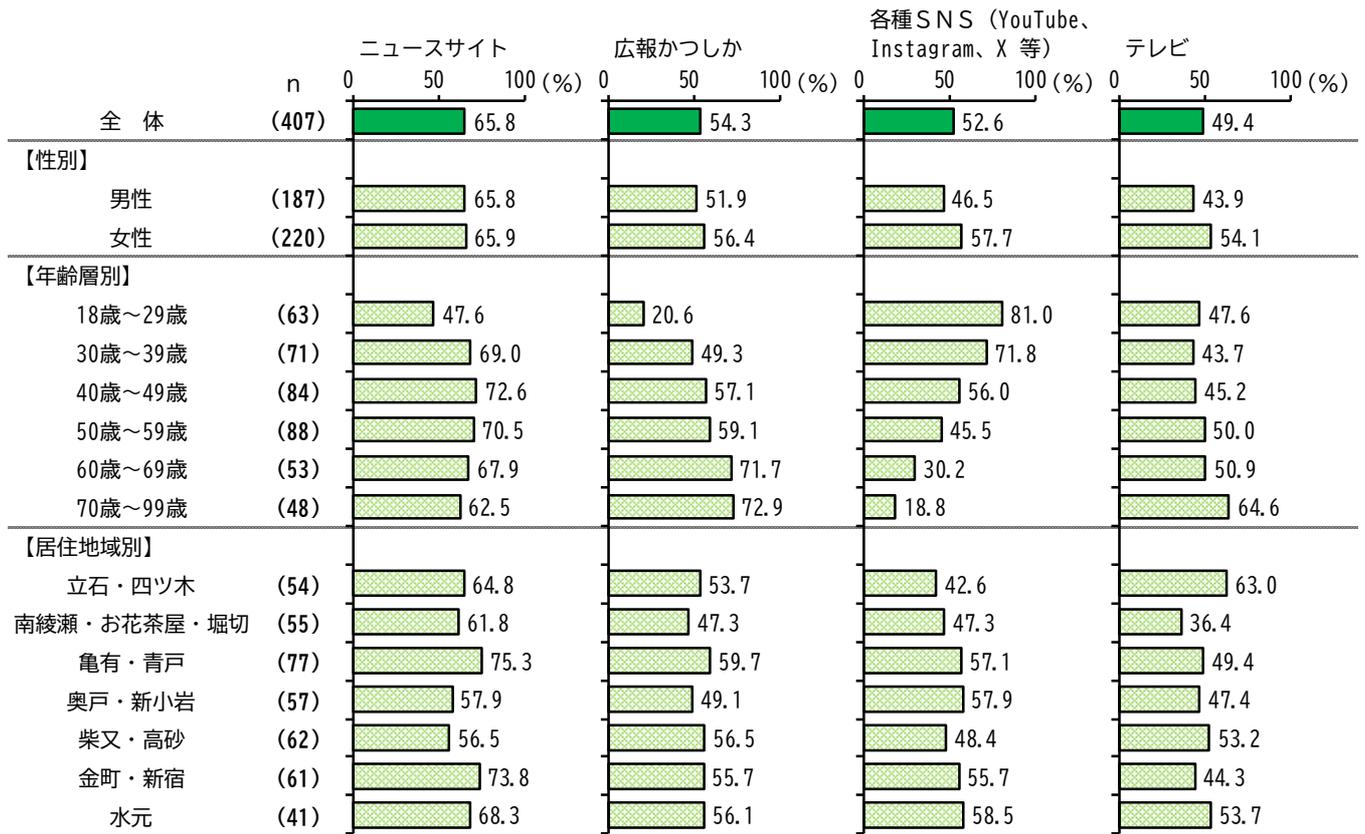
問 14. 普段、必要な情報（行政からの情報に限らない）はどのような媒体から収集していますか。（主なものを全て選択）

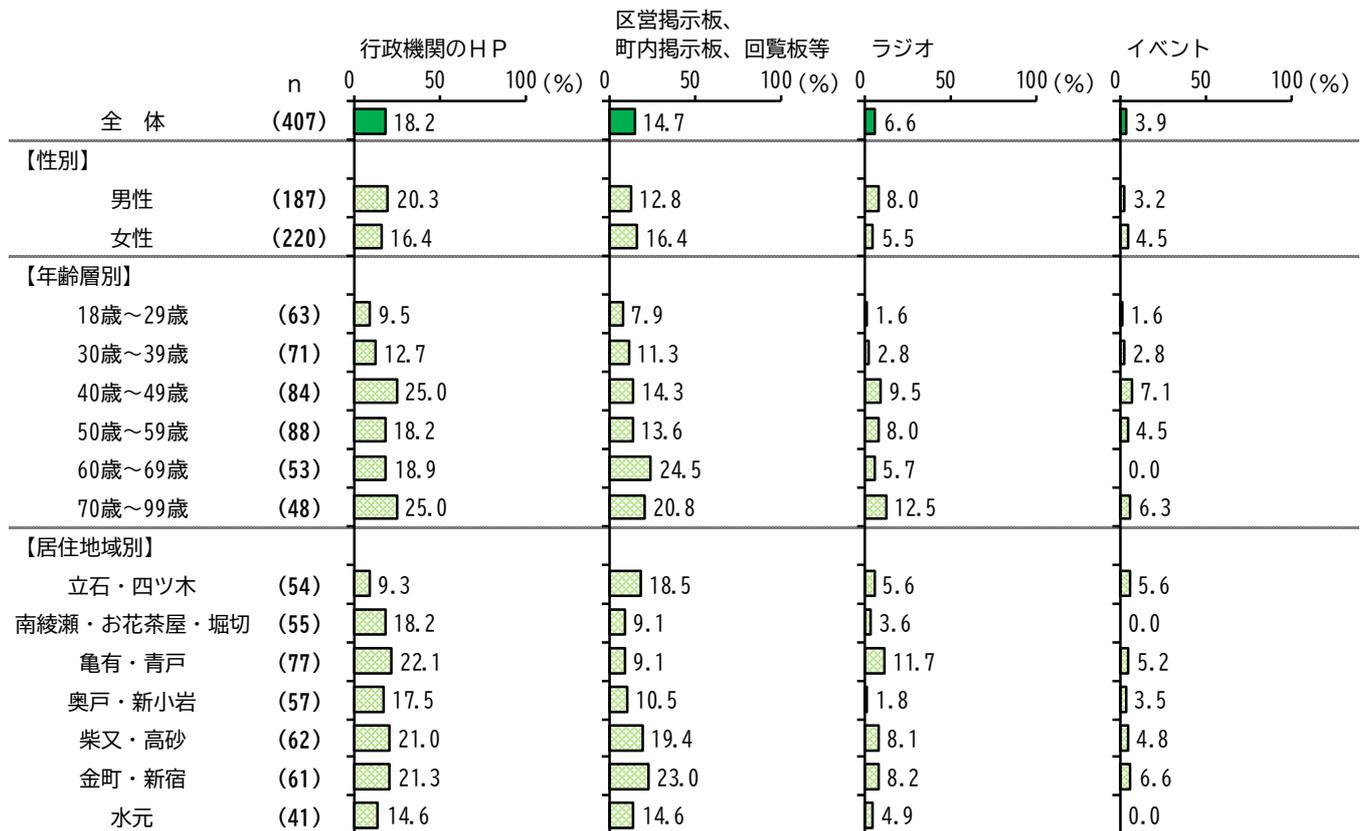
必要な情報の収集媒体【全体】



必要な情報の収集媒体は、「ニュースサイト」が 65.8%で最も高く、次いで「広報かつしか」が 54.3%、「各種SNS (YouTube、Instagram、X 等)」が 52.6%、「テレビ」が 49.4%、「家族・友人・知人」が 43.2%、「検索エンジン」が 38.8%、「広告 (チラシ、ポスター、インターネット広告 等)」が 37.3%と続いている。

必要な情報の収集媒体【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





※「その他」は回答者がいないため、割愛している

性別でみると、「家族・友人・知人」は【女性】が 50.5%と、【男性】(34.8%) よりも 15.7 ポイント、「各種 SNS (YouTube、Instagram、X 等)」は【女性】が 57.7%と、【男性】(46.5%) よりも 11.2 ポイント、「テレビ」は【女性】が 54.1%と、【男性】(43.9%) よりも 10.2 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「広報かつしか」は【18 歳~29 歳】が 20.6%と、他の区分に比べ低くなっている。「各種 SNS (YouTube、Instagram、X 等)」は【18 歳~29 歳】が 81.0%、【30 歳~39 歳】が 71.8%と、他の区分に比べ高く、【70 歳~99 歳】が 18.8%、【60 歳~69 歳】が 30.2%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「検索エンジン」は【立石・四ツ木】が 22.2%と、他の区分に比べ低くなっている。「テレビ」は【立石・四ツ木】が 63.0%と、他の区分に比べ高く、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 36.4%と、他の区分に比べ低くなっている。

(15) 里親制度についての自由意見

問 15. 里親制度について、ご意見がありましたらご記入ください。(自由記述)

【主な意見】

- 日本国籍でないお子さんへの対応も考慮する必要があるかと思います。
- すごく大切な施策だと思います。しかし、以前調べたところ受付～審査～了承までの道のりがすごく長く感じました。
- 里親は最後まで責任を持ってできる人がするべきである。そのためには国や地方公共団体が全面的に支援する体制を構築する必要があると思う。口で言うのは簡単だが相当難しい問題です。
- 結婚目的のマッチングのように、里親制度も子供側の要望も聞き入れられるのでしょうか？ 親側も子供側も、より理想的な組み合わせで縁があったらよいなと思いました。
- 児童養護施設内の見学会など、交流のための情報が開かれていると良いかもしれないです。
- まずは里親制度の認識を高める事かな、そして里親になった方々への何らかの敬意の形が必要。そして里親になれる方々への研修など指導の制度が必要だと思う。里親制度が耳慣れた良識・常識の範疇にするには準備や広報にかなりの時間が必要だと感ずる。
- 里親をされている方は、本当に素晴らしい方だと思います。プライバシーの問題などもあると思いますが、里親をされている方のきっかけや体験談などを載せるなどしたら、検討されている方の参考になるし、検討するきっかけにもなると思います。
- 海外で養子は一般的なイメージだけど、日本には馴染みがなさすぎる気がする。子供が欲しくても、持てなかった人がその制度をもっと積極的に使えたら、双方にとってよさそう。
- 「里親」という名称を馴染みやすいものに変えた方がいいと思う。
- 望んでもなかなかお子さんに恵まれない方もいらっしゃるのでは、そういう方で里親を望まれる方と子どもたちがうまくマッチングして、みんなが幸せに暮らせる制度をもっと整い、周知されたらいいなと思います。
- 経済的に余裕があって受け入れする側のパートナー双方とも同意するのは中々難しいと思っている。
- 現状、何の問題や課題があるか分からない。里親が圧倒的に足りていないのか、施設が足りていないかなど。
- 命を預かり育てる以上、善意だけでは難しい面もあると思います。子どもの安全が守られ、里親側への支援体制も整っている事が大事だと思います。
- 関心はあるが実子の子育てを経験して血の繋がりのない子供を育てるのは、いろいろな意味で難しさを感じる。
- 当たり前のように里親がいて、そこで育てられる子が偏見・差別を受けず、虐待やさみしい思いを抱かないような社会であってほしい。
- 相談窓口を増やし、気軽に立ち寄れる場所があると、関心を持つ人達も増えていくと思う。
- 理解を深めることは必要だけど、支援や補助金目的で責任能力の無い人が里親になる可能性がある為、生活保護同様に受理には気をつけて欲しい。
- 子供を育てる事の難しさを考えると、なかなか簡単には、受け入れられないと思ってしまいます。

第2章 調査結果（スポーツについて）

テーマ2 スポーツについて

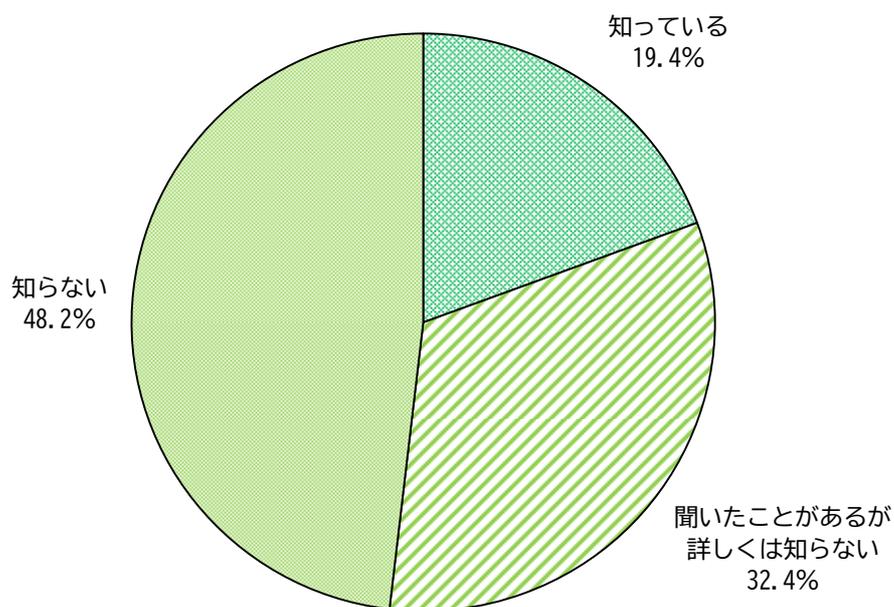
葛飾区では、障害者スポーツを推進しており、令和6年度から「葛飾区障害者スポーツ普及検討委員会」を設置し、障害者スポーツ普及に必要な事項について検討を行っています。

ユニバーサルスポーツ（※障害の有無や年齢、性別、スポーツの得意・不得意にかかわらず、誰もが楽しめるスポーツ）の認知度・関心度を高め、障害者スポーツの普及を進めるため、区民の皆様のご意見を伺います。

(16) ユニバーサルスポーツの認知度

問 16. 障害の有無や年齢、性別、スポーツの得意・不得意にかかわらず、誰もが楽しめるスポーツであるユニバーサルスポーツを知っていますか。(1つ選択)

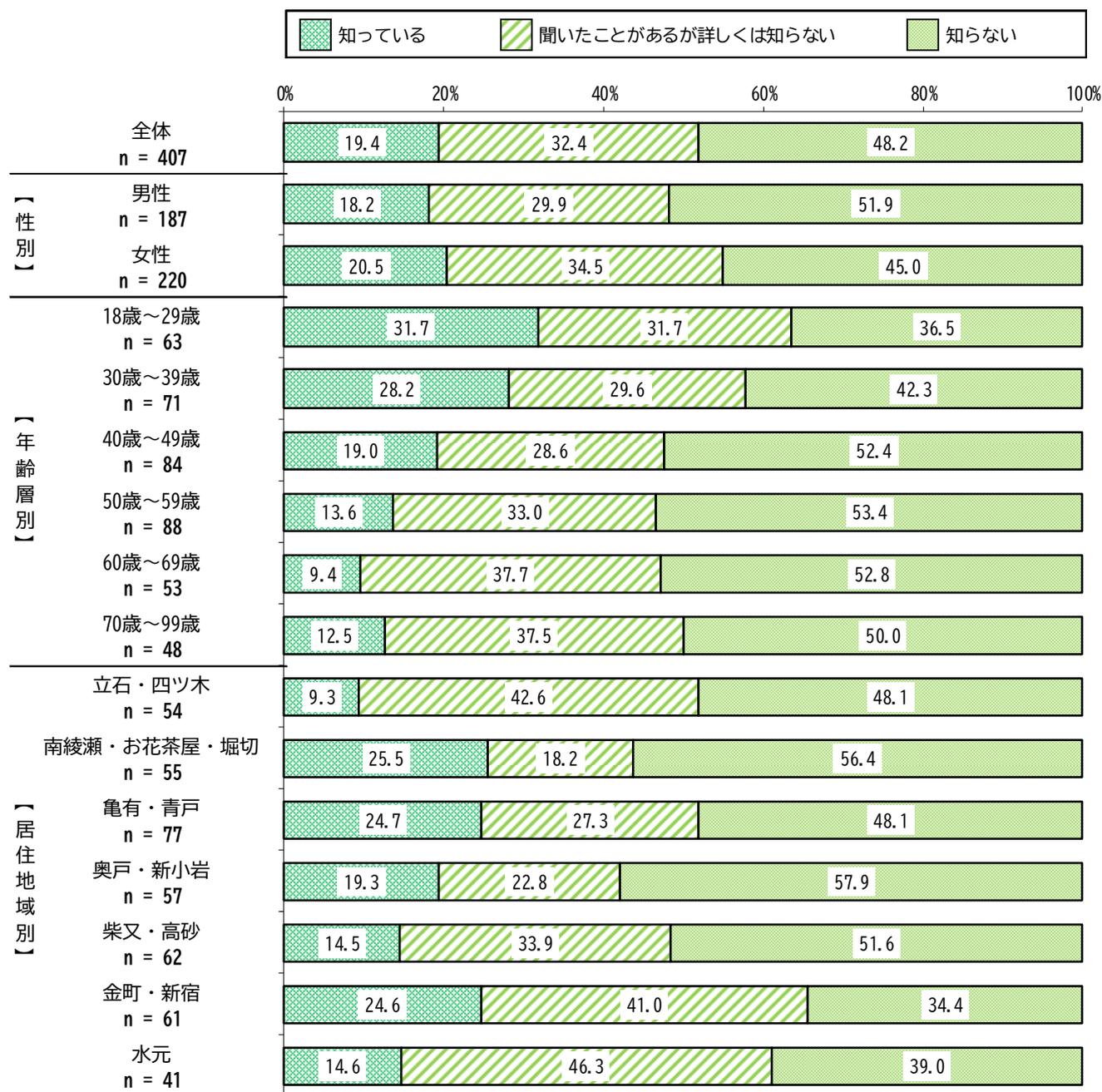
ユニバーサルスポーツの認知度【全体】



n = 407

ユニバーサルスポーツの認知度は、「知っている」が 19.4%、「聞いたことがあるが詳しくは知らない」が 32.4%となっている。一方、「知らない」が 48.2%となっている。

ユニバーサルスポーツの認知度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「知らない」は【男性】が51.9%と、【女性】(45.0%)よりも6.9ポイント高くなっている。

年齢層別で見ると、「知っている」は【18歳～29歳】が31.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

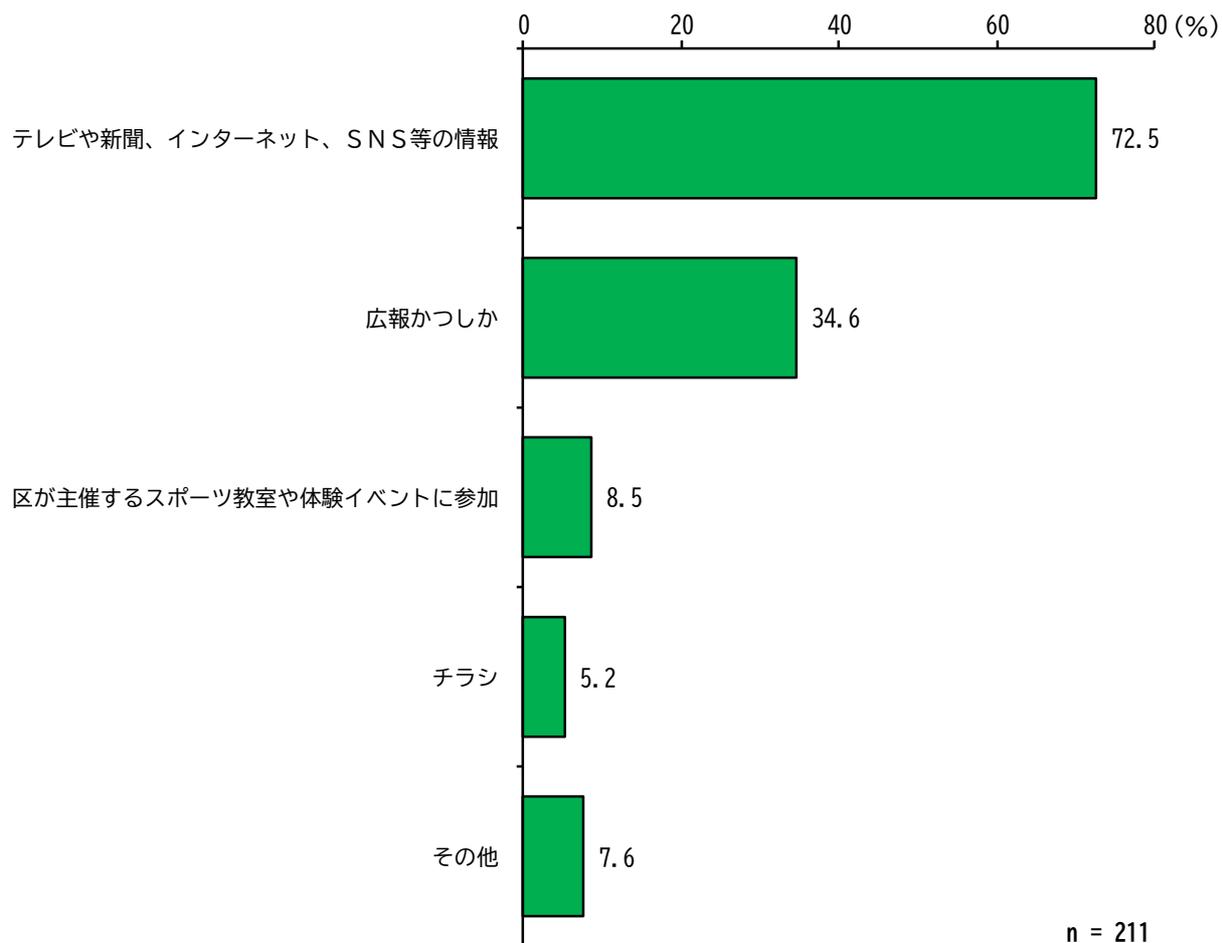
居住地域別で見ると、「聞いたことがあるが詳しくは知らない」は【水元】が46.3%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「知っている」は【立石・四ツ木】が9.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

(17) ユニバーサルスポーツの認知経路

問 17. 問 16 で「知っている」「聞いたことがあるが詳しくは知らない」と答えた方に伺います。

ユニバーサルスポーツについて、どちらで知りましたか。(複数選択可)

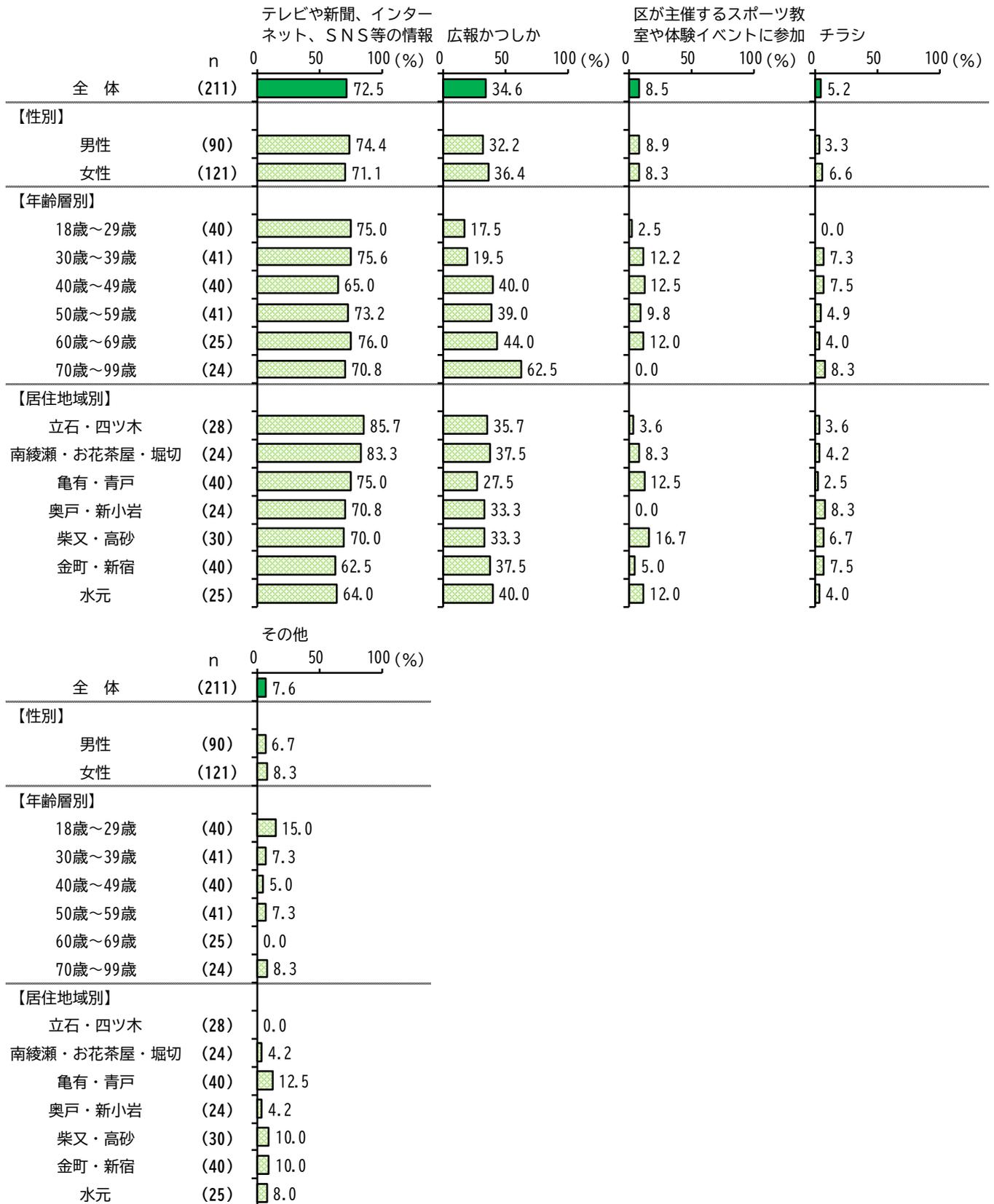
ユニバーサルスポーツの認知経路【全体】



ユニバーサルスポーツの認知経路は、「テレビや新聞、インターネット、SNS等の情報」が72.5%で最も高くなっている。以下「広報かつしか」が34.6%となっている。

「その他」の内容としては、「障害者や障害者スポーツを行っている友人、知人から」「職場での交流学習で」「町内掲示板ポスター」「大学のスポーツ科学の授業」「ラジオ かつしかFM」などがあつた。

ユニバーサルスポーツの認知経路【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別で見ると、「広報かつしか」は【70歳～99歳】が62.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

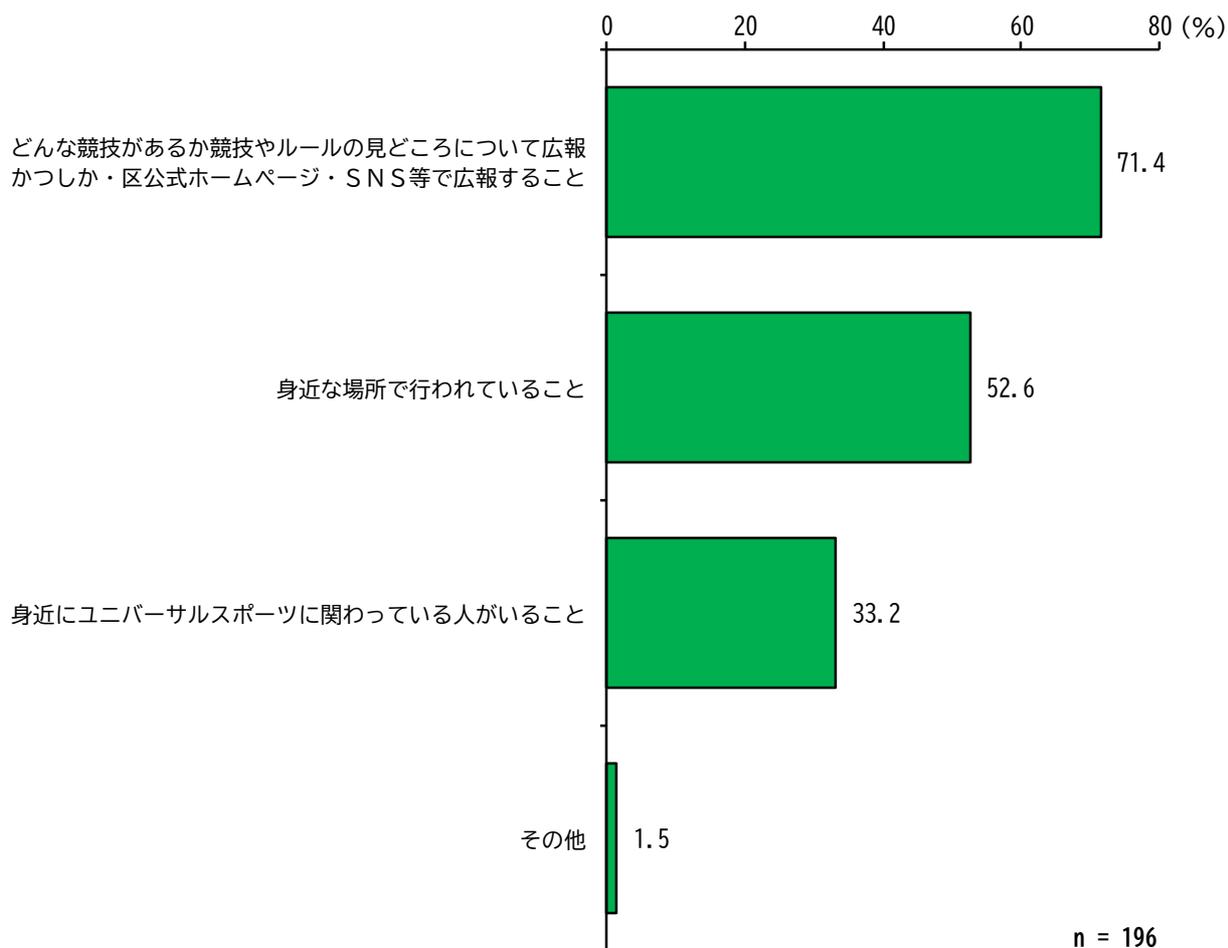
居住地域別で見ると、「テレビや新聞、インターネット、SNS等の情報」は【立石・四ツ木】が85.7%、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が83.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(18) ユニバーサルスポーツの認知のために必要なこと

問 18. 問 16 で「知らない」と答えた方に伺います。

ユニバーサルスポーツについて広く区民に興味をもってもらうためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数選択可)

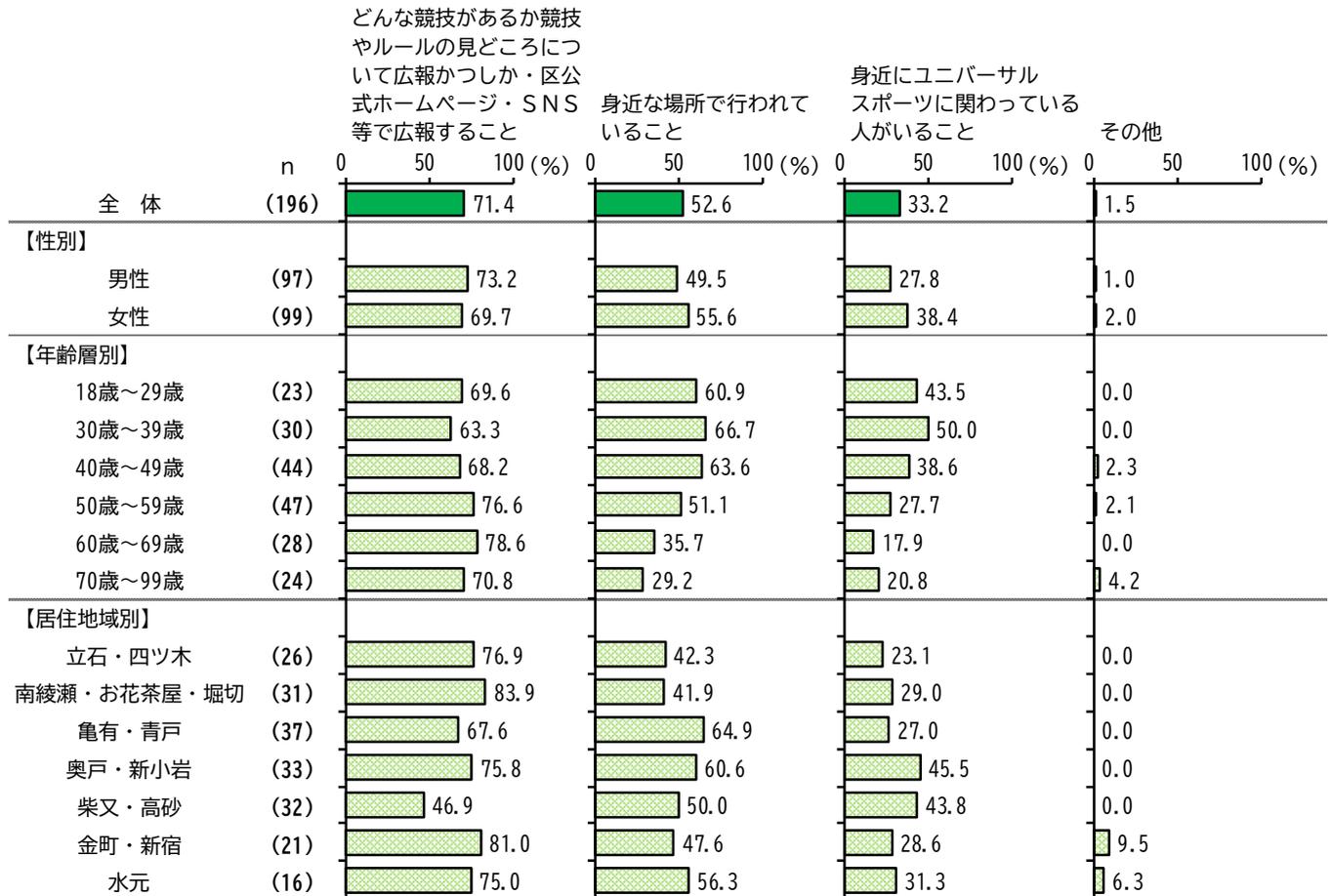
ユニバーサルスポーツの認知のために必要なこと【全体】



ユニバーサルスポーツの認知のために必要なことは、「どんな競技があるか競技やルールの見どころについて広報かつしか・区公式ホームページ・SNS等で広報すること」が71.4%で最も高く、次いで「身近な場所で行われていること」が52.6%、「身近にユニバーサルスポーツに関わっている人がいること」が33.2%となっている。

「その他」の内容としては、「障害者などができるスポーツがあることは知っているが、それをユニバーサルスポーツと呼ぶことを知らない」「私自身に障害はなく、走ったりマラソンしたりするのはできたが、球技などは苦手で全く関心がない。いわば球技障害者である。まして障害者がすることなど関心がない」「興味無し」があった。

ユニバーサルスポーツの認知のために必要なこと【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「身近にユニバーサルスポーツに関わっている人がいること」は【女性】が38.4%と、【男性】(27.8%)よりも10.6ポイント高くなっている。

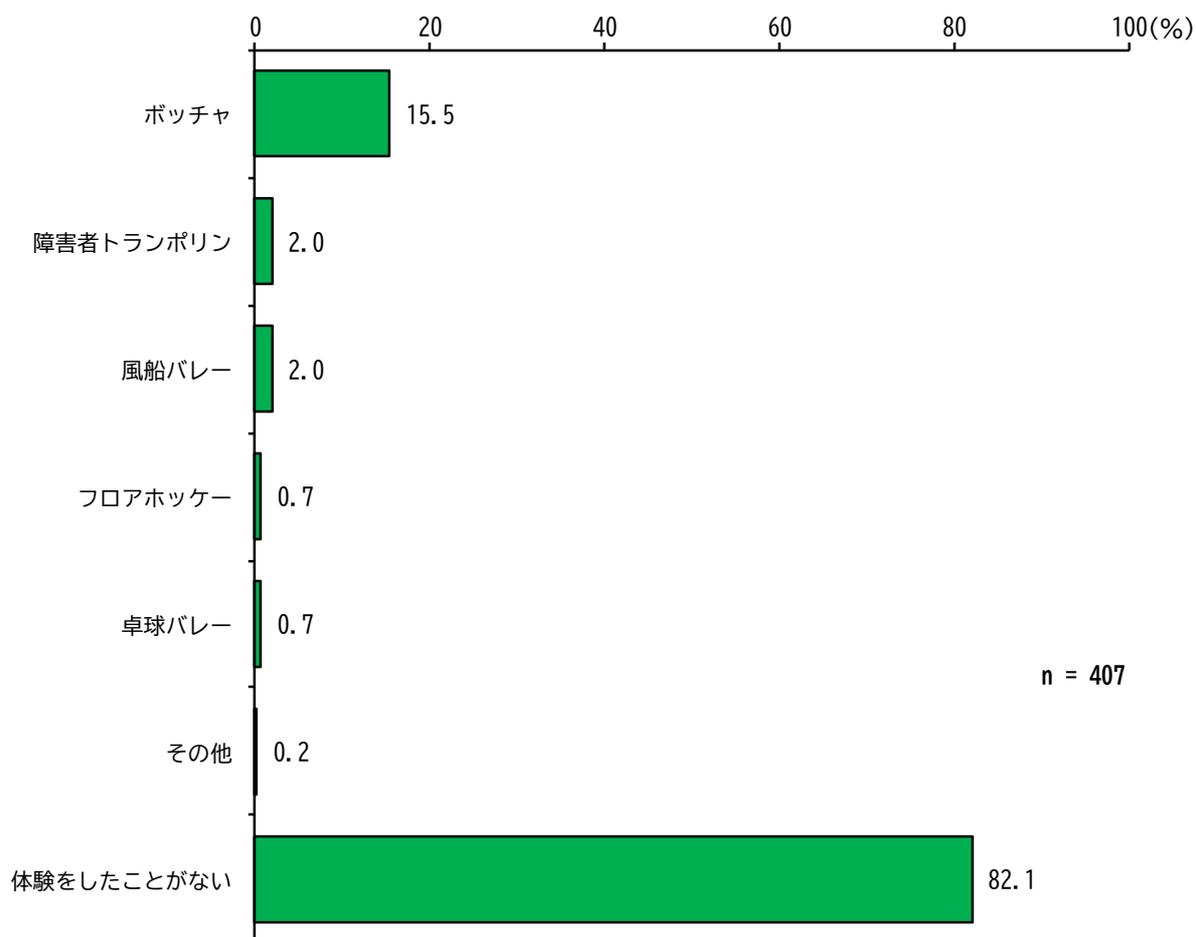
年齢層別でみると、「身近な場所で行われていること」は【70歳～99歳】が29.2%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「どんな競技があるか競技やルールの見どころについて広報かつしか・区公式ホームページ・SNS等で広報すること」は【柴又・高砂】が46.9%と、他の区分に比べ低くなっている。

(19) 体験したことがあるユニバーサルスポーツ

問 19. 葛飾区で実施している教室・イベント等で体験をしたことがあるユニバーサルスポーツを教えてください。(複数選択可)

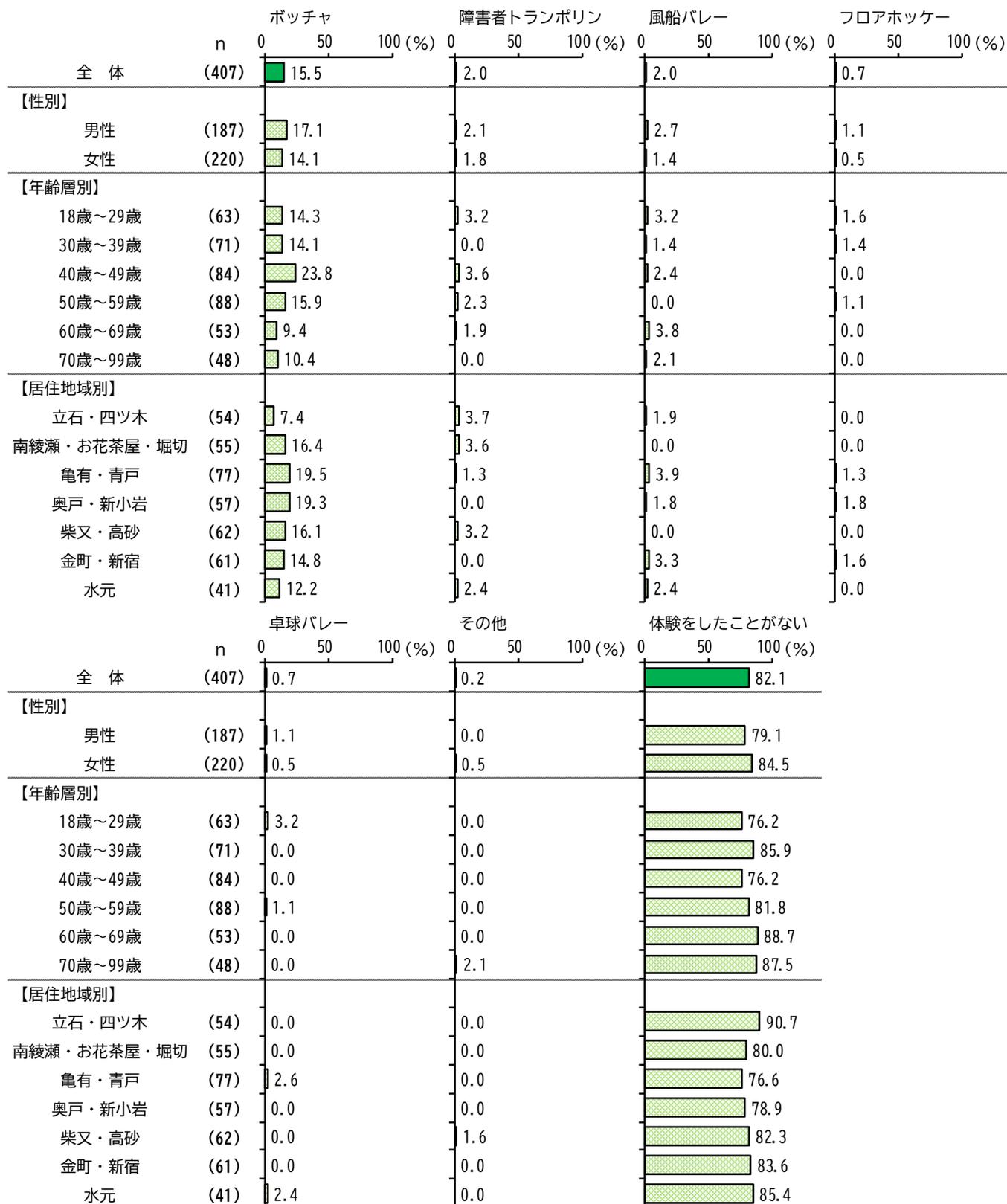
体験したことがあるユニバーサルスポーツ【全体】



体験したことがあるユニバーサルスポーツは、「体験をしたことがない」が82.1%となっている。一方、「ボッチャ」が15.5%となっている。

「その他」の内容としては、「名前は分からないが、おもりのついたロープを投げて数メートル離れた紐に巻き付ける」があった。

体験したことがあるユニバーサルスポーツ【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「体験をしたことがない」は【女性】が84.5%と、【男性】(79.1%)よりも5.4ポイント高くなっている。

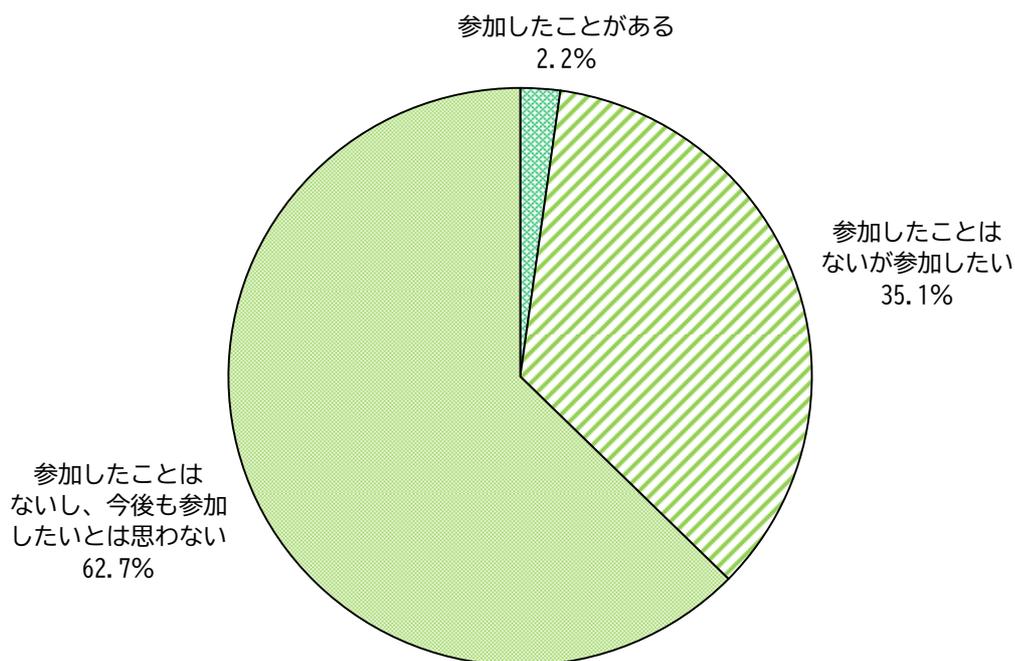
年齢層別で見ると、「ボッチャ」は【40歳～49歳】が23.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「体験をしたことがない」は【立石・四ツ木】が90.7%と、他の区分に比べ高くなっている。

(20) 教室やイベントへの参加の有無

問 20. 区ではユニバーサルスポーツの教室やイベントを多数開催しています。区が開催している教室やイベントに参加したことはありますか。(1つ選択)

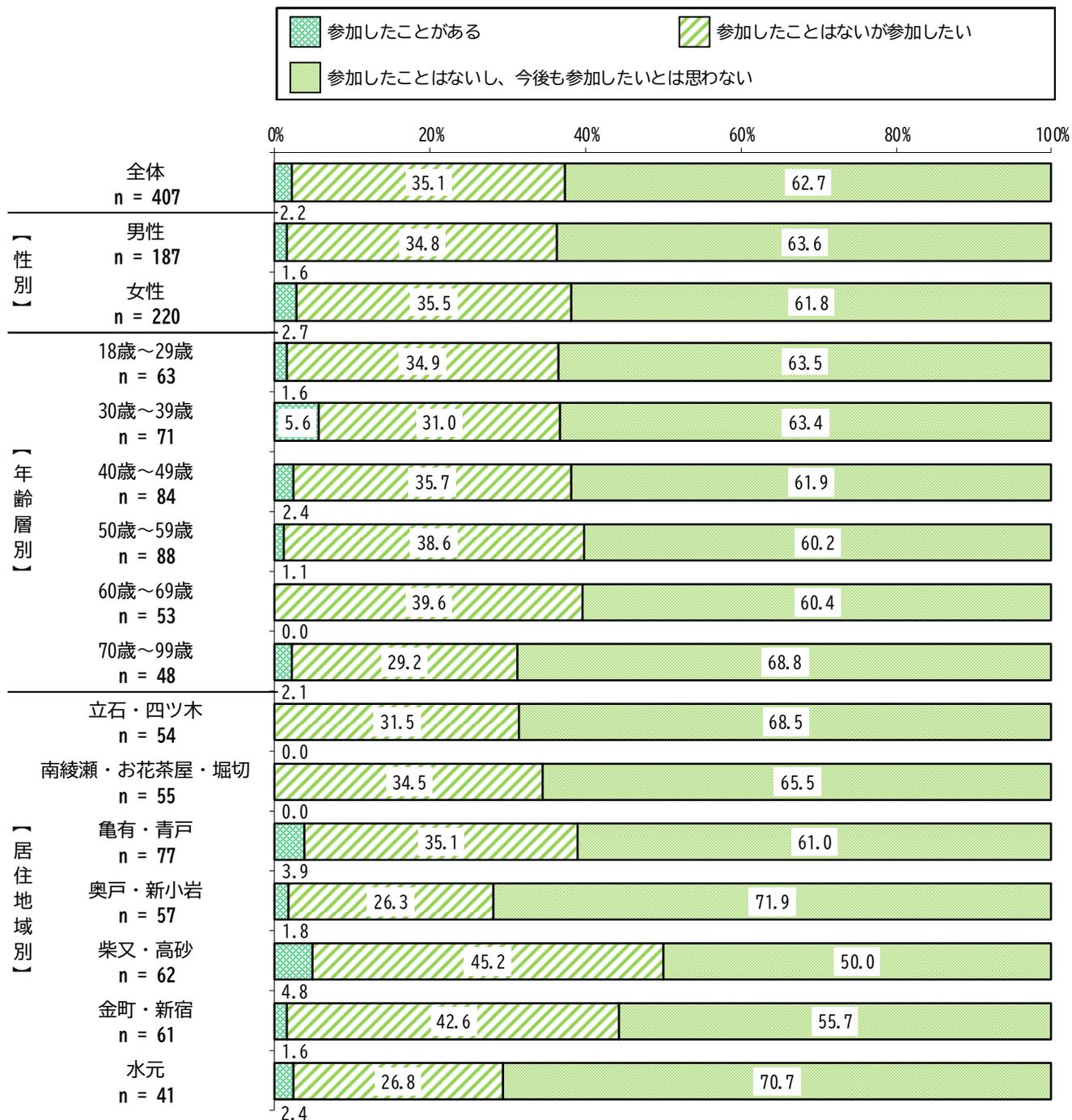
教室やイベントへの参加の有無【全体】



n = 407

教室やイベントへの参加の有無は、「参加したことがある」が2.2%、「参加したことはないが参加したい」が35.1%となっている。一方、「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」が62.7%となっている。

教室やイベントへの参加の有無【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



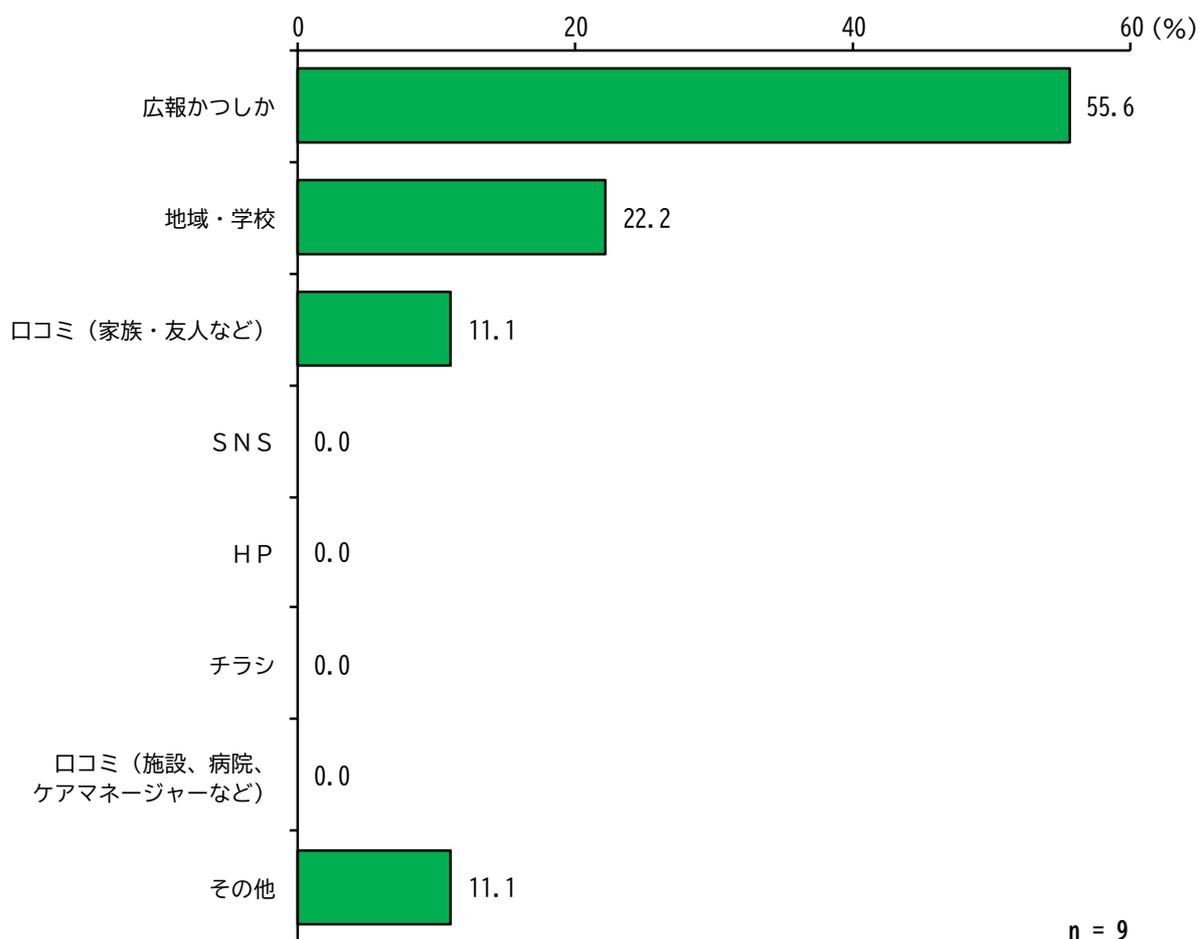
性別・年齢層別による大きな差はみられない。

居住地域別でみると、「参加したことはないが参加したい」は【柴又・高砂】が 45.2%、「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」は【奥戸・新小岩】が 71.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

(21) 教室やイベントの認知経路

問 21. 問 20 で「参加したことがある」と答えた方に伺います。
教室やイベントについて、どちらで知りましたか。(複数選択可)

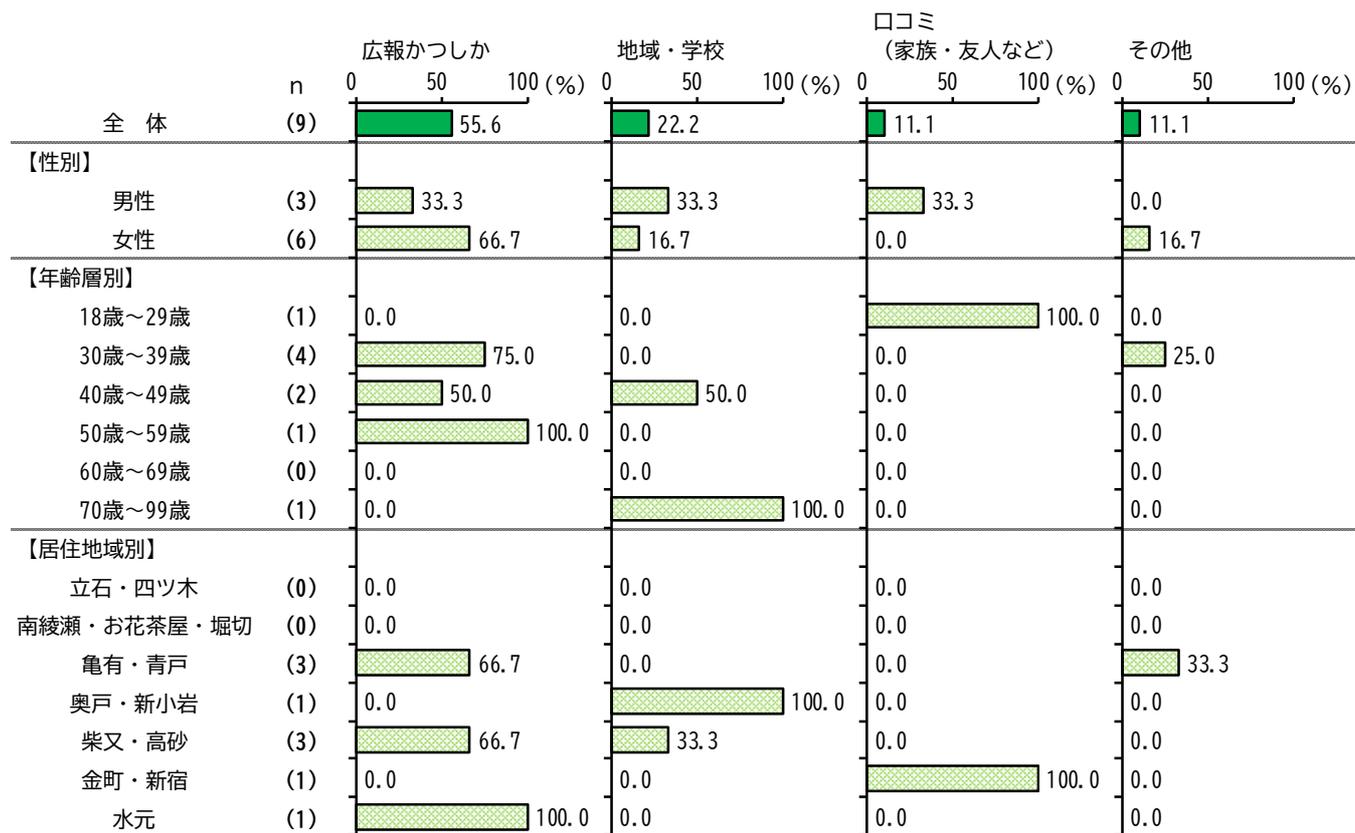
教室やイベントの認知経路【全体】



教室やイベントの認知経路は、「広報かつしか」が 55.6%、「地域・学校」が 22.2%となっている。

「その他」の内容としては、「こやのエンジョイクラブに加入しているので、そのイベントで知った」があった。

教室やイベントの認知経路【全体、性別、年齢層別、居住地域別】

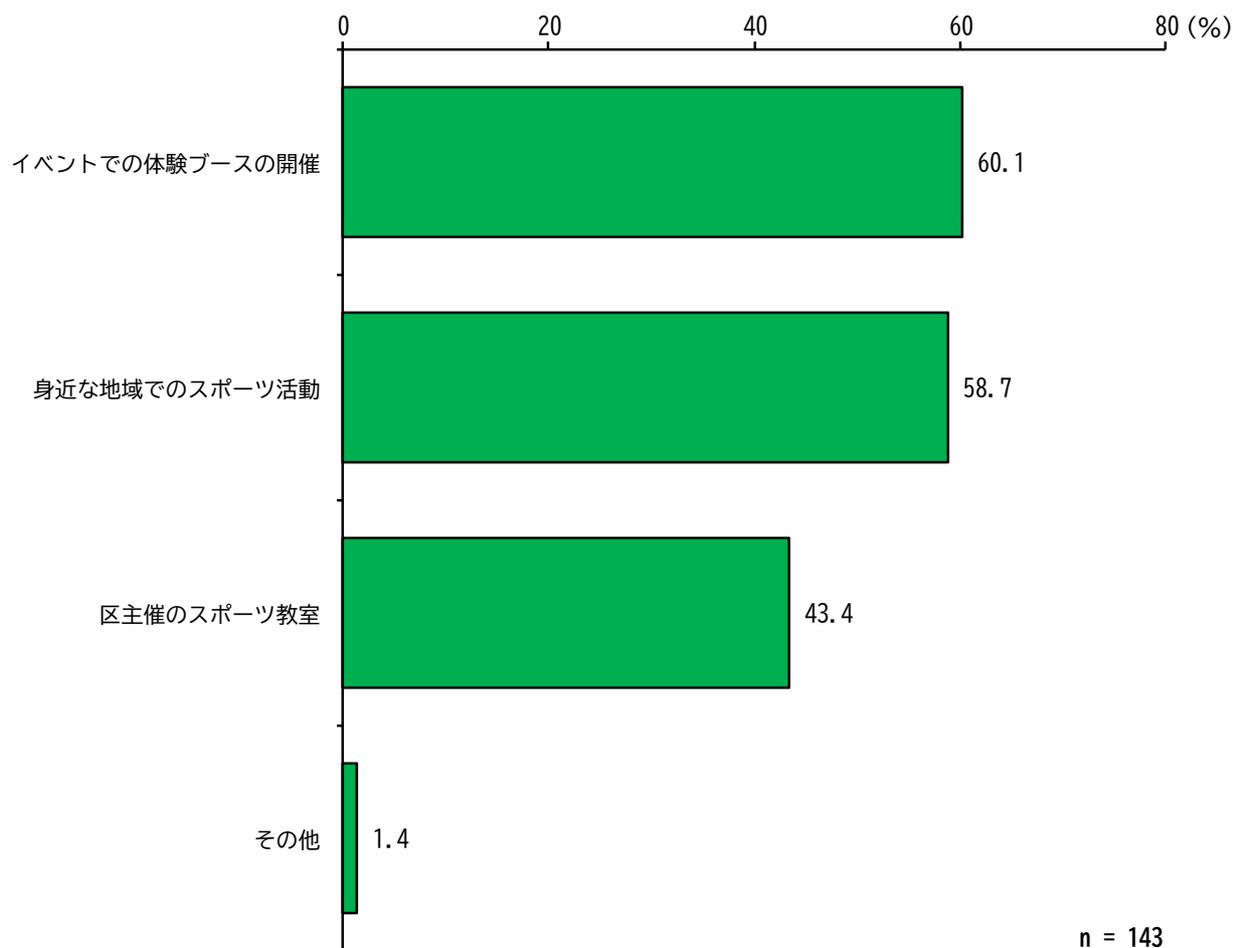


※「SNS」「HP」「チラシ」「口コミ（施設、病院、ケアマネージャーなど）」は回答者がいないため、割愛している

(22) 参加しやすい教室やイベント

問 22. 問 20 で「参加したことはないが参加したい」と答えた方に伺います。
教室やイベントについて、どのようにすれば参加しやすいと思いますか。
(複数選択可)

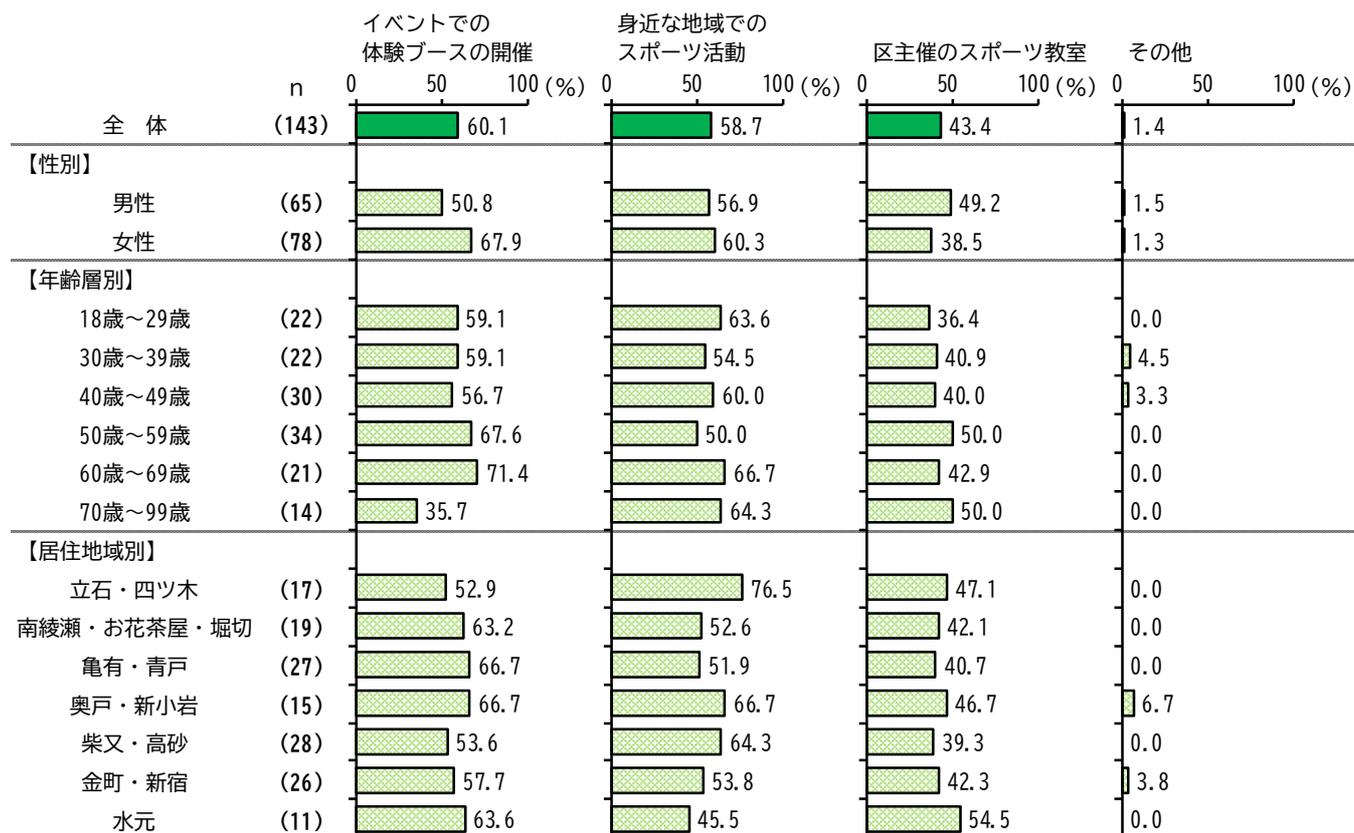
参加しやすい教室やイベント【全体】



参加しやすい教室やイベントは、「イベントでの体験ブースの開催」が 60.1%で最も高く、次いで「身近な地域でのスポーツ活動」が 58.7%、「区主催のスポーツ教室」が 43.4%となっている。

「その他」の内容としては、「自分の子供と一緒に参加したい」「小学校でのイベント」があった。

参加しやすい教室やイベント【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「イベントでの体験ブースの開催」は【女性】が67.9%と、【男性】(50.8%)よりも17.1ポイント高くなっている。一方、「区主催のスポーツ教室」は【男性】が49.2%と、【女性】(38.5%)よりも10.7ポイント高くなっている。

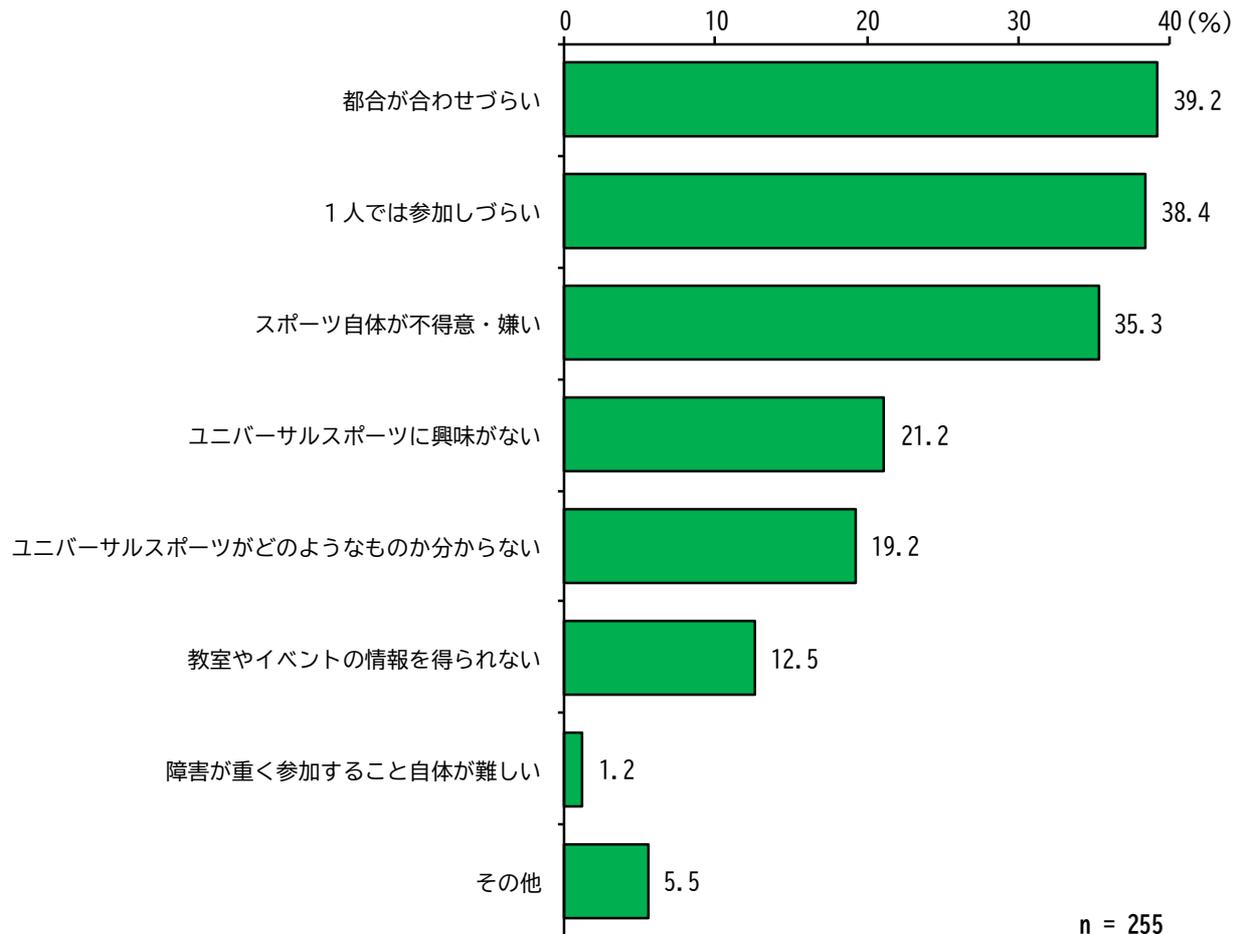
年齢層別でみると、「イベントでの体験ブースの開催」は【70歳～99歳】が35.7%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「身近な地域でのスポーツ活動」は【立石・四ツ木】が76.5%と、他の区分に比べ高くなっている。

(23) 参加したいと思わない理由

問 23. 問 20 で「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」と答えた方に伺います。
そのように思った理由を教えてください。(複数選択可)

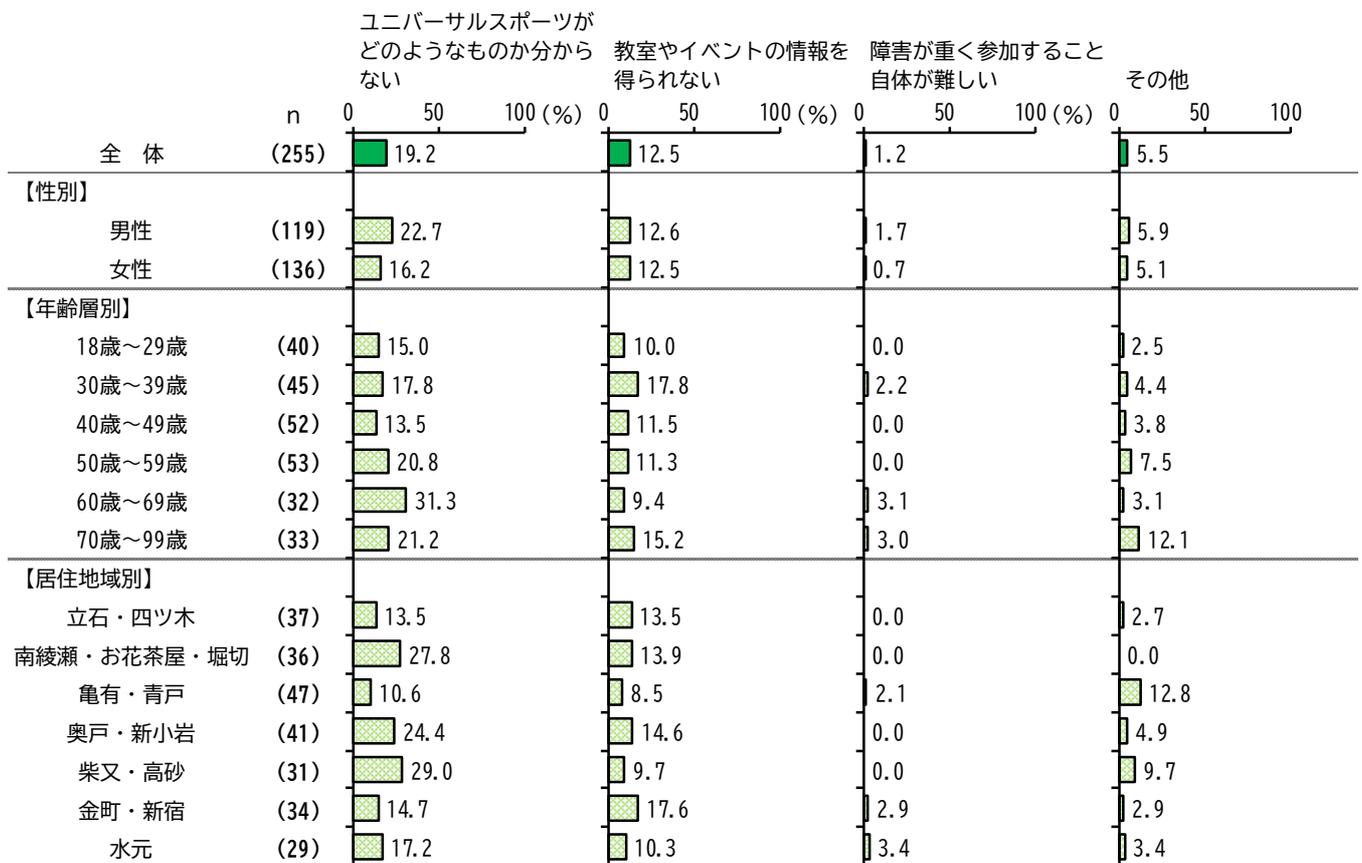
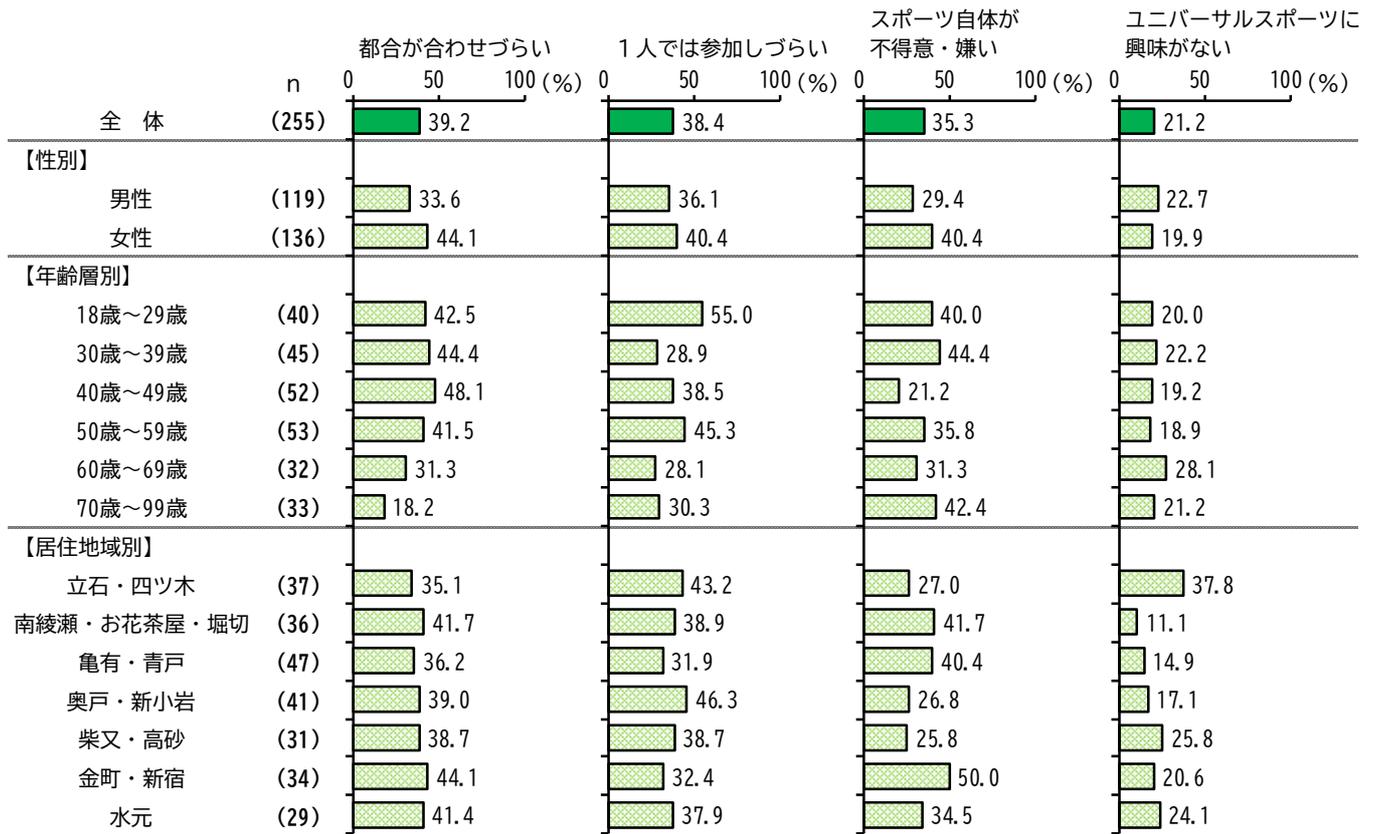
参加したいと思わない理由【全体】



参加したいと思わない理由は、「都合が合わせづらい」が 39.2%で最も高く、次いで「1人では参加しづらい」が 38.4%、「スポーツ自体が不得意・嫌い」が 35.3%、「ユニバーサルスポーツに興味がない」が 21.2%、「ユニバーサルスポーツがどのようなものか分からない」が 19.2%となっている。

「その他」の内容としては、「激しい動きを伴うスポーツが好きのため」「高齢者のため」「コミュニティに入っていくのが面倒」「病気」「開催場所に行きづらい」などがあつた。

参加したいと思わない理由【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「スポーツ自体が不得意・嫌い」は【女性】が40.4%と、【男性】(29.4%)よりも11.0ポイント、「都合が合わせづらい」は【女性】が44.1%と、【男性】(33.6%)よりも10.5ポイント高くなっている。

年齢層別で見ると、「1人では参加しづらい」は【18歳～29歳】が55.0%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「都合が合わせづらい」は【70歳～99歳】が18.2%と、他の区分に比べ低くなっている。

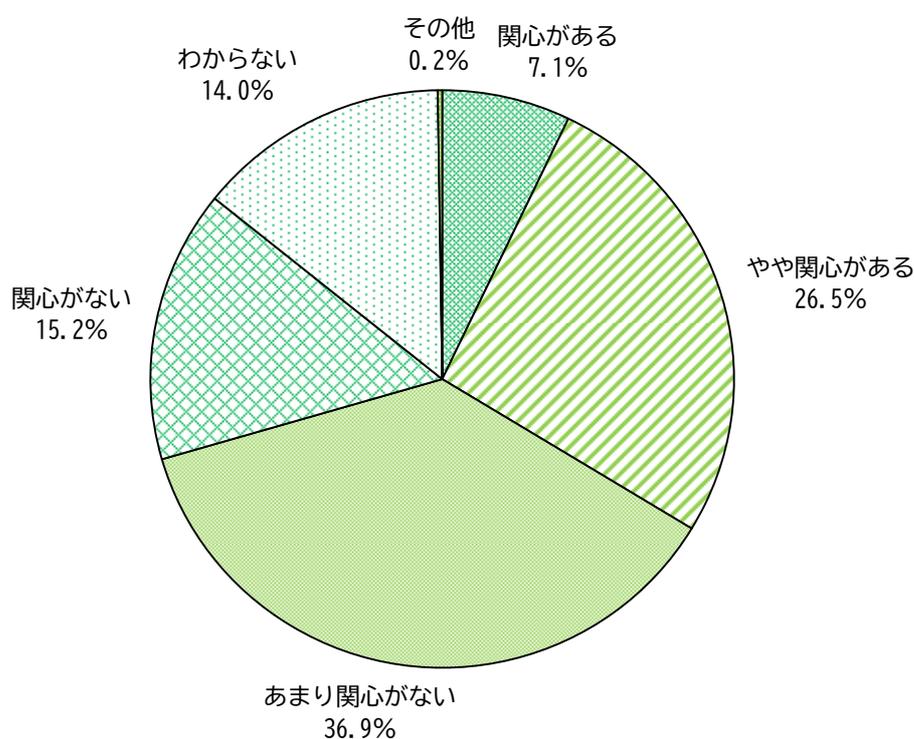
居住地域別で見ると、「ユニバーサルスポーツに興味がない」は【立石・四ツ木】が37.8%、「スポーツ自体が不得意・嫌い」は【金町・新宿】が50.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

(24) 障害者スポーツの関心度

問 24. あなたは障害者スポーツに関心がありますか。(1つ選択)

※ここでの「障害者スポーツ」とは、年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツに加えて、障害の種類や程度に応じてルールや用具を工夫することで、障害のある方のために考案されたスポーツの概念も含むものです。

障害者スポーツの関心度【全体】

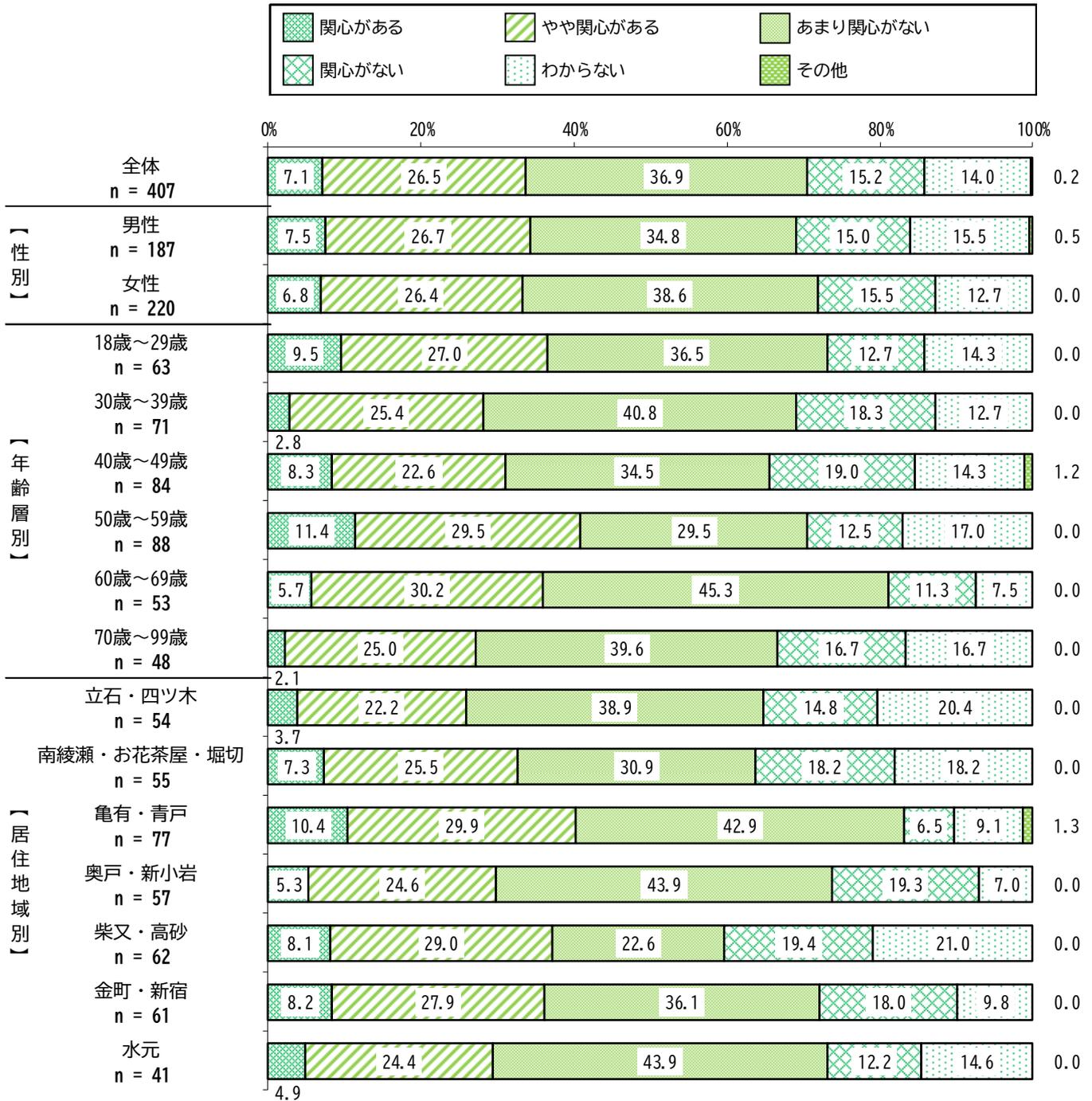


n = 407

障害者スポーツの関心度は、「興味がある」(7.1%)と「やや興味がある」(26.5%)を合わせた『関心あり』が33.6%、「関心がない」(15.2%)と「あまり興味がない」(36.9%)を合わせた『関心なし』が52.1%となっている。

「その他」の内容としては、「障害者の為の施策としては興味がある」があった。

障害者スポーツの関心度【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、『関心なし』は【女性】が54.1%と、【男性】(49.8%)よりも4.3ポイント高くなっている。

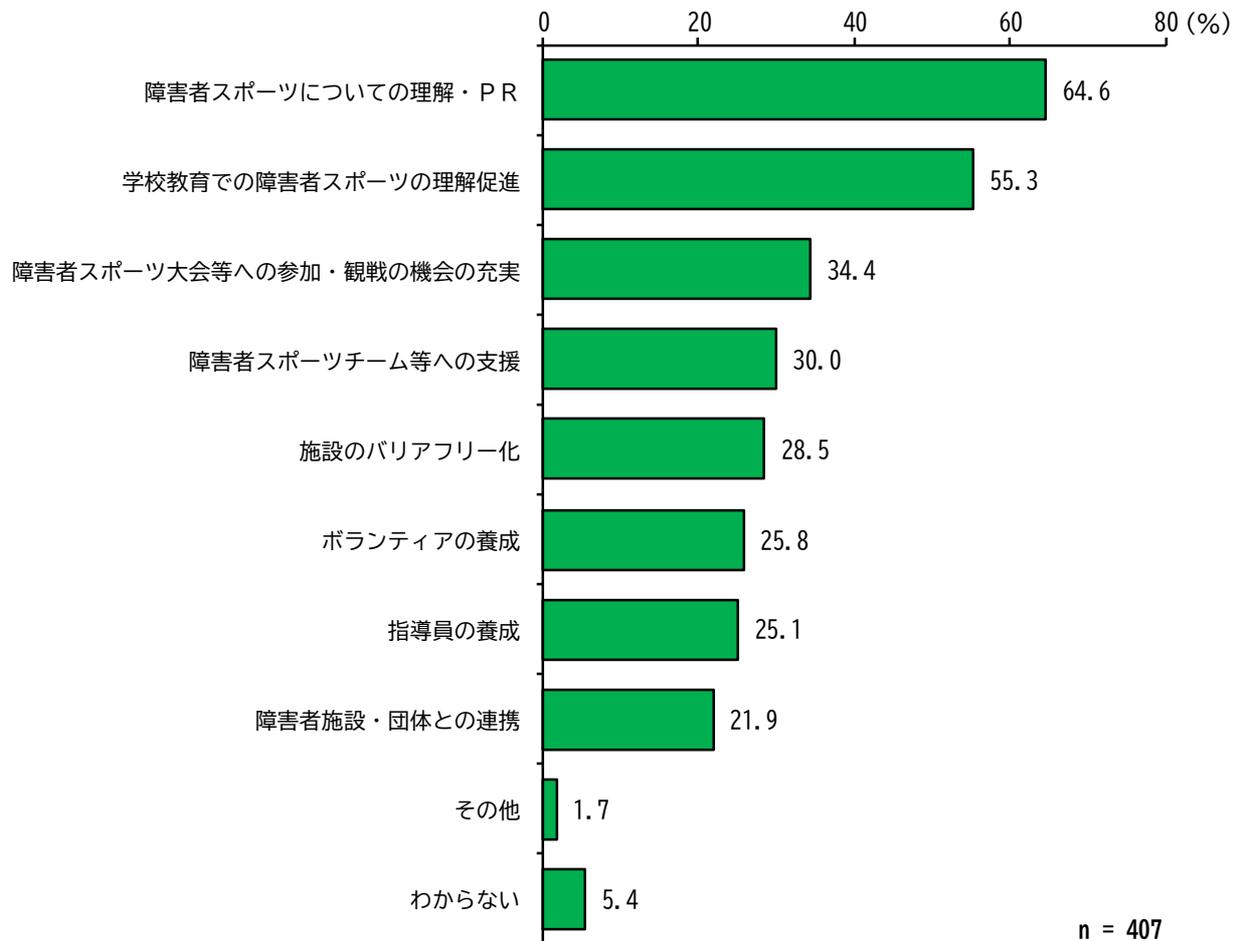
年齢層別で見ると、『関心なし』は【50歳～59歳】が42.0%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別で見ると、『関心なし』は【奥戸・新小岩】が63.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

(25) 障害者スポーツの振興を図るために必要なこと

問 25. あなたは、障害者スポーツの振興を図るためにはどのようなことが必要だと思いますか。(複数選択可)

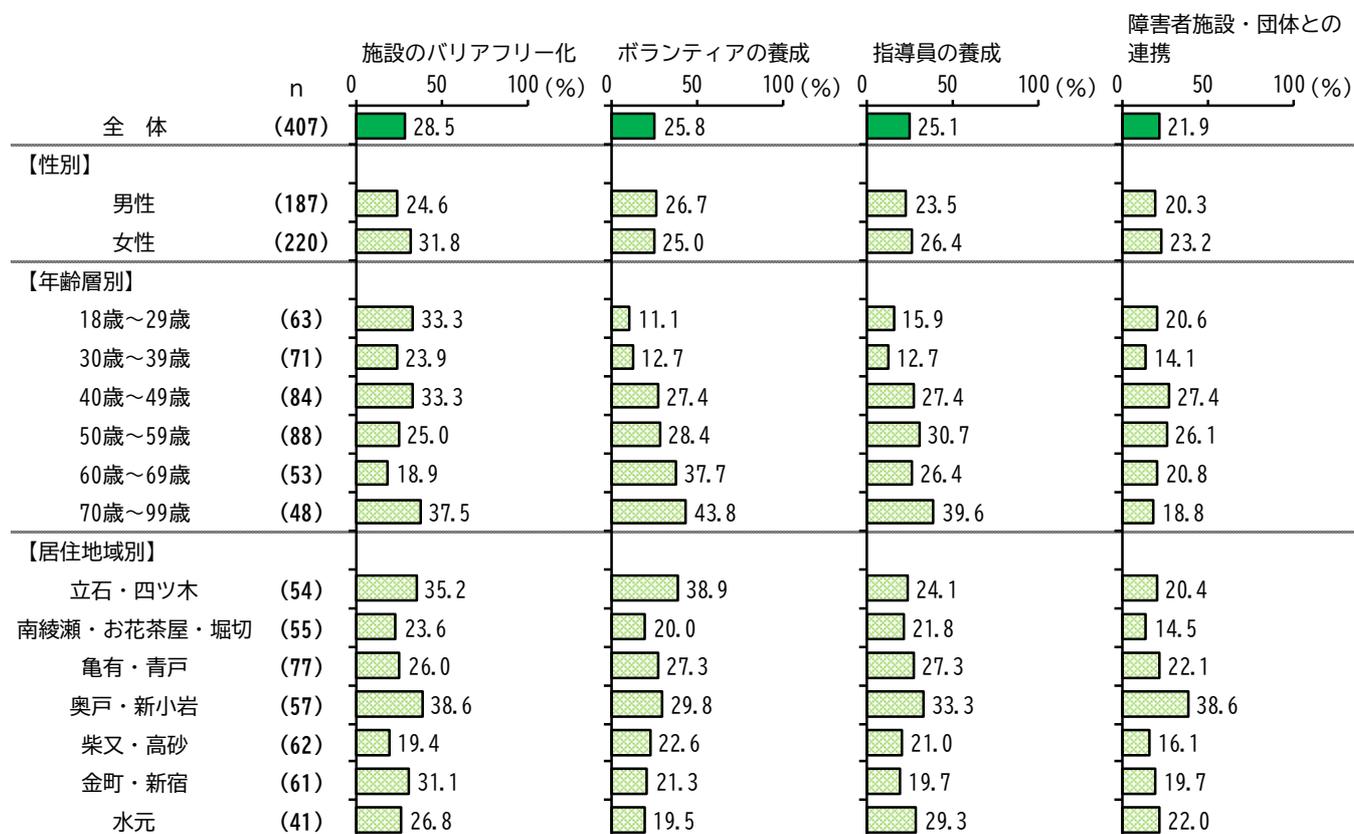
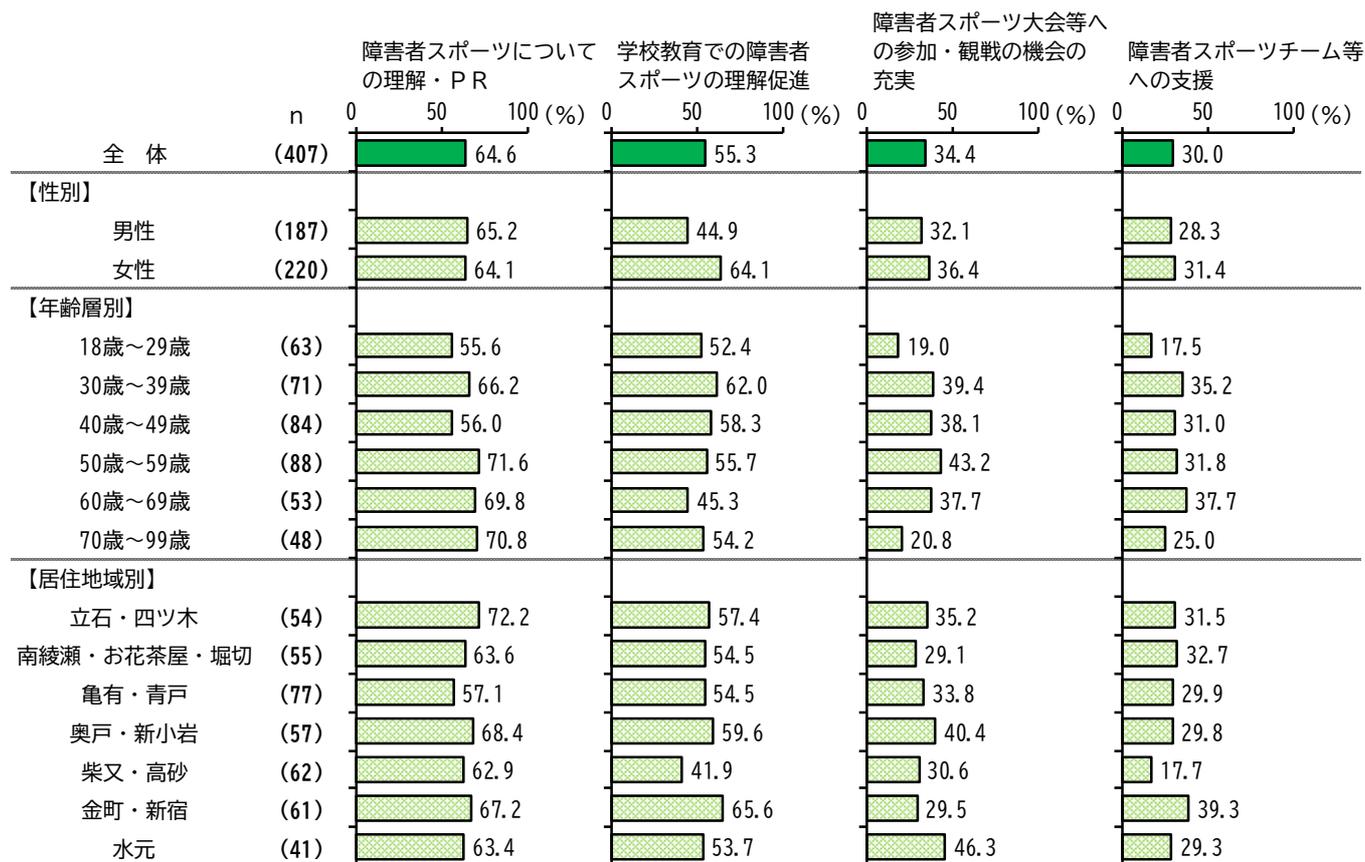
障害者スポーツの振興を図るために必要なこと【全体】

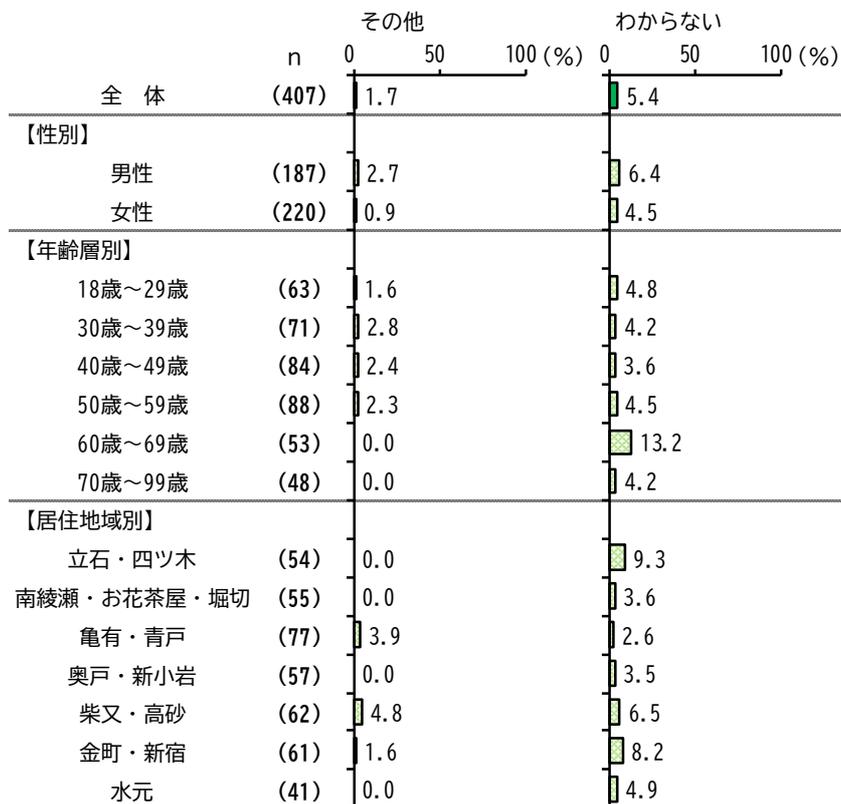


障害者スポーツの振興を図るために必要なことは、「障害者スポーツについての理解・PR」が64.6%で最も高く、次いで「学校教育での障害者スポーツの理解促進」が55.3%、「障害者スポーツ大会等への参加・観戦の機会の充実」が34.4%、「障害者スポーツチーム等への支援」が30.0%と続いている。

「その他」の内容としては、「交通安全教室には熱心なんだから、そういう体験大会を教習所の広い場所でやってほしい、屋内で出来るスポーツは循環して体験大会」「ゲームやアプリなどで日々触れられるようにする」「有償ボランティアの普及（最低賃金程度）」「ちゃんと面白いモノをやる」「この中に入らない」などがあつた。

障害者スポーツの振興を図るために必要なこと【全体、性別、年齢層別、居住地域別】





性別でみると、「学校教育での障害者スポーツの理解促進」は【女性】が 64.1%と、【男性】(44.9%) よりも 19.2 ポイント、「施設のバリアフリー化」は【女性】が 31.8%と、【男性】(24.6%) よりも 7.2 ポイント高くなっている。

年齢層別でみると、「ボランティアの養成」は【70歳～99歳】が 43.8%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「障害者スポーツ大会等への参加・観戦の機会の充実」は【18歳～29歳】が 19.0%、【70歳～99歳】が 20.8%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「障害者施設・団体との連携」は【奥戸・新小岩】が 38.6%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「学校教育での障害者スポーツの理解促進」は【柴又・高砂】が 41.9%と、他の区分に比べ低くなっている。

(26) スポーツを通じて交流するために必要なこと

問 26. 年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰もが一緒にスポーツを楽しみ、スポーツを通じて交流するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(自由記述)

【主な意見】

- スポーツは頭と身体を使うので、色々な階級に分けてその各々の階級がいる1チームを作り、その対戦にしないと怪我をさせてしまいそうで怖い。安全に楽しめるかを考えないと、心から楽しめない。
- わかりやすいルール。ベビーカー、車椅子が入れる広い場所の確保。
- 『まずは友達から』じゃないけど、軽い感じで重くならず短時間でサラッと交流できるような事から始めると良い気がします。ラジオ体操大会なんて良い例じゃないかな?と思います。
- ラジオ体操と同じようにスタンプラリーや、軽い景品等やっていると何かしら少し嬉しい特典があれば自ずと習慣化すると思います。それか、母が知らない人達が太極拳みたいな舞を集まってしているのを見て関心を覚えたそうなので、人目がある公園でしばらくやっていたら理解は広がるんじゃないかと思います。
- 健常者側からの偏見をなくすこと。健常者が障害者と関わる機会を増やすこと。パラリンピックレベルでも無関心な人の方が多いので、かなり難しいのではないかと思います。
- 適正な指導者、代表者などの育成。やはりリーダーとなる方の力量が大きいかと思います。
- サポートする方の負担をどれだけ少なくできるか考える事。
- 大人数によるイベントを開催し、認知、周知に努める。
- 一般のスポーツではどうしても差がついてしまうので、VRやラジコンでのドローンレースやロボットバトルの様なものが良いと思う。
- 障害者スポーツも健常者スポーツと同じようにテレビ中継などをするべき。たくさんあるだろうにCMで見たボッチャしか知らない。
- 有名人などを起用し、それをすることがかっこいい、ステキだという印象を世間に与える。
- ユニバーサルスポーツに限らず、地域のスポーツイベント自体に馴染みがない人が大多数だと思う。まずはスポーツ自体を生活に身近なものとしていくことが必要だと思う。
- 開催場所の交通機関の利便性があることや、老若男女に向けて開催していることをきちんと伝えることが大事だと存じます。
- 安全に配慮されていて、経済的な負担が少なく、長く続けられるスポーツが広がるのが理想だと思います。
- 偏見の少ない年齢から、交流をして行くことがいいと思います。幼稚園や保育園等でイベントを行ったり、地域のイベント事に参加したりして、誰もが一緒に楽しめるスポーツという認識が出るのではないかと思います。
- 誰もが参加してみようと思う内容のポスターのお知らせが増えると良いと思います。
- 食べ物のイベントなどと共同してイベントをやれば良いと思います。
- そういった活動があることの広報活動や保育園、幼稚園、学校などの協力。
- まずは民生委員等が、障害のある方々の家庭に参加を促す。障害者スポーツに参加したらボランティアポイントを貰えるシステムを創る。

第3章 調査結果（区民モニター調査について）

テーマ3 区民モニター調査について

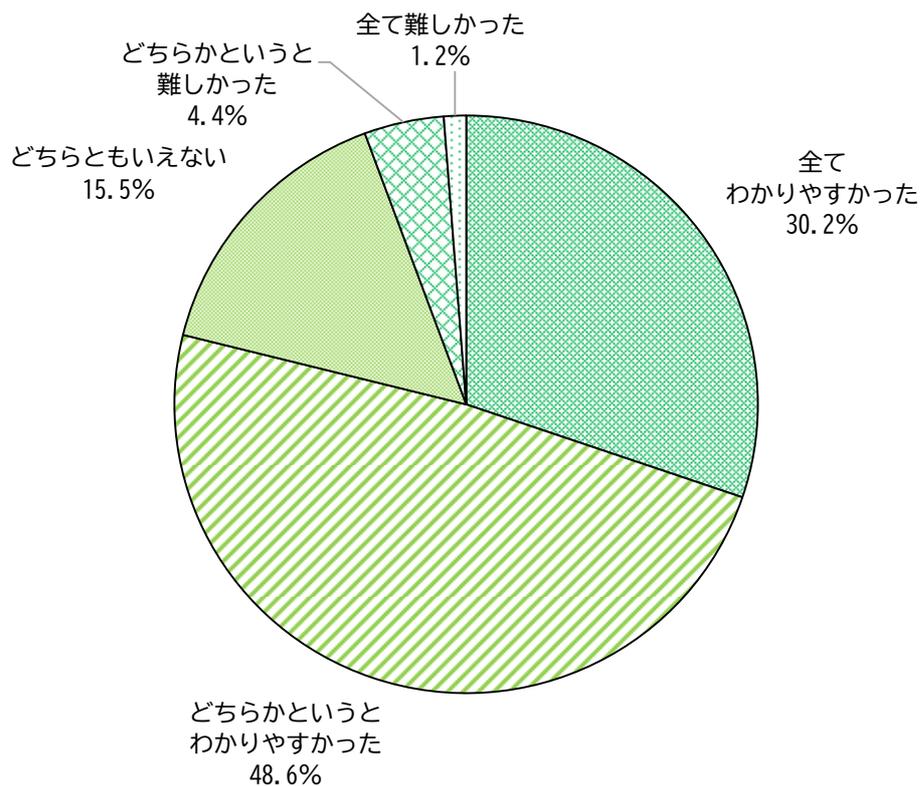
区では、区民の皆様のご意見を伺い区政運営の参考とするため、区民モニター調査を実施しております。

任期満了にあたり、今後の本調査をより有意義なものとするため、区民モニターの皆様のご意見を伺います。

(27) 内容や設問のわかりやすさ

問 27. 各回の調査テーマについて、内容や設問のわかりやすさはいかがでしたか。
(1つ選択)

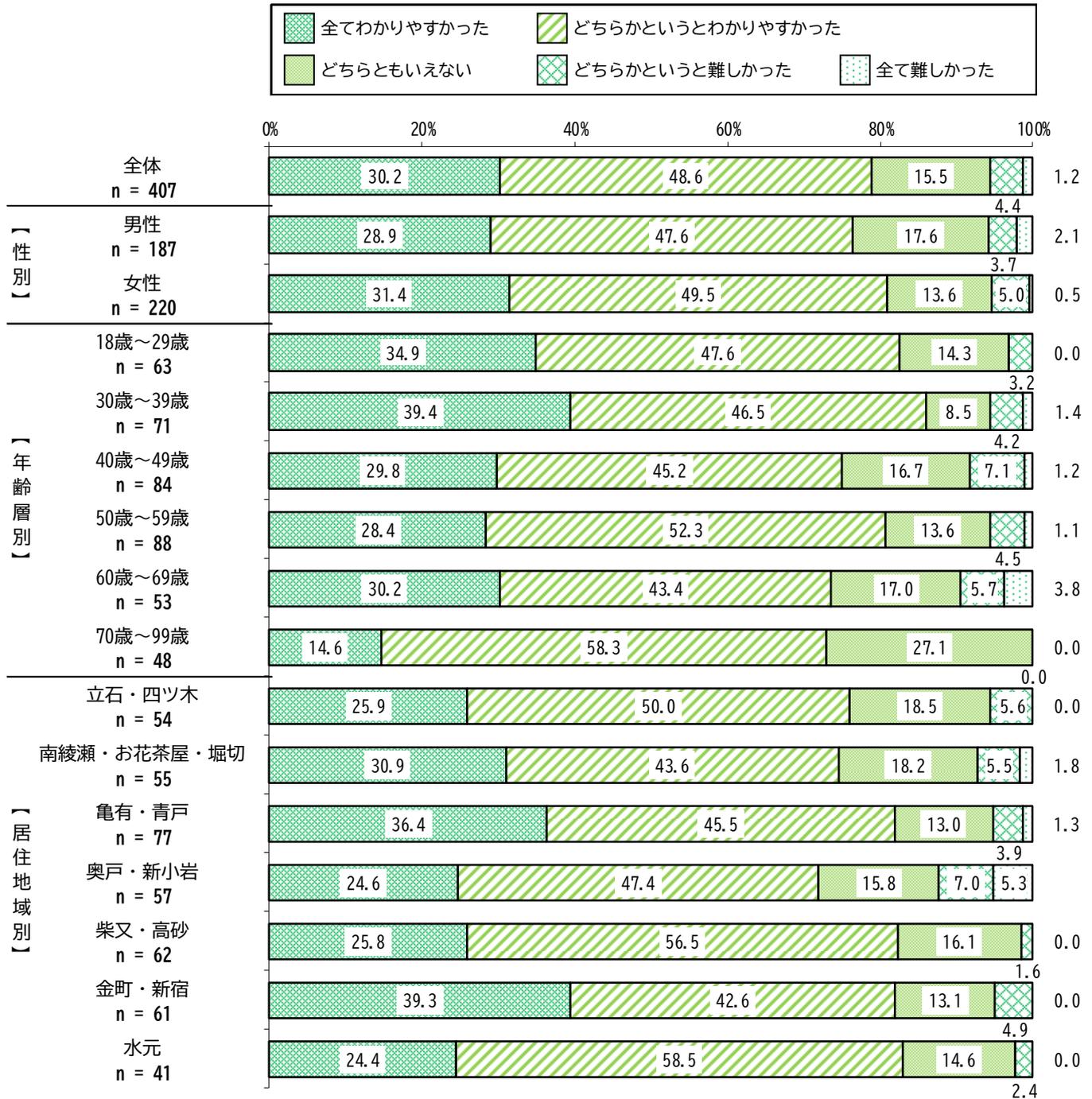
内容や設問のわかりやすさ【全体】



n = 407

内容や設問のわかりやすさは、「全てわかりやすかった」(30.2%)と「どちらかというわかりやすかった」(48.6%)を合わせた『わかりやすかった』が78.8%となっている。一方、「全て難しかった」(1.2%)と「どちらかというと難しかった」(4.4%)を合わせた『難しかった』が5.6%となっている。

内容や設問のわかりやすさ【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、『わかりやすかった』は【女性】が 80.9%と、【男性】(76.5%) よりも 4.4ポイント高くなっている。

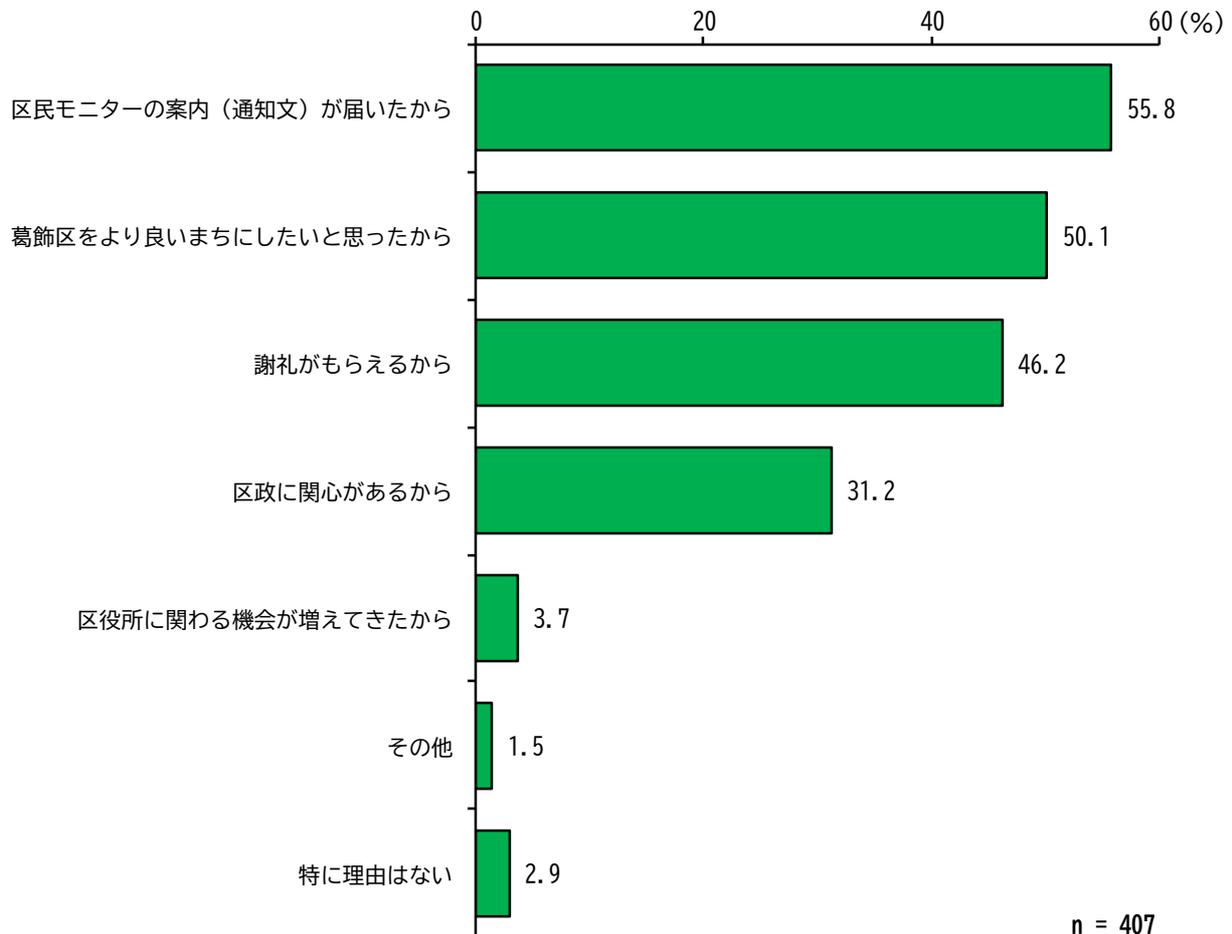
年齢層別で見ると、『わかりやすかった』は【30歳~39歳】が 85.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、『難しかった』は【奥戸・新小岩】が 12.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(28) 区民モニター参加のきっかけ

問 28. 区民モニターに参加しようと思ったきっかけは何ですか。(複数選択可)

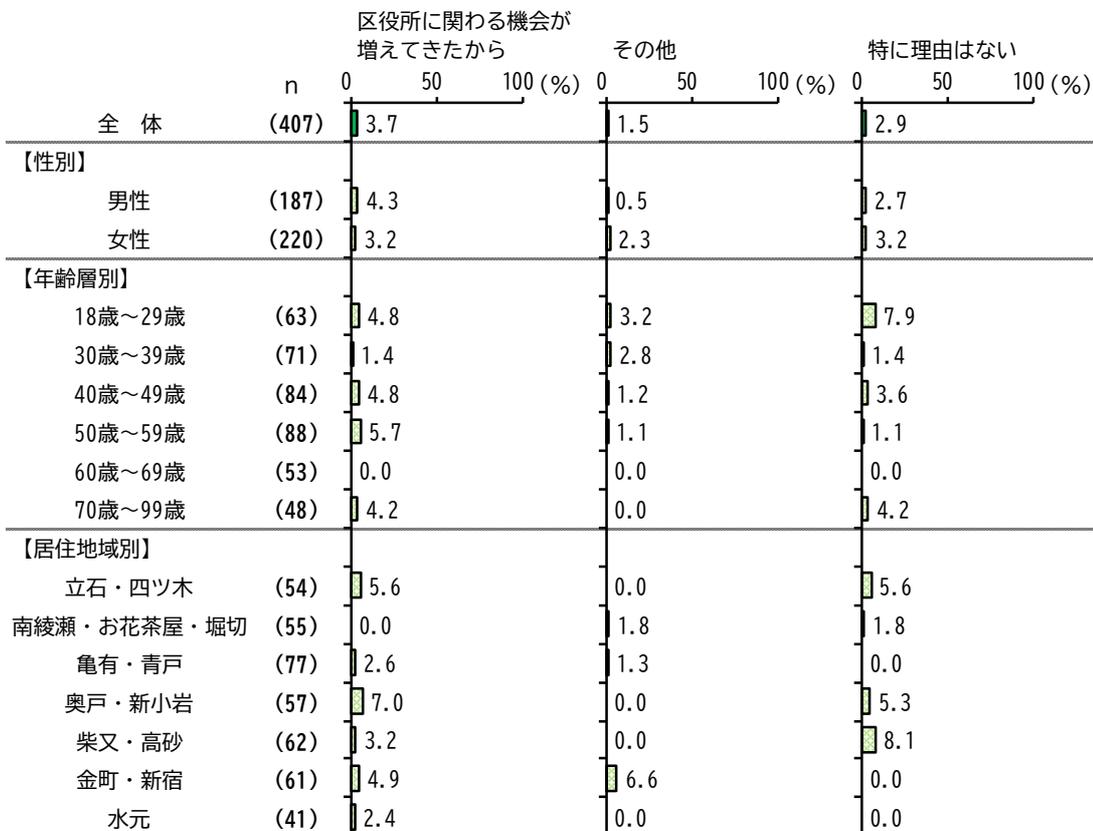
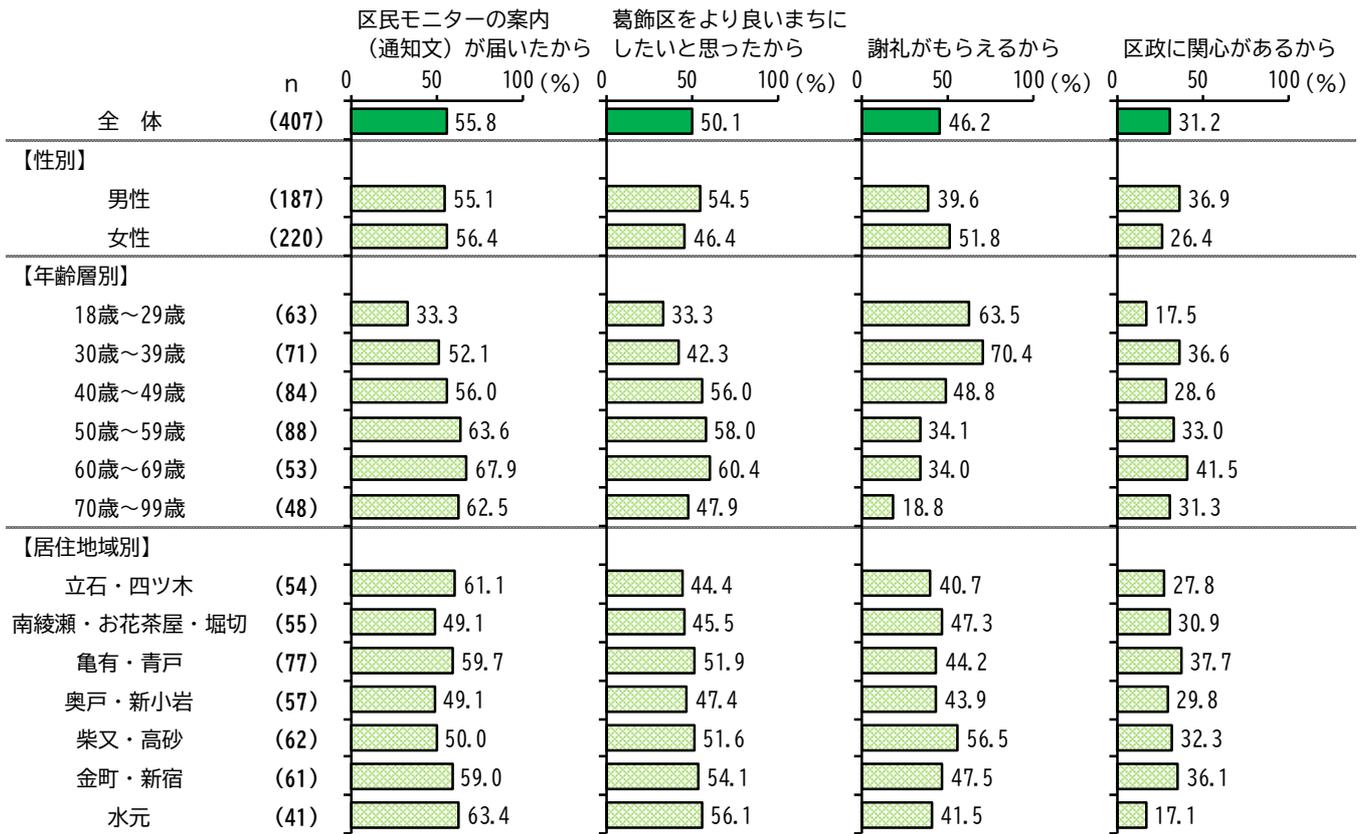
区民モニター参加のきっかけ【全体】



区民モニター参加のきっかけは、「区民モニターの案内（通知文）が届いたから」が55.8%で最も高く、次いで「葛飾区をより良いまちにしたいと思ったから」が50.1%、「謝礼がもらえるから」が46.2%、「区政に関心があるから」が31.2%となっている。

「その他」の内容としては、「法学部の勉強も兼ねて」「自分が成人してそういった機会があるならやってみたいと感じたから」「葛飾区のデジタル化への取り組みに興味があるから」「参加することで地域貢献の一つになるし、自分の興味関心のないことでも、意識させてもらえるから」などがあつた。

区民モニター参加のきっかけ【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「謝礼がもらえるから」は【女性】が51.8%と、【男性】(39.6%)よりも12.2ポイント高くなっている。一方、「区政に関心があるから」は【男性】が36.9%と、【女性】(26.4%)よりも10.5ポイント高くなっている。

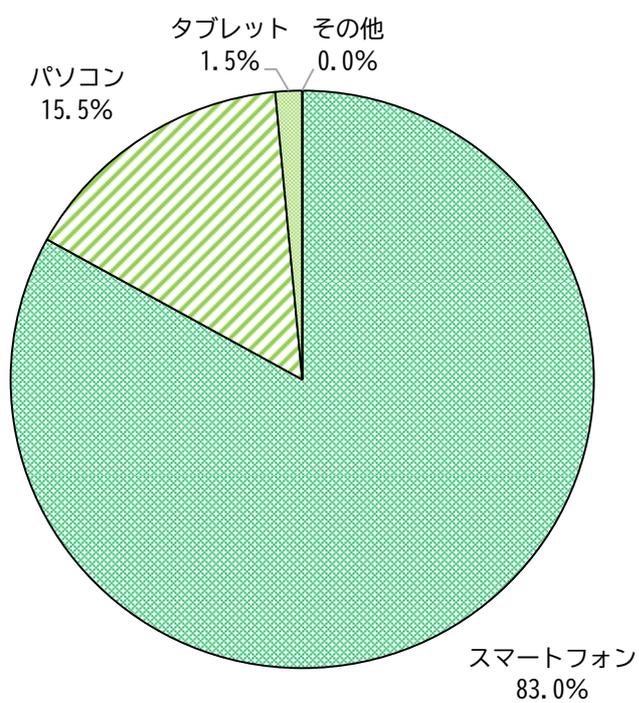
年齢層別で見ると、「謝礼がもらえるから」は【70歳～99歳】が18.8%と、他の区分に比べ低く、【30歳～39歳】が70.4%と、他の区分に比べ高くなっている。「区民モニターのご案内(通知文)が届いたから」は【18歳～29歳】が33.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別で見ると、「謝礼がもらえるから」は【柴又・高砂】が56.5%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、「区政に関心があるから」は【水元】が17.1%と、他の区分に比べ低くなっている。

(29) 回答に使用している機器

問 29. 回答に際しては、主にどのような機器を使用していますか。(1つ選択)

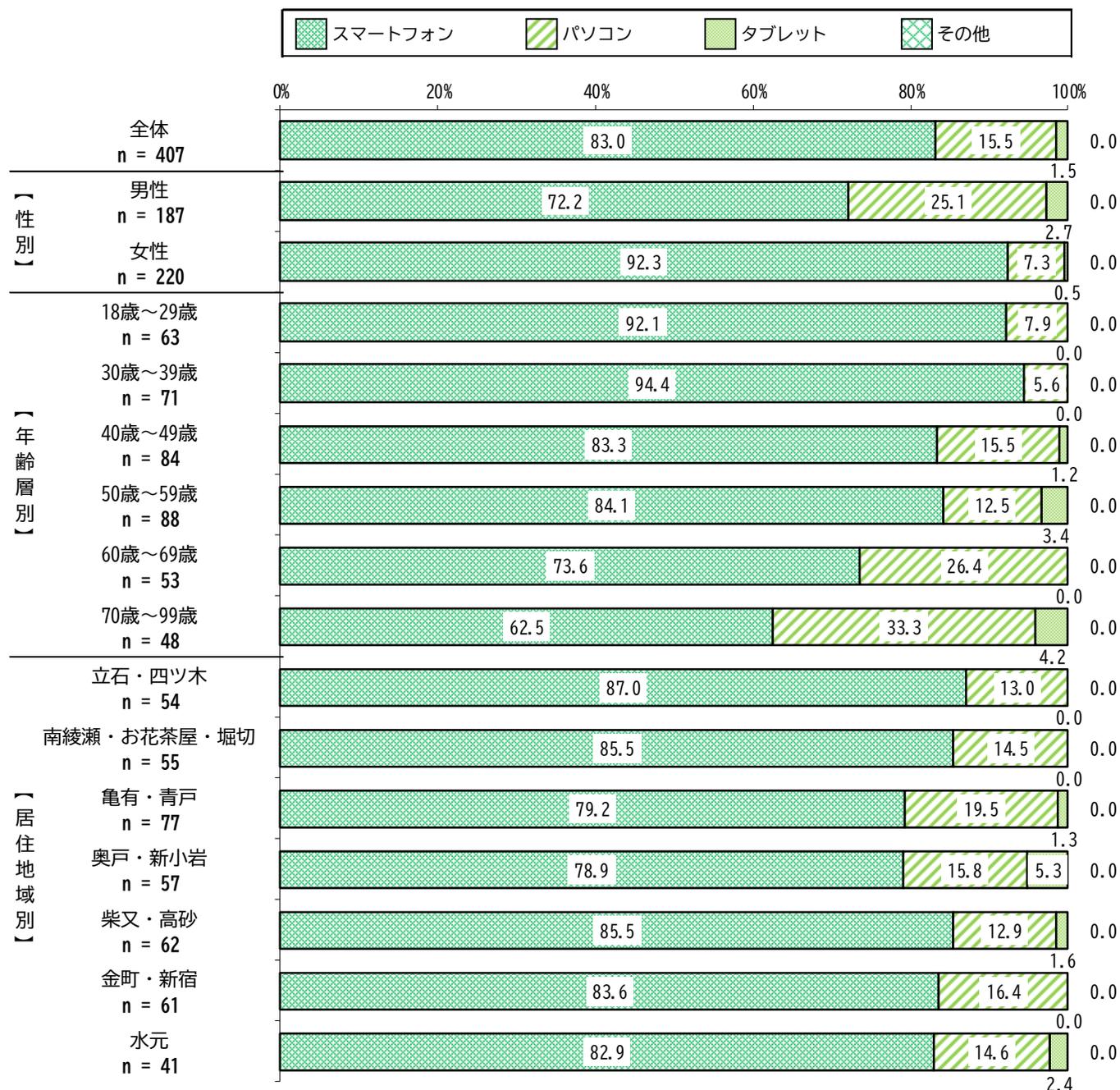
回答に使用している機器【全体】



n = 407

回答に使用している機器は、「スマートフォン」が 83.0%となっている。

回答に使用している機器【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「スマートフォン」は【女性】が92.3%と、【男性】(72.2%)よりも20.1ポイント高くなっている。一方、「パソコン」は【男性】が25.1%と、【女性】(7.3%)よりも17.8ポイント高くなっている。

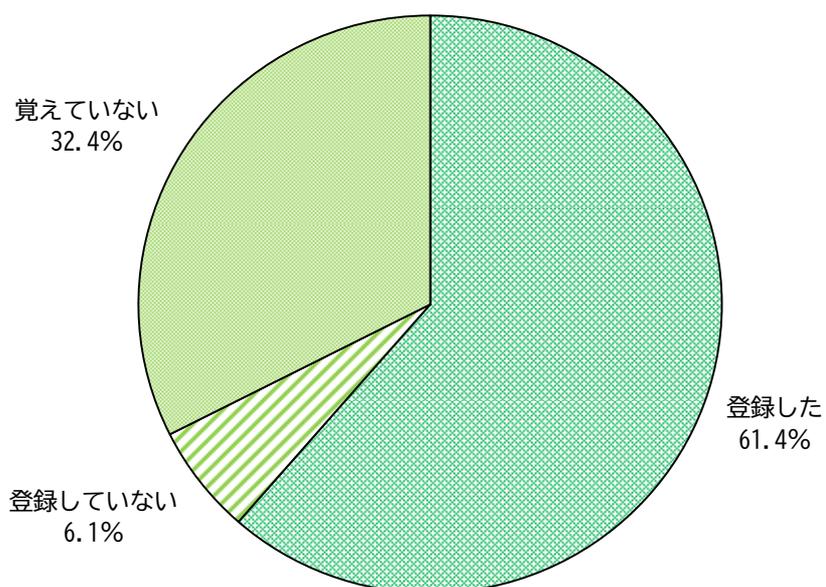
年齢層別で見ると、「パソコン」は【70歳～99歳】が33.3%、「スマートフォン」は【30歳～39歳】が94.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別による大きな差はみられない。

(30) メールアドレス登録の有無

問 30. 事前にメールアドレスを登録いただいた方には、各回調査開始時に調査案内をメールにてお送りしました。申込時にメールアドレスを登録しましたか。(1つ選択)

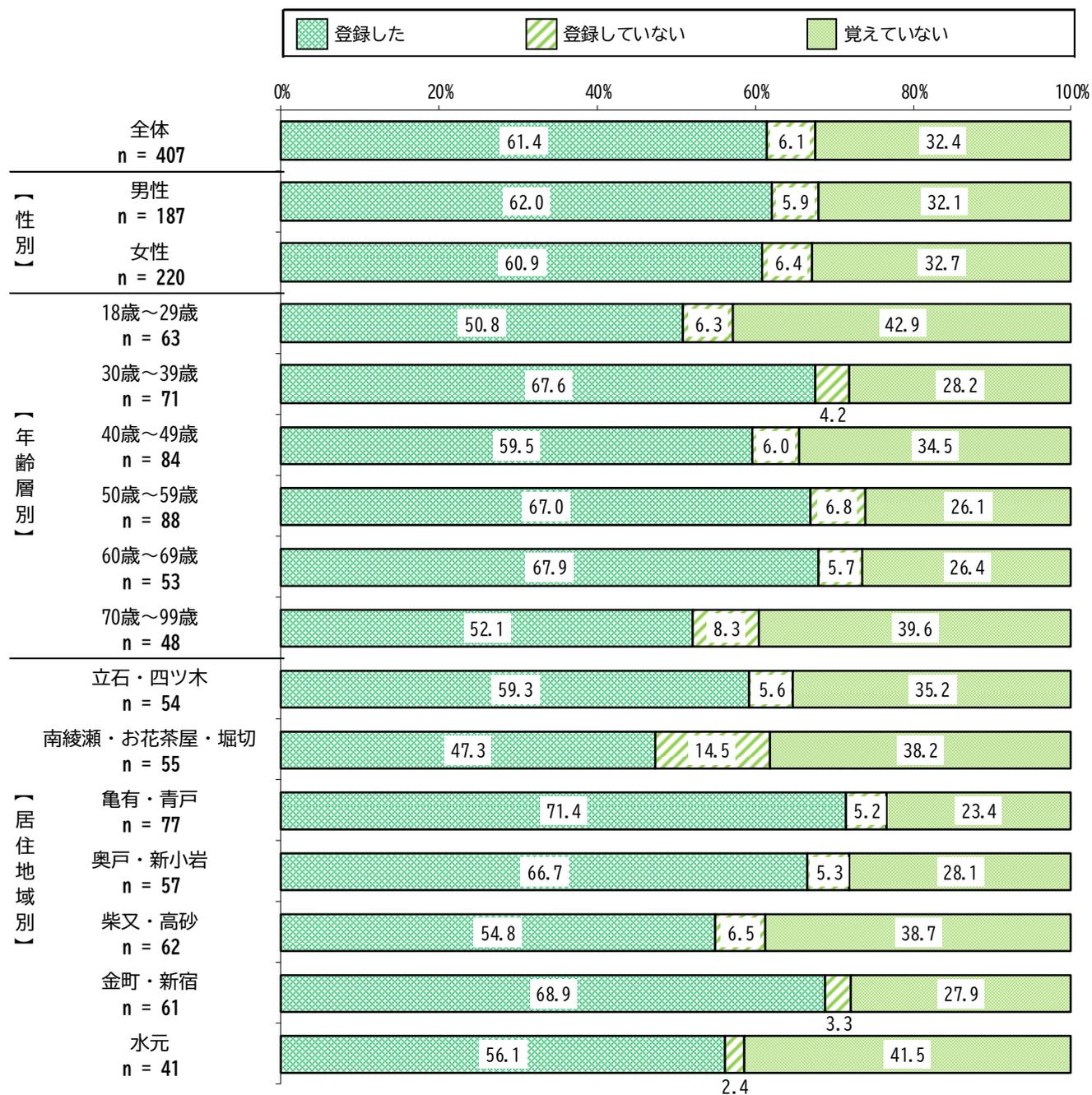
メールアドレス登録の有無【全体】



n = 407

メールアドレス登録の有無は、「登録した」が61.4%となっている。

メールアドレス登録の有無【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「登録した」は【18歳～29歳】が50.8%と、他の区分に比べ低くなっている。

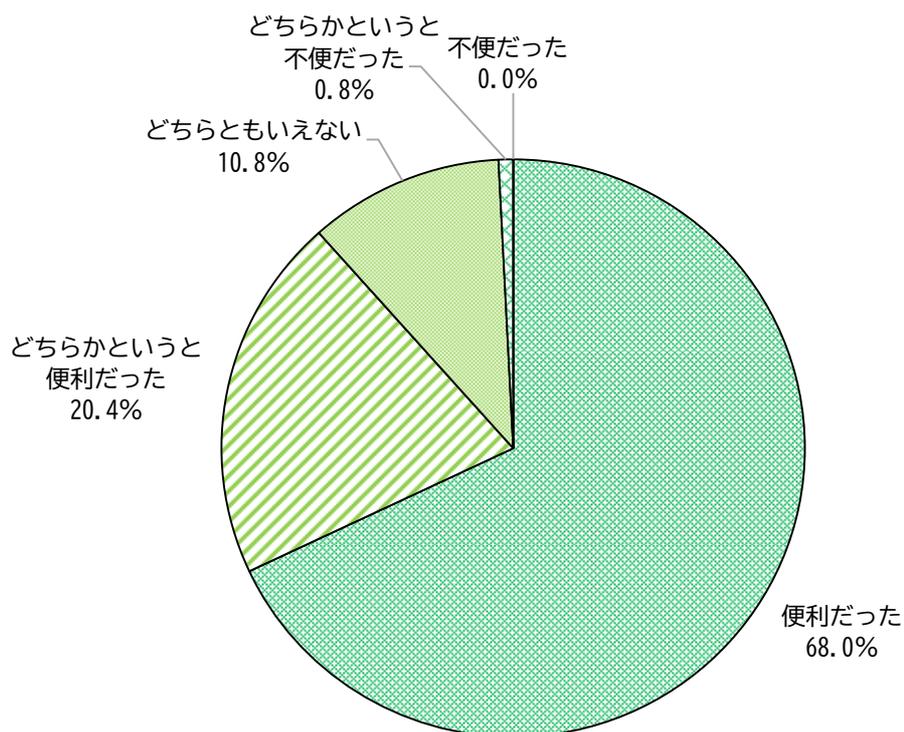
居住地域別でみると、「登録した」は【亀有・青戸】が71.4%と、他の区分に比べ高く、【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が47.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

(31) メールでの調査案内は便利だったか

問 31. 問 30 で「登録した」と答えた方に伺います。

メールでの調査案内は便利でしたか。また良かった点や悪かった点があれば具体的に教えてください。(1つ選択)

メールでの調査案内は便利だったか【全体】



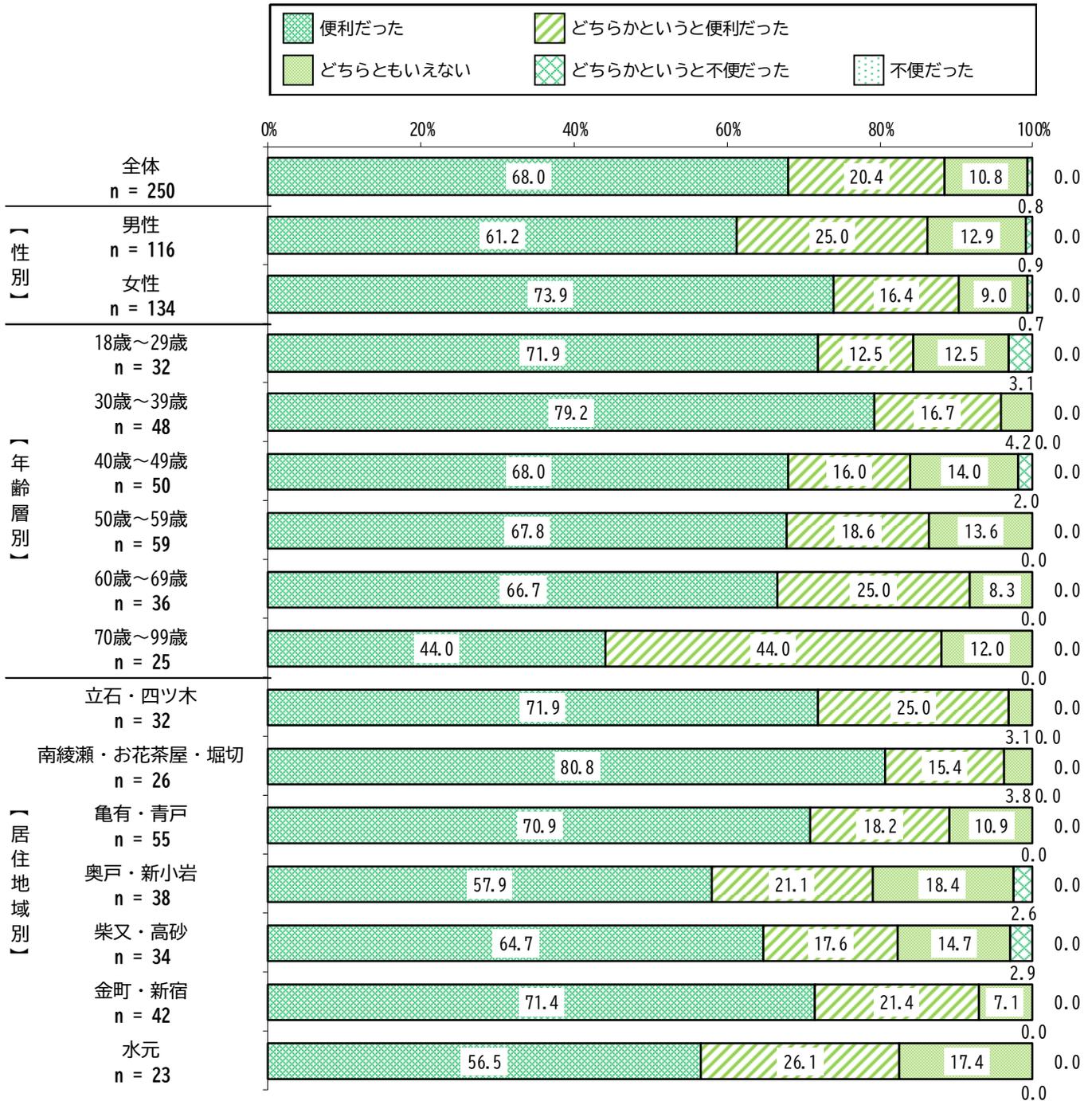
n = 250

メールでの調査案内は便利だったか、「便利だった」(68.0%)と「どちらかという便利だった」(20.4%)を合わせた『便利』が88.4%となっている。

<回答の主な内容>

回答	具体的な内容
便利だった	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマホを見ない日がないので見落とすことがなかった。 ・ 送ってくれるたびにIDとパスワードも教えてくれるのでありがたい。 ・ モニター調査にすぐ気づけた。 ・ 空いた時間にサクッと回答できるから。 ・ すぐにページを開けた。 ・ 自分でやろうと思った時にすぐに取り組める。 ・ 回答期間が分かるから。 ・ メールだと色々な媒体から確認出来る。文字を入力するのも楽だった。 ・ 封書で送られるより紛失せず便利。 ・ 家にいる時間が少ないため、メールで連絡いただけると助かるため。
どちらかという 便利だった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 履歴が残っているため、後で検索しやすい。 ・ 調査案内が来たことを知ることがわかりやすいので。 ・ スマホなら通勤時間等で回答できるから。 ・ 調査時期がタイムリーにわかるため。 ・ 日常的にPCを使用するので。 ・ 操作が簡単でやりやすかった ・ 紙に比べなくなる。 ・ 事前に案内、期限がわかるので参加しやすい。 ・ メール記載のリンクからアンケートページにすぐアクセスできる点。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郵便が回答のきっかけだったから。 ・ パソコンを開くのが、やや億劫。 ・ 途中で機種変更したり、バタバタしてしまった。 ・ 便利とはいいがたい。 ・ 設定のせいか迷惑メールに振り分けられる回があった。 ・ 何度か見落としてしまった。 ・ 大量にいろんなメールが届くため。
どちらかという 不便だった	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまりメールをみる習慣がなく、いつもギリギリに発見。アプリ等で通知が来ると忘れずにすむかなと思いました。 ・ メールが迷惑メール扱いになり、受信していたことに気づかない。
不便だった	—

メールでの調査案内は便利だったか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別でみると、「便利だった」は【女性】が73.9%と、【男性】(61.2%)よりも12.7ポイント高くなっている。

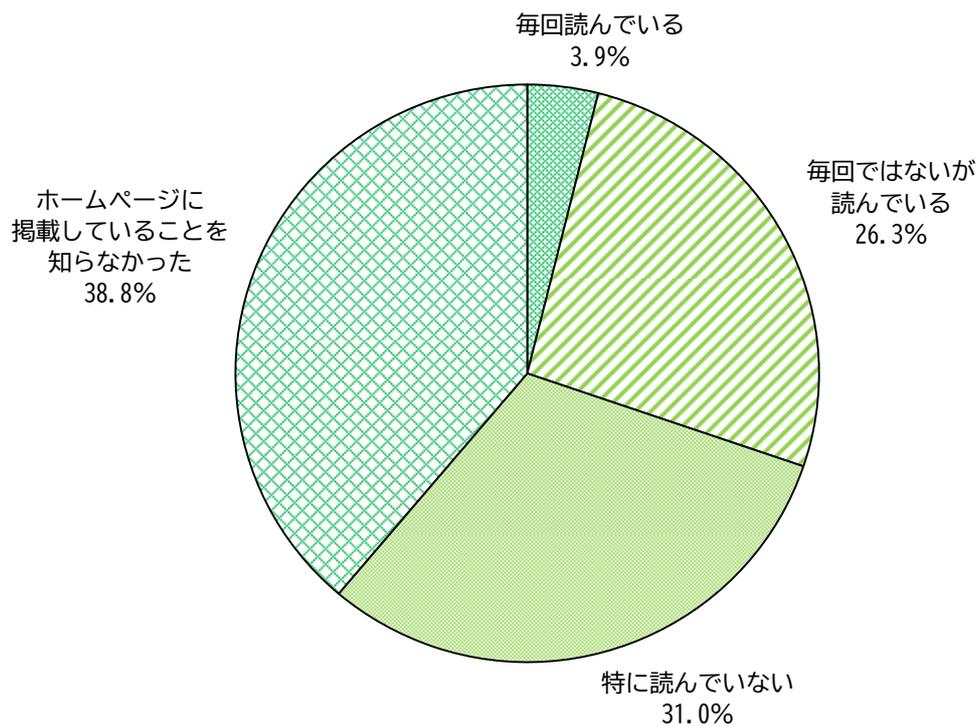
年齢層別でみると、「便利だった」は【30歳～39歳】が79.2%と、他の区分に比べ高く、【70歳～99歳】が44.0%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「便利だった」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が80.8%と、他の区分に比べ高く、【水元】が56.5%、【奥戸・新小岩】が57.9%と、他の区分に比べ低くなっている。

(32) 各回の調査報告書を読んだか

問 32. 各回の調査報告書を区ホームページに掲載していますが、ご覧になりましたか。
(1つ選択)

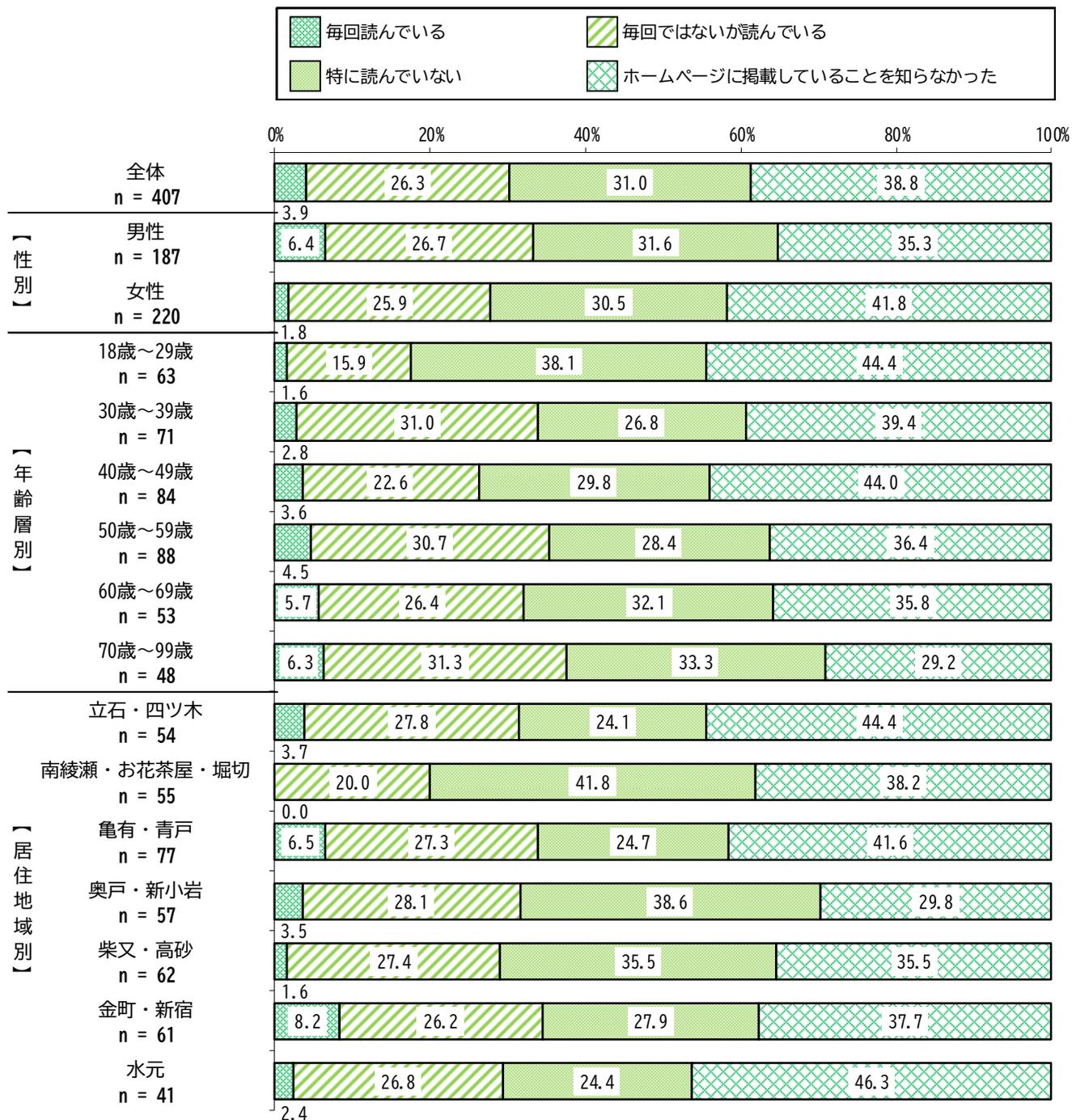
各回の調査報告書を読んだか【全体】



n = 407

各回の調査報告書を読んだか、「毎回読んでいる」が 3.9%、「毎回ではないが読んでいる」が 26.3%、「特に読んでいない」が 31.0%、「ホームページに掲載していることを知らなかった」が 38.8%となっている。

各回の調査報告書を読んだか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「ホームページに掲載していることを知らなかった」は【女性】が41.8%と、【男性】(35.3%)よりも6.5ポイント高くなっている。

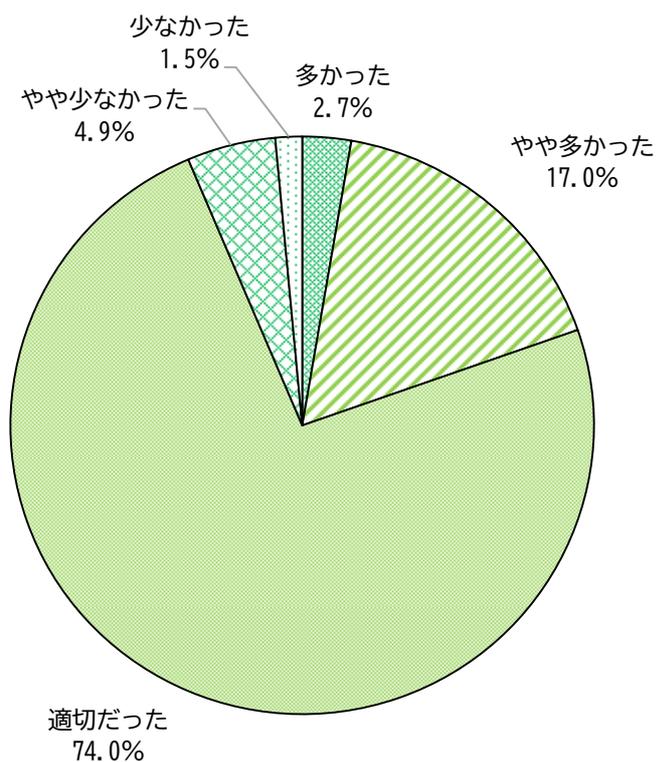
年齢層別で見ると、「特に読んでいない」は【18歳～29歳】が38.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「特に読んでいない」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が41.8%と、他の区分に比べ高くなっている。

(33) 調査回数は適切だったか

問 33. 年4回の調査にご協力いただきありがとうございました。
調査回数は多かったですか。(1つ選択)

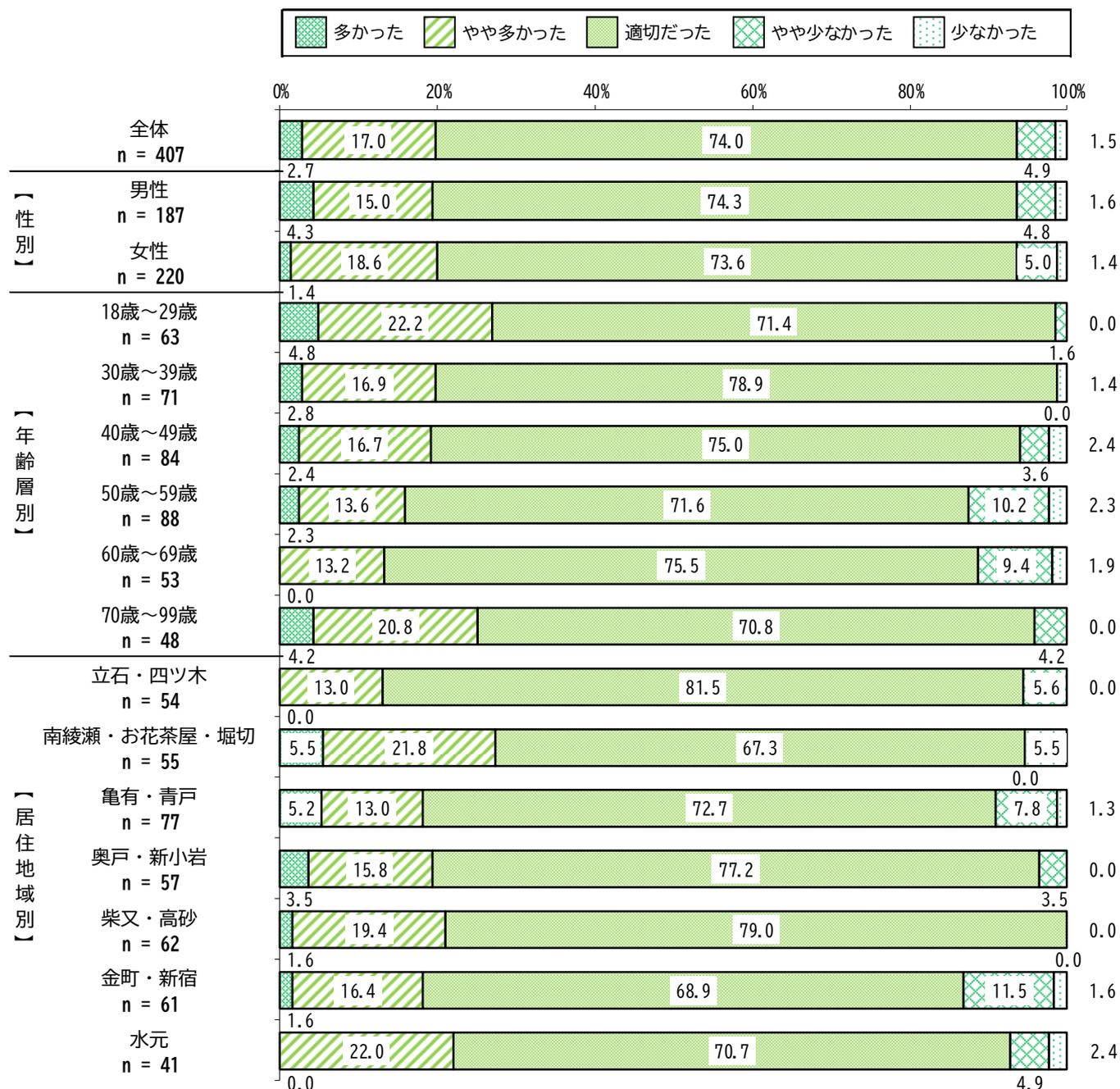
調査回数は適切だったか【全体】



n = 407

調査回数は適切だったか、「適切だった」が 74.0%となっている。一方、「多かった」(2.7%) と「やや多かった」(17.0%) を合わせた『多い』が 19.7%となっている。

調査回数は適切だったか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

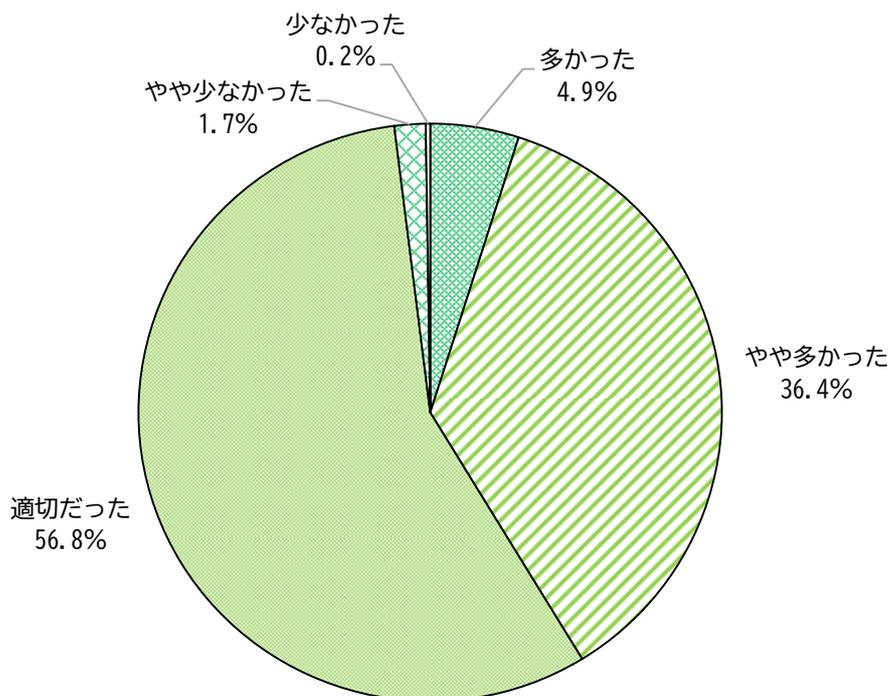
年齢層別で見ると、『多い』は【18歳～29歳】が27.0%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「適切だった」は【立石・四ツ木】が81.5%と、他の区分に比べ高くなっている。一方、『多い』は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が27.3%と、他の区分に比べ高くなっている。

(34) 設問数は適切だったか

問 34. 各回の設問数は多かったですか。(1つ選択)

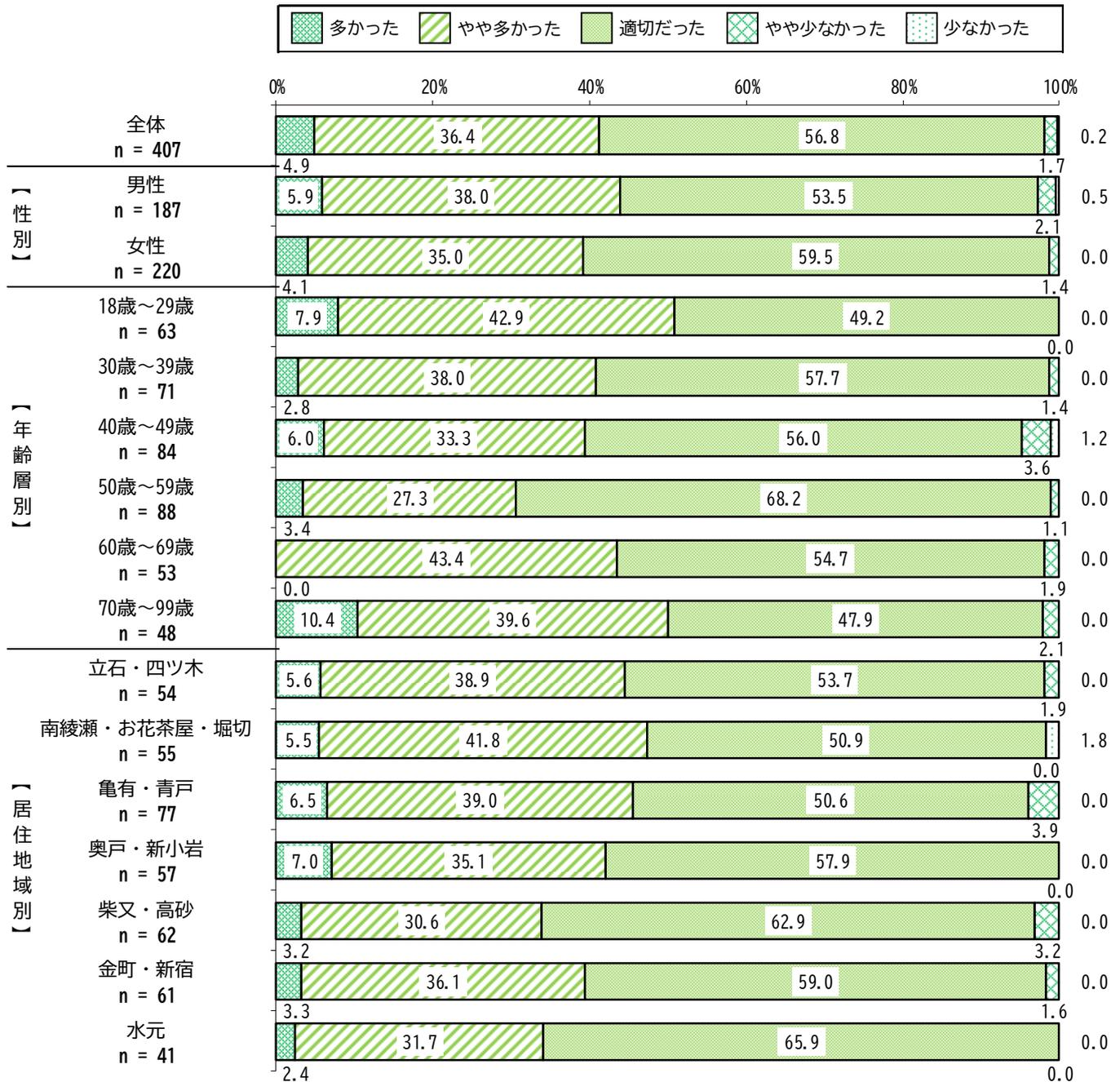
設問数は適切だったか【全体】



n = 407

設問数は適切だったか、「適切だった」が 56.8%となっている。一方、「多かった」(4.9%) と「やや多かった」(36.4%) を合わせた『多い』が 41.3%となっている。

設問数は適切だったか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「適切だった」は【女性】が59.5%と、【男性】(53.5%)よりも6.0ポイント高くなっている。

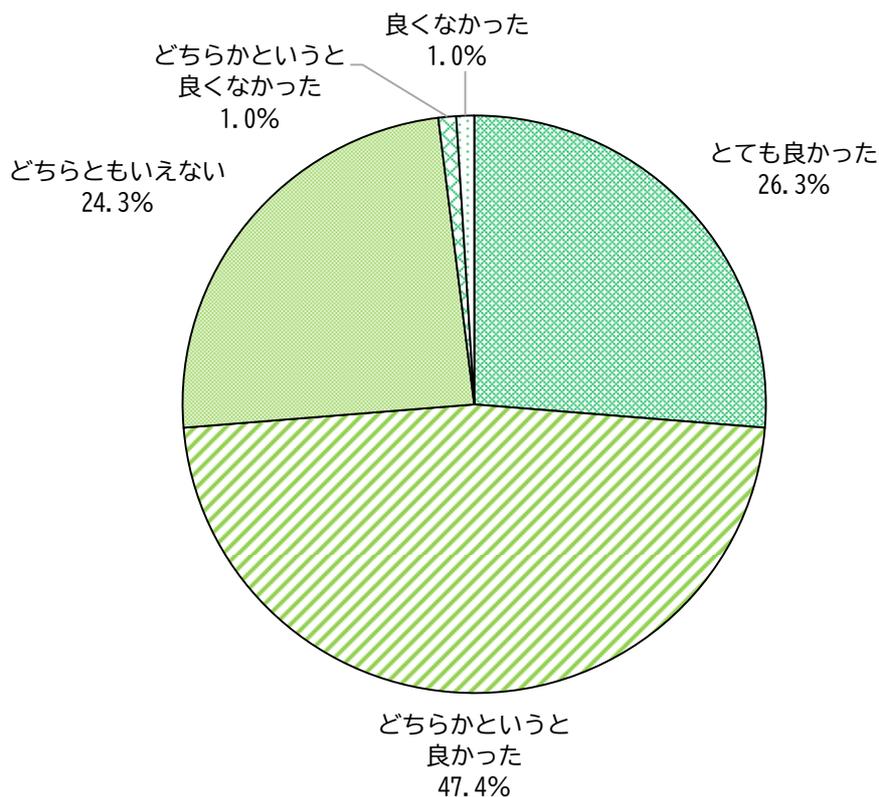
年齢層別で見ると、「適切だった」は【50歳～59歳】が68.2%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「適切だった」は【水元】が65.9%と、他の区分に比べ高くなっている。

(35) 区民モニターとして活動した感想

問 35. 今年度区民モニターとして活動してみての感想を教えてください。
また、回答の理由もあれば教えてください。(1つ選択)

区民モニターとして活動した感想【全体】



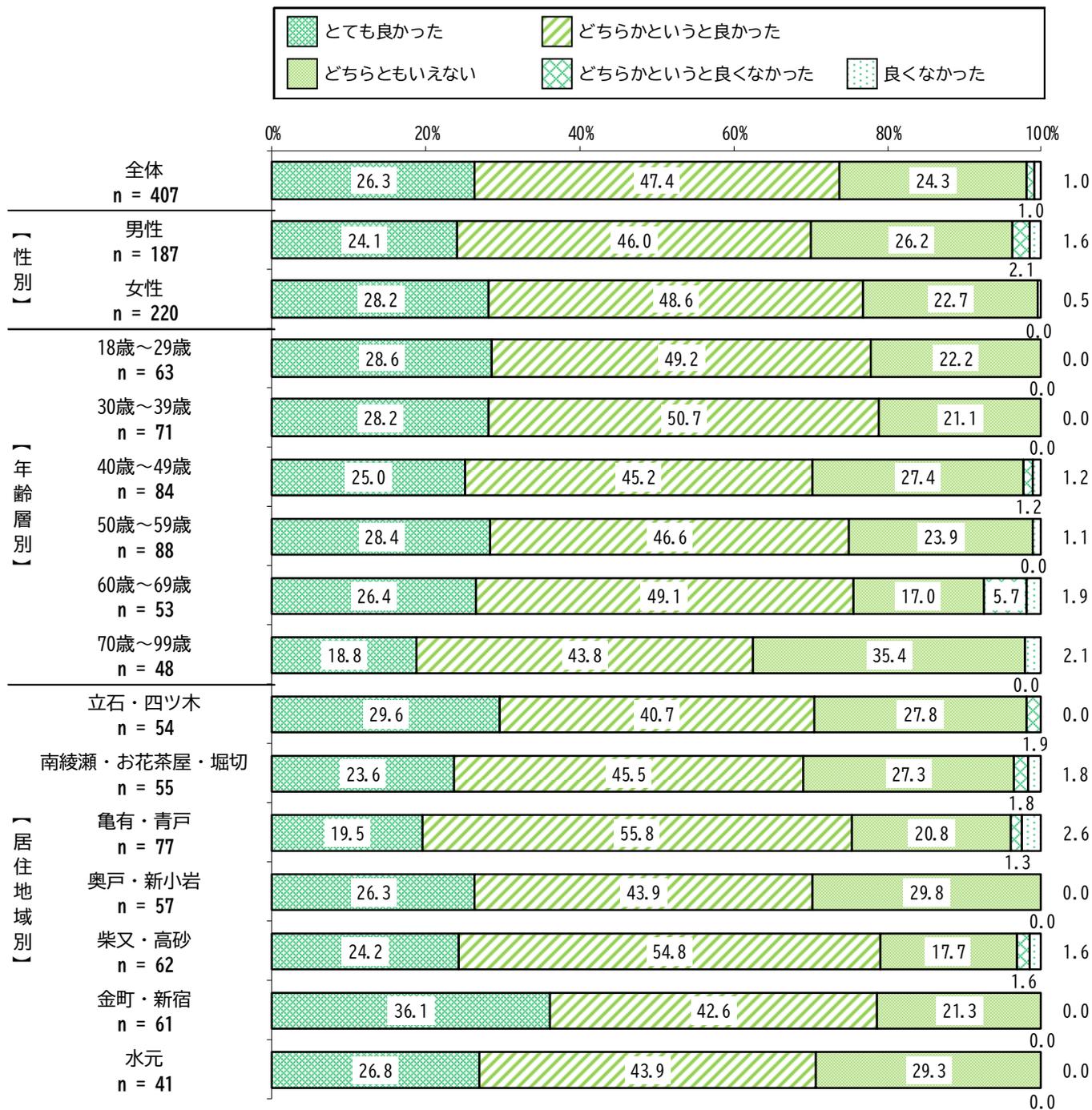
n = 407

区民モニターとして活動した感想は、「とても良かった」(26.3%)と「どちらかという良かった」(47.4%)を合わせた『良かった』が73.7%となっている。

<回答の主な内容>

回答	具体的な理由
とても良かった	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の知らない取り組みが多い事に気が付けた。自分の街をより良くしたいと思う気持ちが強くなった。 ・地域に携わっているという感覚がある。 ・質問内容について現在検討していることなのかと思いました。 ・多様な意見を吸い上げる手段としてはよいと思う。 ・区の取り組みについて知識が増え、視点が広がった。 ・普段から気になっていた事もあったので、意見を言える場があって良かった。 ・区政の改善に向けてデータを取っていること。 ・葛飾区に貢献しているような気持ちなれて嬉しかった。
どちらかという 良かった	<ul style="list-style-type: none"> ・普段考えていないテーマに触れられた。 ・回答すると同時に葛飾区のことを知ることができるから。 ・区の方針や施策の一端を知ることができた。 ・回答しやすい設問だったと感じた。 ・区が何をやっているのか、広報では通り過ぎてしまうことを気づく事ができた。 ・個人の意見を伝える手段があるのはよい。 ・区政の向上に役立つのであれば。 ・少しでも区政に貢献できた気がした。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・設問が多く、各設問の文章が長い。 ・このアンケートで変わった実感があればいいと思える。 ・回答の判断に迷うことがあった。 ・後期高齢者ですので、文字が小さくて大変でした。 ・個人的に関心のない質問ばかりだったから。 ・意見のある内容と興味のない内容では回答の重さに開きがあったと思うので。 ・答えないと催促が来るのが苦痛。
どちらかという 良くなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な設問が少なかった。理想の行政に対しての設問が多かった。 ・元々知らないものなど自分の生活の中で関わりのないもの、興味のないものが多数だった。 ・少し煩わしい。 ・役に立つ回答だったか分からない。
良くなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・質問内容に興味があるのが少なかった。 ・内容が浅い。

区民モニターとして活動した感想【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、『良かった』は【女性】が76.8%と、【男性】(70.1%)よりも6.7ポイント高くなっている。

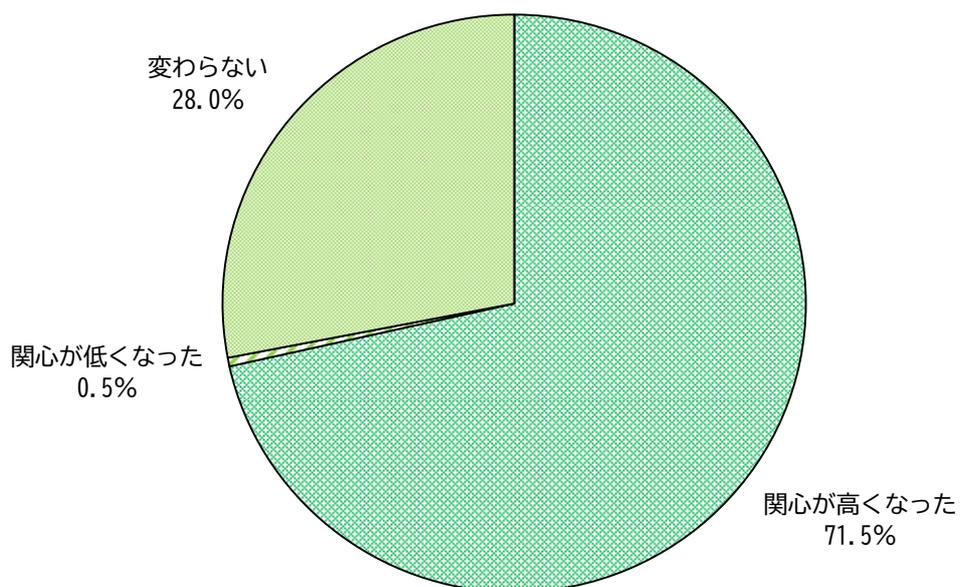
年齢層別で見ると、『良かった』は【70歳～99歳】が62.6%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別で見ると、「とても良かった」は【金町・新宿】が36.1%と、他の区分に比べ高くなっている。

(36) 区民モニター調査を通じて区政への関心度が高まったか

問 36. 区民モニター調査を通じて区政への関心は高くなりましたか。(1つ選択)

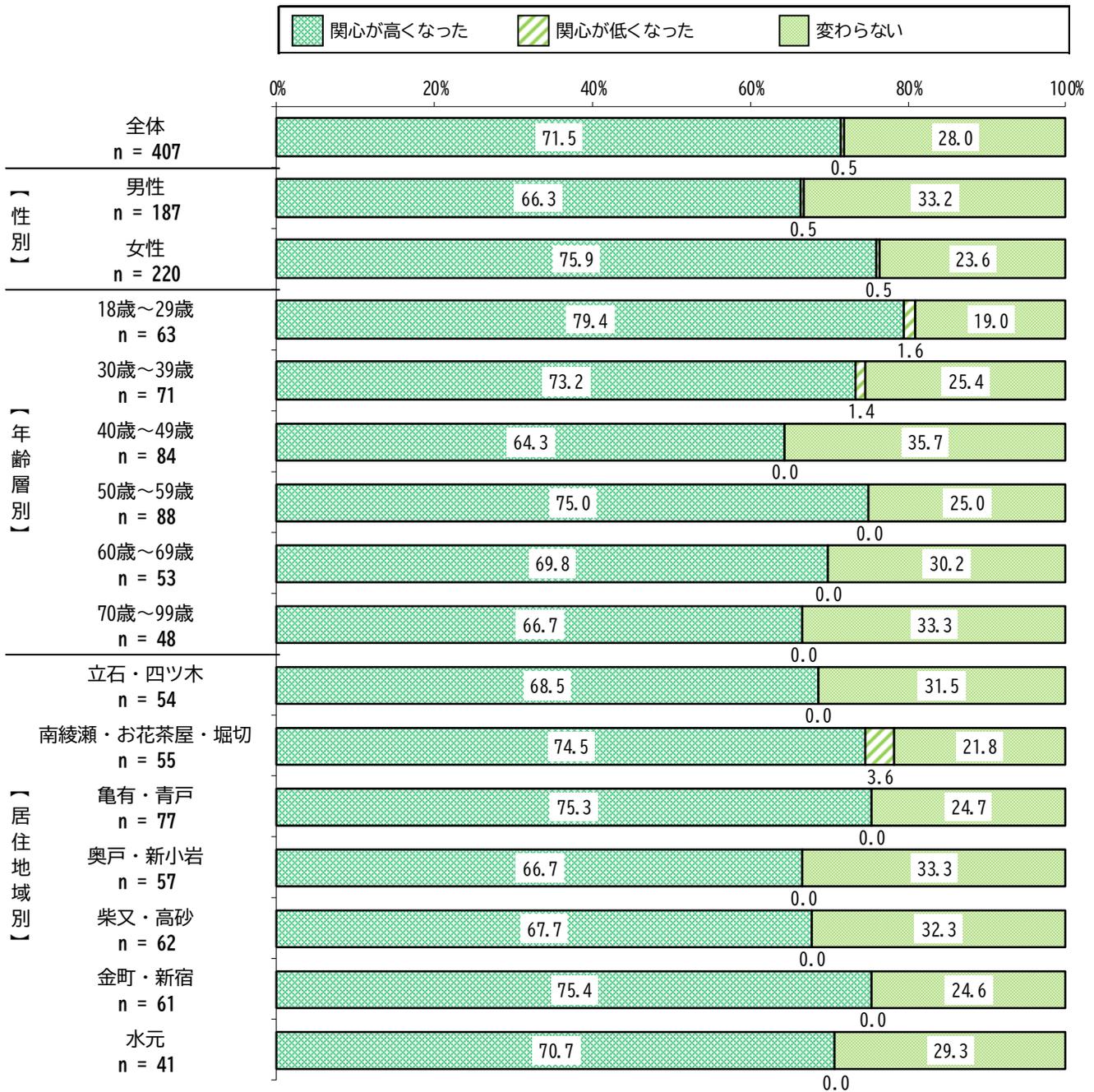
区民モニター調査を通じて区政への関心度が高まったか【全体】



n = 407

区民モニター調査を通じて区政への関心度が高まったか、「関心が高くなった」が71.5%となっている。

区民モニター調査を通じて区政への関心度が高まったか
【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別で見ると、「関心が高くなった」は【女性】が 75.9%と、【男性】(66.3%) よりも 9.6 ポイント高くなっている。一方、「変わらない」は【男性】が 33.2%と、【女性】(23.6%) よりも 9.6 ポイント高くなっている。

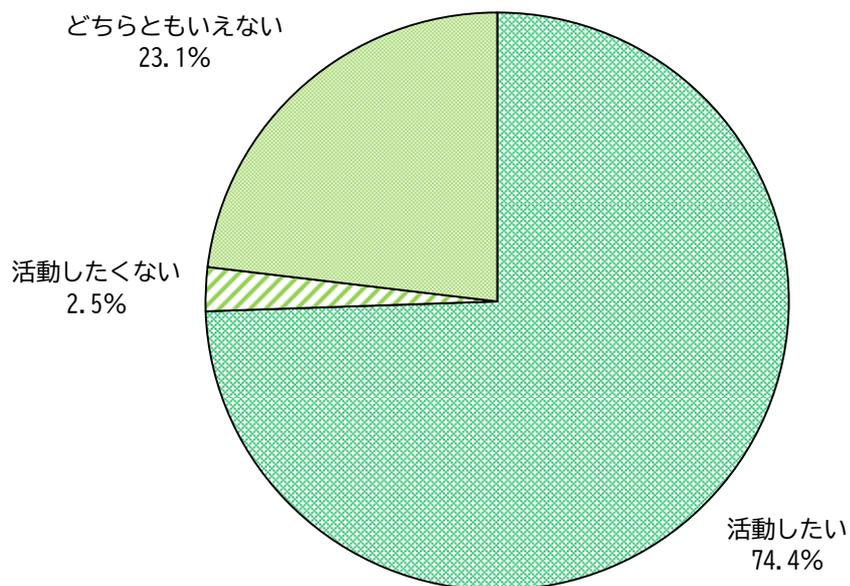
年齢層別で見ると、「関心が高くなった」は【18歳～29歳】が 79.4%と、他の区分に比べ高くなっている。

居住地域別で見ると、「変わらない」は【南綾瀬・お花茶屋・堀切】が 21.8%と、他の区分に比べ低くなっている。

(37) またモニターとして活動したいか

問 37. 1年間区民モニターとして活動いただきましたが、機会があればまたモニターとして活動したいと思いますか。(1つ選択)

またモニターとして活動したいか【全体】



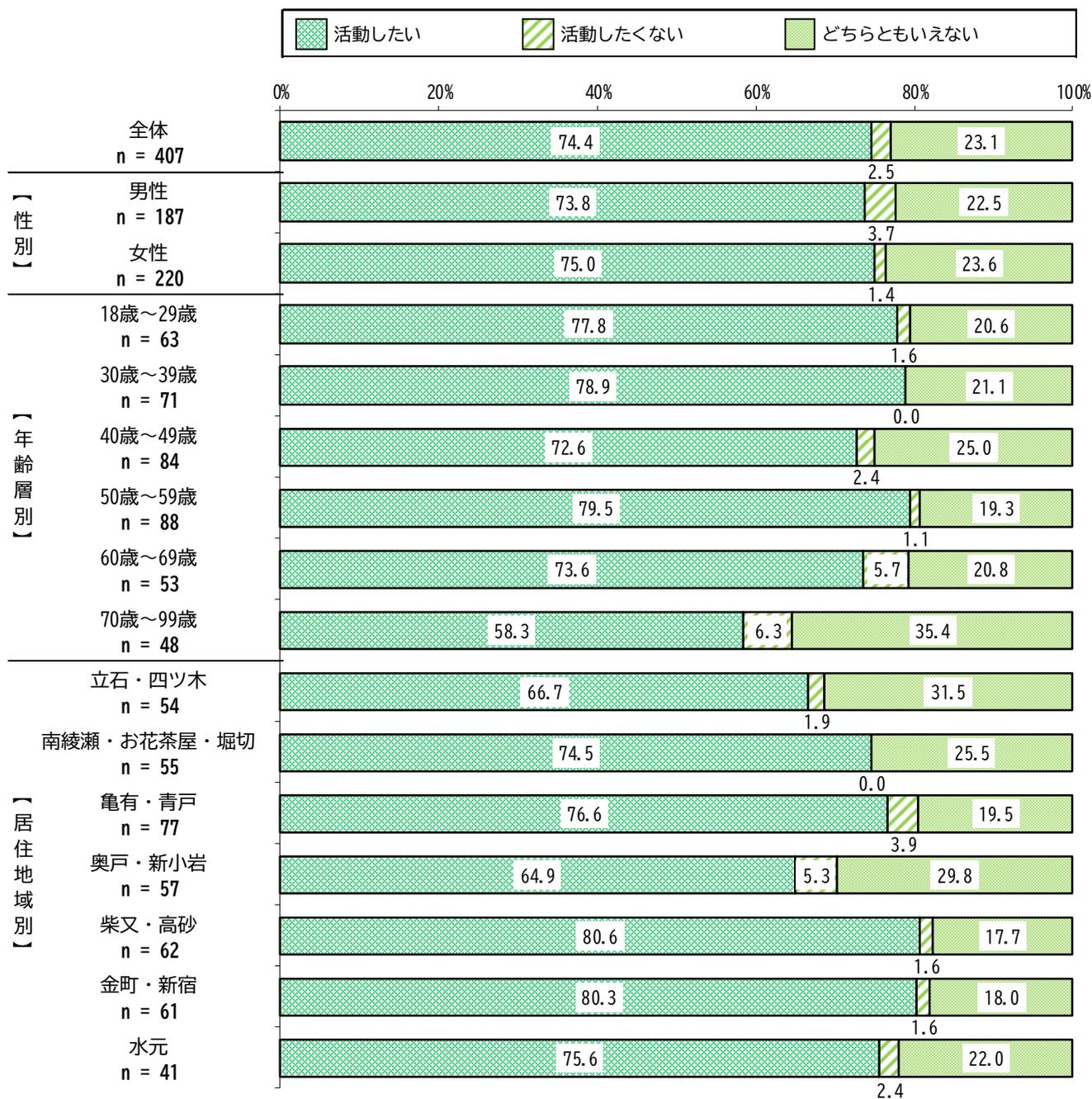
n = 407

またモニターとして活動したいか、「活動したい」が74.4%となっている。

<回答の主な内容>

回答	具体的な内容
活動したい	<ul style="list-style-type: none"> ・知識を増やしながら謝礼もいただけるから。 ・区がどのようなことに力を入れようとしているのかを知れるのは嬉しい。 ・この頻度なら負担にもならず、地元での取り組みに関われるので機会があればぜひ活動したい。 ・葛飾区に永住する予定なので、良い街になってほしい。 ・葛飾区をより良くするために、少しでも役に立ちたいから。 ・専業主婦で時間があるから。 ・自分の考えをまとめ、子供、孫に話す材料になる。 ・葛飾区が大好きだから。 ・区民の一人として微力ではありますが区政に携わっているんだという気持ちになれるので。 ・生活環境などの改善に繋がりそうだから。 ・これからも区の取り組みを積極的に知り、少しでも意見を伝えることができるから。 ・区のお知らせに目を止める機会が増えて良かったから。区政に関心を持つようにだいぶなりました。 ・自分の今後の生活に影響するかもしれないと思ったため。 ・ぜひぜひ活動したいと思います。また、直接来庁して意見交換できる機会もあつたらいいなと思います。 ・奇しくも広報としての効果は抜群でした。まだまだ知らないことを知りたいです。 ・無理のない程度でしたら参加したい。 ・葛飾生まれ葛飾育ちとしては、今回モニターに参加できて、貢献できたのではないかと思えた。
活動したくない	<ul style="list-style-type: none"> ・他の多くの人にも経験してもらいたいから。 ・年齢的、身体的な理由もあるが、興味のないテーマが多いと感じてしまう。 ・煩わしい。 ・葛飾区を離れるのでお力になれません。申し訳ないです。 ・半強制的な所が苦手。
どちらともいえない	<ul style="list-style-type: none"> ・ほんとうに自分の意見が役立つかわからないから。 ・回答に時間がかかる。 ・町会活動で区政の現状を理解しているので。 ・アンケートの内容で役にたてるモニターならしてみたい。 ・結構設問が多く、回答に悩む選択肢が多かった。

またモニターとして活動したいか【全体、性別、年齢層別、居住地域別】



性別による大きな差はみられない。

年齢層別でみると、「活動したい」は【70歳～99歳】が58.3%と、他の区分に比べ低くなっている。

居住地域別でみると、「活動したい」は【奥戸・新小岩】が64.9%と、他の区分に比べ低くなっている。

(38) 回答フォームの改善点や要望

問 38. 現在回答フォームには、一時保存機能などを設けるほか、調査テーマの参考URLなどを挿入しております。実際に回答いただいて、改善点や要望などがありましたら教えてください。(自由記述)

【主な意見】

- 回答しにくいと感じたことはなかったです。
- 一時保存機能があって助かった。
- 年4回で多数の質問よりも少数の質問が多数回の方が短時間で気軽に答えられて良いと思います。
- 戻る、次へのボタンの他に、一時保存するボタンも並べて欲しい。分かりにくく、今まで一時保存できることを知らなかったのです。
- 一時保存ができていいのか分かりづらかった。「戻る」「次へ」だけではなく、「一時保存」も選択できると良いと思う。
- 保存機能などあるといいがそこまで時間はかからないのでなくても気にはならないと思いました。
- あまり複雑な操作をするよりも、現在程度の機能で充分と思料する。
- 今回のアンケートフォームはちょうど良いと思いました。
- エラーメッセージが出て、最初からまた入力しないといけないのかと、少しパニックになってしまったことがあったので、一時保存機能はありがたいと思います。
- 参考URLはどこにあったかわからないけど、フォームへの不満は特にはないです。
- 任意で好きなページに戻れるようになると嬉しい。
- スマホの画面で長文を打つと文字が見切れて、左に戻らないと、自分がどんな文章を打ったか、誤字脱字が無いか等、分からないページも出てきましたので、全質問、スマホで見切れない画面(枠内)におさまるようにして頂きたいと個人的に思いました。
- 印刷物でQRコードを複数並べると読み取る時に片方を隠す必要があるのでやめた方がいいです。実際に読み取って見たら気がつくと思うので、送る前にやってみたほうが良いと思います。
- 特に気になる点はありませんでした。使いやすかったと思います。
- 回答していない時に催促が来るのは良いが、メールでして欲しい。
- 一時保存機能があるのですか？回答を始めたら一気に最後まで進まなくてはいけないと思っていました。調査テーマのURLも見たことがないような…私が忘れていたのかもしれませんが。
- 調査テーマのURLが入っていたのが良かったです。
- 最後の画面に今回のテーマのリンクやページがあればもっと理解や知識が深まると思う。
- 機能もシンプルで分かりやすく、利用しやすかったため特になし。
- 葛飾区の全体的な年齢層が高いので、拡大縮小しなくても、もう少し大きく見えた方がいいのかもしれないです。
- 例えばモニター同士の意見交換ができれば、面白い。

(39) 取り上げてほしいテーマ、全体を通しての感想

問 39. 区民モニター調査に関して、今後取り上げてほしいテーマ、全体を通しての感想などがありましたらご記入ください。(自由記述)

【主な意見】

- 送られてくるテーマが的確で考えさせられることが多かったです。テーマを考えるのも大変だと思いますが今後もよろしくお願いします。
- 葛飾区に20年以上も住んでいるのに知らない事ばかりでした。私の知識不足なのかもしれませんが、子供の頃からいる葛飾区について、少しだけ知ることが出来て楽しかったです。
- 里親制度。
- 災害、防犯や犯罪阻止など。
- 外国児情勢について。図書館の有効利用について。
- 中学校教育について。
- 子育て世代なので、子育てに関する内容が良い。
- 葛飾区のプレミアム商品券について。
- 交通行政、施設老朽化対策など。
- 葛飾区の交通面について。葛飾区の買い物事情について。
- どのようにしたら葛飾区にふるさと納税の寄付金が集まるか。
- ボランティアに関心があるので、そのテーマも取り上げてほしい。
- 住みたい区の順位を上げるためには？貧困対策で出来ることは？資源ごみ分別の徹底とリサイクルについて。小学生の放課後の居場所の確保について。高齢者福祉の充実について。公園の遊具とベンチ、充実させるべきなのは？
- まちづくりや子育てに関して取り上げていただきたいです。
- 観光推進にかかわることや、商店会やイベントを通じた地域活性化等。
- マナーの悪い外国人の実態調査、違法民泊など治安に関すること。子どもの遊び場（ボール遊び場）が少ないので、遊び場を確保するための実態調査など。
- 葛飾区のパートナーシップ制度について。
- 外国人の流入。外国人への生活保護支給。区議会の内容。治安の悪化対策。
- 日常生活の中で区民が安心して暮らせるための葛飾区ならではの支援や情報の在り方について。例えば防災についての支援など。
- 公園の計画、運営。
- 葛飾区で地域活動している内容をもう少し入れても良いのでは？と思った。それぞれの地区委員活動等の内容をアンケート等で知ってもらうのも良いのでは？
- 生活の安全（防犯、防災）。緑化（広い家が壊され、分割され、緑がなくなる）対策。
- 公園の利用方法や、イベント情報について。
- 治安や美観などでしょうか。かなりよい区にはなってきましたが、子供も多い中飲み屋も多い街なので、闊達さと安心の両立を目指していくために有用なのかなと思考いたします。
- スタジアム構想について取り上げてほしい。
- 単身者の住宅が増えているのですが、区民としての情報や意識があるか、モニターになってほしいと思いました。そして地域との関わりや防災についての意識を聞いてほしい。

令和7年度 第4回葛飾区区民モニター調査

報 告 書

令和8年3月

葛飾区総務部すぐやる課

住 所：〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

TEL：03-3695-1111（代表） 03-5654-8448（直通）